

**箱根町の公共施設等に関する町民アンケート調査結果
報告書**

平成 29 年 1 月

目 次

1. 対象施設一覧	1
2. 町民アンケート調査結果（概要）	2
1) 調査対象者	2
2) 調査方法	2
3) 調査期間	2
4) 回収結果	2
5) 調査結果の見方	2
3. 単純集計結果	3
4. クロス集計結果	28
5. 自由意見集	96
参考. 問 14 のクロス集計結果一覧表	128

1. 対象施設一覧

本アンケートで取り扱った施設を以下に示します。

大分類	中分類	主な施設例（インフラ施設は分類のみ記載）
行政系施設	庁舎等	箱根町役場、温泉出張所(公民館)、宮城野出張所(公民館)、仙石原出張所(公民館)、箱根出張所
	消防施設	消防本部・消防署、消防湯本分署・消防団第1分団詰所、仙石原分遣所・消防団第8分団詰所、箱根分遣所・消防団第10分団詰所、など
	その他行政系施設	清掃第1プラント(ごみ処理)、清掃第2プラント(し尿処理)、旧美化事務所管理棟、宮城野苗圃、第1・第2最終処分場、行政資料棟、旧仙石原出張所、行政資料倉庫、仙石原防災備蓄倉庫
学校教育系施設	学校	湯本小学校、箱根の森小学校、仙石原小学校、箱根中学校
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	湯本幼児学園、温泉幼稚園、仙石原幼児学園、箱根幼稚園、宮城野保育園
公園	公園	仙石原公園管理事務所(いこいの家)
保健・福祉施設	保健施設	総合保健福祉センターさくら館
	高齢福祉施設	老人福祉センターやまなみ荘、元箱根老人いこいの家
市民文化系施設	集会施設	山崎集会所、湯本仲町集会所、大平台集会所、芦之湯集会所、元箱根集会所、箱根集会所、温泉公民館、宮城野公民館、仙石原公民館
スポーツ・レクリエーション施設	レクリエーション施設・観光施設	総合観光案内所、湯本駅構内観光案内所、箱根宮ノ下観光案内所、強羅観光案内所、仙石原乙女観光案内所、旧街道休憩所、森のふれあい館、箱根峠(道の駅)案内所、箱根湿生花園、箱根芦之湯フラワーセンター、宮ノ下駐車場
	スポーツ施設	弓道場、総合体育館、湯本地域スポーツ施設、箱根地域スポーツ施設
	保養施設	弥坂湯、宮城野温泉会館
産業系施設	産業系施設	畑宿寄木会館、箱根観光物産館
社会教育系施設	博物館等	社会教育センター、箱根関所・箱根関所資料館、郷土資料館、石仏四阿、石仏群と歴史館、六道地藏覆屋、東光庵
公営住宅	公営住宅	湯本町営住宅、前田町営住宅、湯本後山子育て支援住宅、小涌谷町営住宅、宮城野町営住宅、上河原町営住宅、第2上河原町営住宅、宮城野外産子育て支援住宅、宮城野小東子育て支援住宅、仙石原町営住宅、元箱根町営住宅
その他	その他	庁舎前町有建物(旧登記所)、旧さがみ信用金庫湯本支店、旧湯本中学校(校舎)、宮ノ下上町駐車場、旧宮城野小東教職員住宅(B棟)、旧宮城野公民館分館(柔剣道場)、旧仙石原中学校、旧箱根小学校(校舎)、旧駒ヶ岳集会場(二夕子)
インフラ系施設	道路等	町道、橋りょう、水道、下水道、温泉などの都市基盤施設

2. 町民アンケート調査結果（概要）

1) 調査対象者

平成 28 年 6 月 1 日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した 18 歳以上の町民 1,250 人を対象に実施しました。

2) 調査方法

郵送による配布・回収

3) 調査期間

調査期間：平成 28 年 8 月 15 日～平成 28 年 9 月 9 日

平成 28 年 8 月 24 日にお礼状はがきを発送し、9 月 9 日回収分までを有効票としています。

4) 回収結果

調査地域	箱根町全域
調査対象	平成 28 年 6 月 1 日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した 20 歳以上の町民 1250 人を対象に実施
標本数	465 票
回収数	466 票
回収率	37.3%

5) 調査結果の見方

○回答率の表記について

- ・回答率（各回答の百分比）は少数点以下第 2 位を四捨五入しています。

○単数回答の百分率について

- ・単数回答の百分比は、四捨五入のため合計が見かけ上 100.0 にならないことがあります。

○複数回答の百分率について

- ・複数回答は回答者数を基数としているため、百分比の合計が 100%を上回ることがあります。

3. 単純集計結果

◆あなたご自身についてお尋ねします

問 1～5 回答者の属性について

回答者の属性							
性別							
男性		女性		無回答			
37.2%		61.1%		1.7%			
年齢							
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1.5%	5.4%	5.8%	10.8%	13.5%	24.9%	37.4%	0.6%
居住地域							
湯本地域	温泉地域	宮城野地域	仙石原地域	箱根地域	無回答		
20.9%	11.6%	23.7%	30.5%	12.3%	1.1%		
職業							
会社員 (公務員を 含む)	自営業	パートタイ マー・アル バイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
23.7%	11.4%	19.4%	11.2%	0.9%	27.1%	5.6%	0.9%
居住年数							
1年未満	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上～ 20年未満	20年以上	無回答
2.2%	4.5%	2.4%	5.8%	7.3%	4.9%	72.3%	0.6%

回答者は、性別では「女性」が6割以上、年齢では「70歳以上」が4割弱、居住地域では「仙石原地域」が3割、職業では「無職」が3割弱、居住年数では「20年以上」が7割以上と、それぞれ多くを占めています。

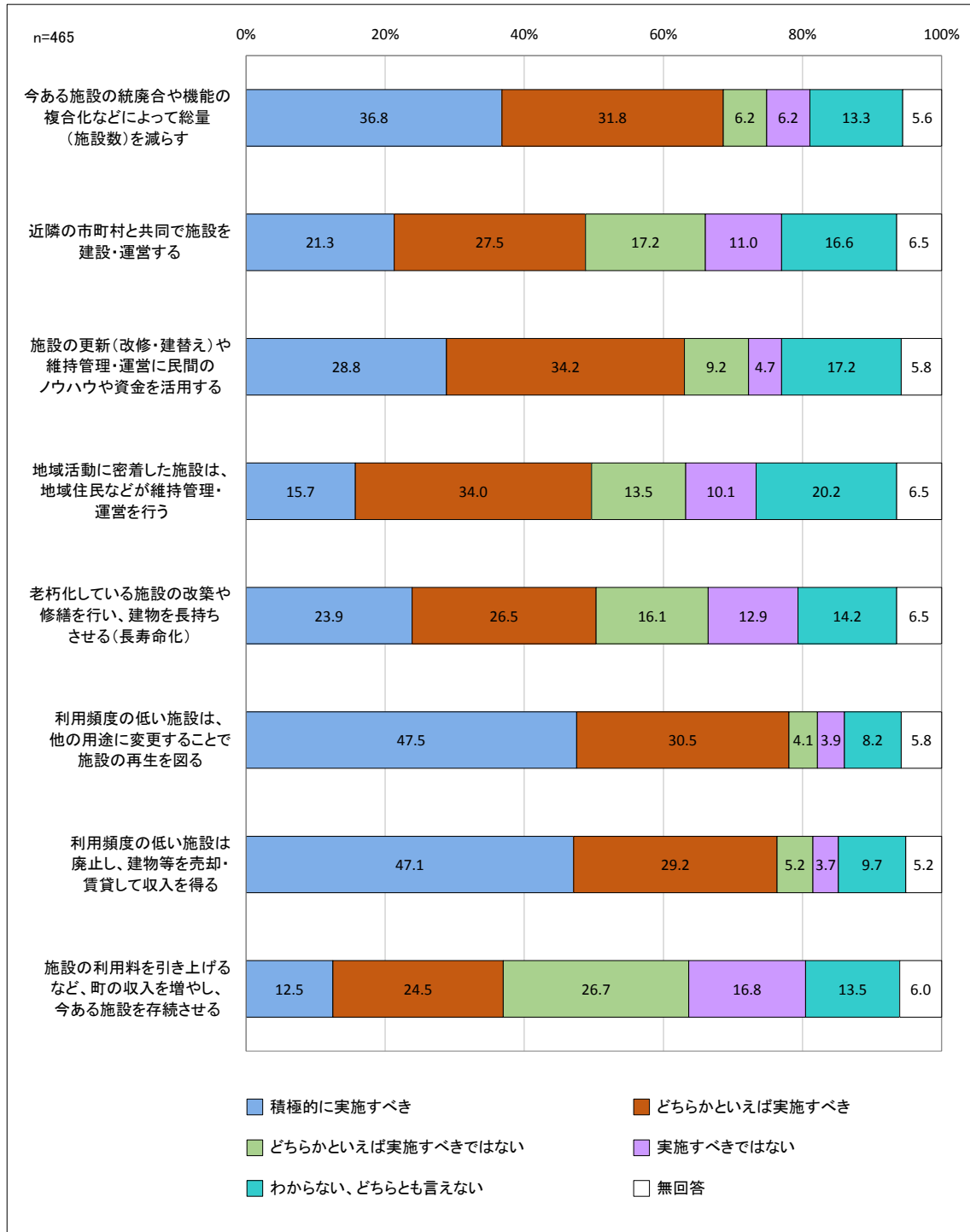
◆今後の公共施設全般のあり方についてお尋ねします

問6 将来も安全で使い易い施設を提供していくために、さまざまな方策を検討していく必要があります。町の保有する公共施設全般に関して、あなたはごどう思われますか。あなたの考えに最も近いものにあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

今後の公共施設のあり方に関する方策（単数回答）

項目名	積極的に実施すべき	すどちらかといえ ば実施すべき	すどちらかといえ ば実施すべきではない	実施すべきではない	どわ ちから ない、 も 言え ない	無回答	合計
今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数）を減らす	171 36.8%	148 31.8%	29 6.2%	29 6.2%	62 13.3%	26 5.6%	465 100.0%
近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する	99 21.3%	128 27.5%	80 17.2%	51 11.0%	77 16.6%	30 6.5%	465 100.0%
施設の更新（改修・建替え）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する	134 28.8%	159 34.2%	43 9.2%	22 4.7%	80 17.2%	27 5.8%	465 100.0%
地域活動に密着した施設は、地域住民などが維持管理・運営を行う	73 15.7%	158 34.0%	63 13.5%	47 10.1%	94 20.2%	30 6.5%	465 100.0%
老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる（長寿命化）	111 23.9%	123 26.5%	75 16.1%	60 12.9%	66 14.2%	30 6.5%	465 100.0%
利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る	221 47.5%	142 30.5%	19 4.1%	18 3.9%	38 8.2%	27 5.8%	465 100.0%
利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る	219 47.1%	136 29.2%	24 5.2%	17 3.7%	45 9.7%	24 5.2%	465 100.0%
施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる	58 12.5%	114 24.5%	124 26.7%	78 16.8%	63 13.5%	28 6.0%	465 100.0%

今後の公共施設のあり方に関する方策：グラフ（単数回答）



今後の公共施設のあり方に関する方策について、『積極的に実施すべき』として最も多い方策は「今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数）を減らす」と「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」と「利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る」という結果になりました。

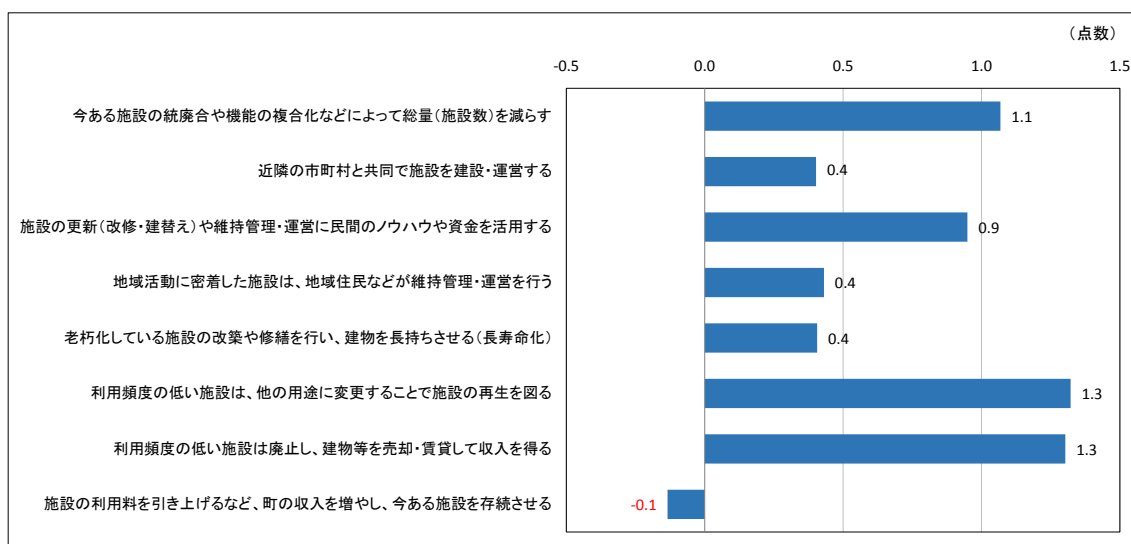
また、『施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる』以外の方策では、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」という意見が、概ね過半数以上を占めました。

次に、回答結果の「積極的に実施すべき」に2点、「どちらかといえば実施すべき」に1点、「どちらかといえば実施すべきではない」に-1点、「実施すべきではない」に-2点を与えた合計点を各項目回答数の合計で除して平均値を出し、肯定・否定回答の目安としての尺度を示しました。

$$\text{点数} = \{ \text{「積極的に実施すべき」(票数)} \times 2 \text{点} + \text{「どちらかといえば実施すべき」(票数)} \times 1 \text{点} + \text{「どちらかといえば実施すべきではない」(票数)} \times -1 \text{点} + \text{「実施すべきではない」(票数)} \times -2 \text{点} \} / \text{各項目回答数の合計}$$

(「わからない、どちらとも言えない」と「無回答」を除いた回答数で割っています。)

今後の公共施設のあり方に関する方策：グラフ（単数回答）点数化



上記点数化の結果、「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」と「利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る」が、1.3点で最も高く、次いで、「今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数）を減らす」の1.1点となりました。反対に、最も点数が低かったのが、『施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる』のマイナス0.1点でした。

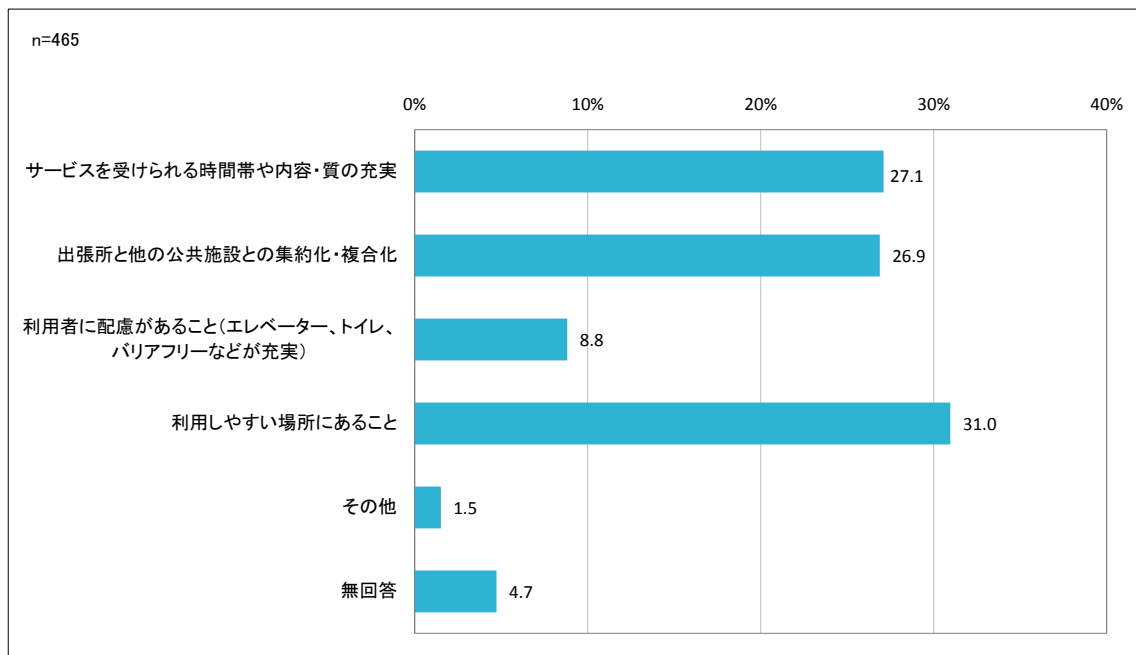
◆**市民のみなさまが利用される主な施設（施設類型ごと）についてお尋ねします**

問7 庁舎等（箱根町役場・出張所）についてお聞きします。庁舎等では様々な行政サービスを受けることができます。今後の庁舎等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

庁舎等のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比（%）
サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実	126	27.1%
出張所と他の公共施設との集約化・複合化	125	26.9%
利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）	41	8.8%
利用しやすい場所にあること	144	31.0%
その他	7	1.5%
無回答	22	4.7%
合計	465	100.0%

庁舎等のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



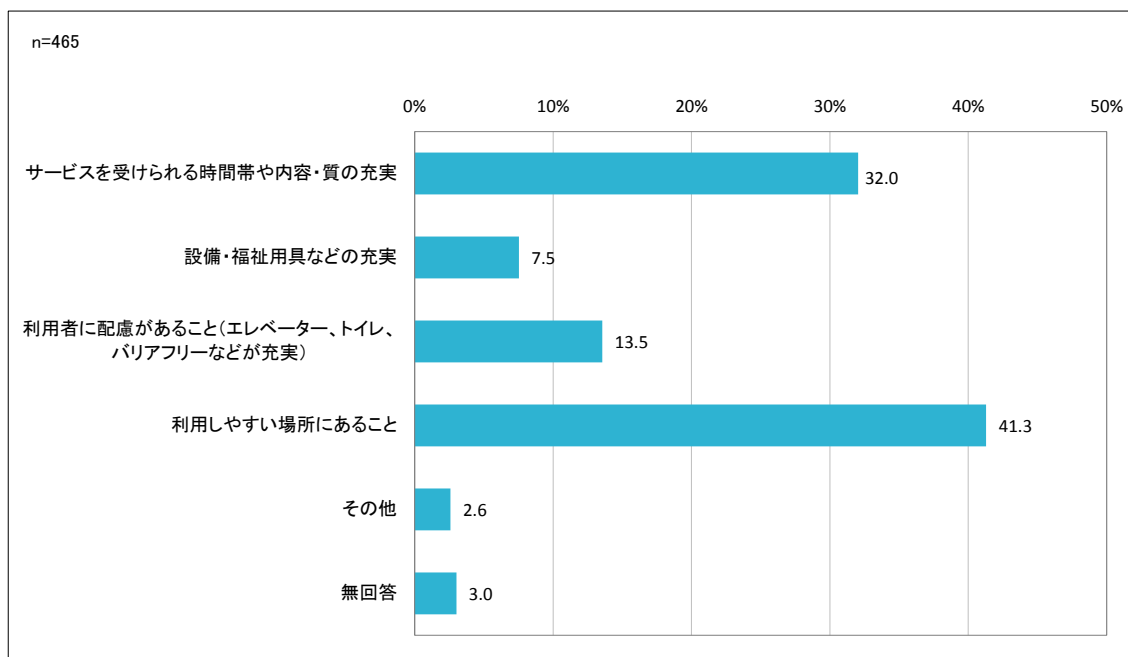
庁舎等のあり方として重視することとして最も多かったのは、「利用しやすい場所にあること」の31%でした。

問8 保健福祉施設（保健施設・高齢福祉施設）についてお聞きします。今後の保健福祉施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

保健福祉施設のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比（%）
サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実	149	32.0%
設備・福祉用具などの充実	35	7.5%
利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）	63	13.5%
利用しやすい場所にあること	192	41.3%
その他	12	2.6%
無回答	14	3.0%
合計	465	100.0%

保健福祉施設のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



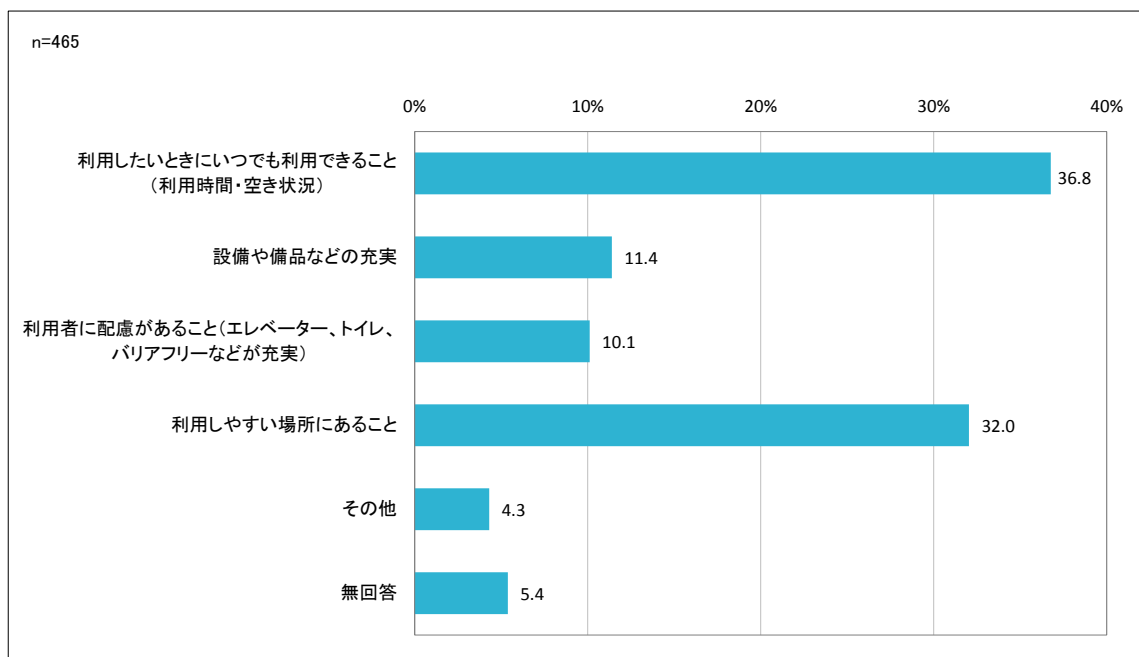
保健福祉施設のあり方として重視することとして最も多かったのは、「利用しやすい場所にあること」の41%でした。

問9 公民館・集会施設についてお聞きします。今後の公民館・集会施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

公民館・集会施設のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比 (%)
利用したいときにいつでも利用できること（利用時間・空き状況）	171	36.8%
設備や備品などの充実	53	11.4%
利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）	47	10.1%
利用しやすい場所にあること	149	32.0%
その他	20	4.3%
無回答	25	5.4%
合計	465	100.0%

公民館・集会施設のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



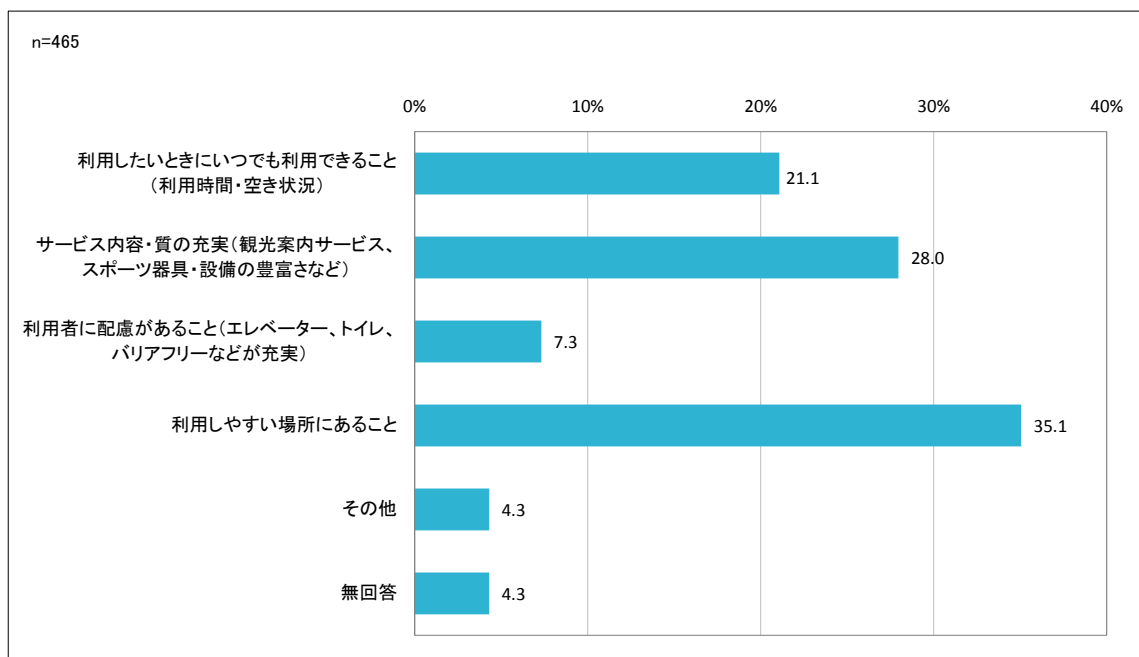
公民館・集会施設のあり方として重視することとして最も多かったのは、「利用したいときにいつでも利用できること（利用時間・空き状況）」の37%でした。

問10 レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設・についてお聞きします。
 今後のレクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方として重視すること
 (単数回答)

項目名	回答数	構成比 (%)
利用したいときにいつでも利用できること (利用時間・空き状況)	98	21.1%
サービス内容・質の充実 (観光案内サービス、スポーツ器具・設備の豊富さなど)	130	28.0%
利用者に配慮があること (エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実)	34	7.3%
利用しやすい場所にあること	163	35.1%
その他	20	4.3%
無回答	20	4.3%
合計	465	100.0%

レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方として重視すること：グラフ(単数回答)



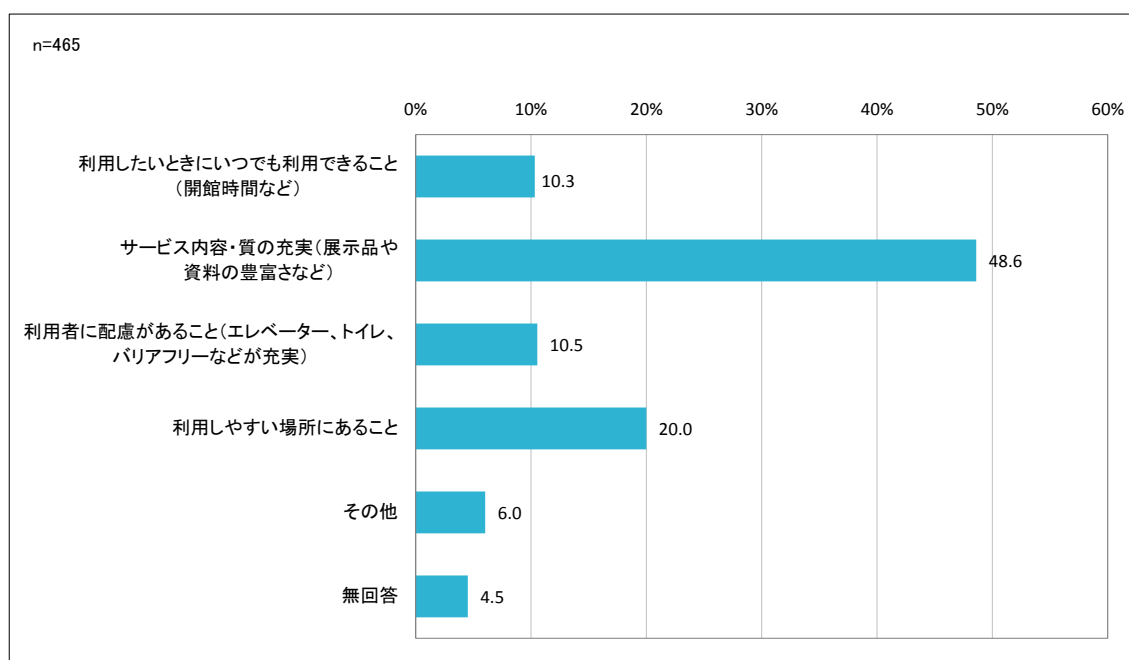
レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方として重視することとして最も多かったのは、「利用しやすい場所にあること」の35%でした。

問11 博物館等についてお聞きします。今後の博物館等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

博物館等のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比（%）
利用したいときにいつでも利用できること（開館時間など）	48	10.3%
サービス内容・質の充実（展示品や資料の豊富さなど）	226	48.6%
利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）	49	10.5%
利用しやすい場所にあること	93	20.0%
その他	28	6.0%
無回答	21	4.5%
合計	465	100.0%

博物館等のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



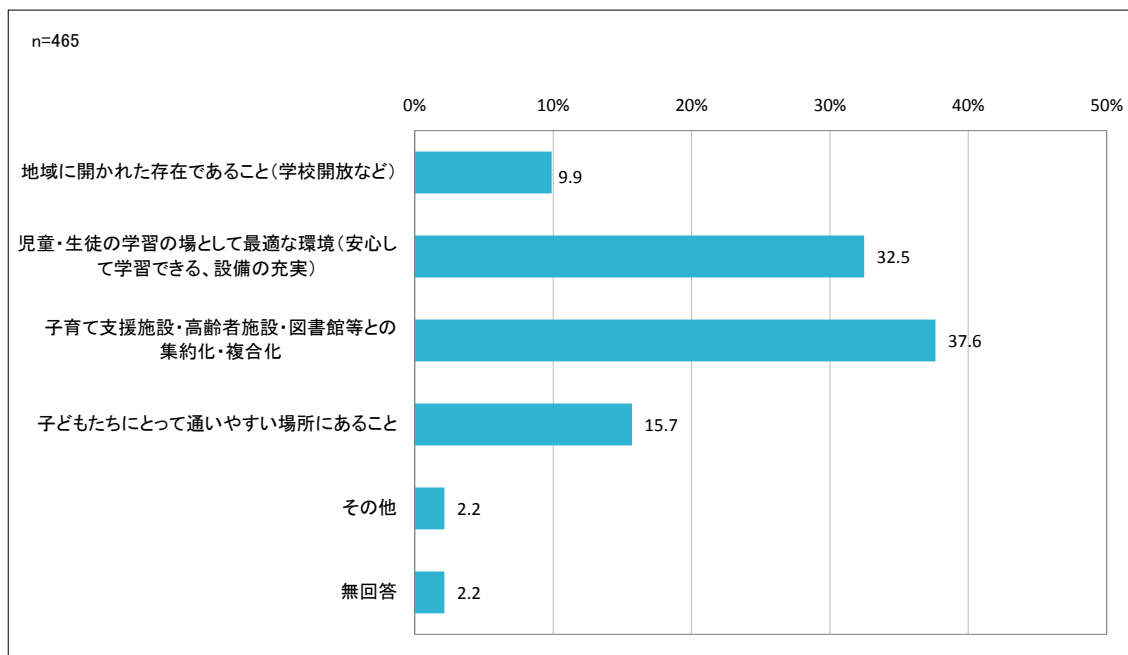
博物館等のあり方として重視することとして最も多かったのは、「サービス内容・質の充実（展示品や資料の豊富さなど）」の49%でした。

問12 小学校・中学校についてお聞きします。学校が有している敷地面積は非常に大きく、地域コミュニティの中心としての役割が期待されています。今後の小・中学校のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

小学校・中学校のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比 (%)
地域に開かれた存在であること（学校開放など）	46	9.9%
児童・生徒の学習の場として最適な環境（安心して学習できる、設備の充実）	151	32.5%
子育て支援施設・高齢者施設・図書館等との集約化・複合化	175	37.6%
子どもたちにとって通いやすい場所にあること	73	15.7%
その他	10	2.2%
無回答	10	2.2%
合計	465	100.0%

小学校・中学校のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



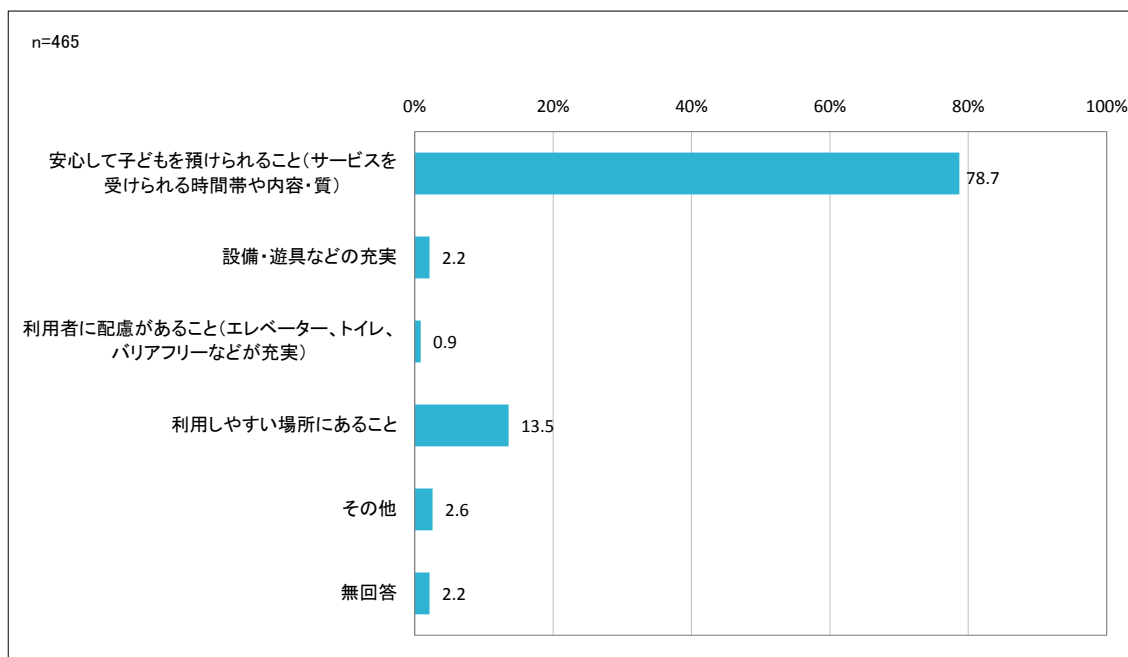
小学校・中学校のあり方として重視することとして最も多かったのは、「子育て支援施設・高齢者施設・図書館等との集約化・複合化」の38%でした。

問13 子育て支援施設（幼稚園・保育園・こども園）についてお聞きします。今後の幼稚園、保育園等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

子育て支援施設のあり方として重視すること（単数回答）

項目名	回答数	構成比（%）
安心して子どもを預けられること（サービスを受けられる時間帯や内容・質）	366	78.7%
設備・遊具などの充実	10	2.2%
利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）	4	0.9%
利用しやすい場所にあること	63	13.5%
その他	12	2.6%
無回答	10	2.2%
合計	465	100.0%

子育て支援施設のあり方として重視すること：グラフ（単数回答）



子育て支援施設のあり方として重視することとして最も多かったのは、「安心して子どもを預けられること（サービスを受けられる時間帯や内容・質）」の79%でした。

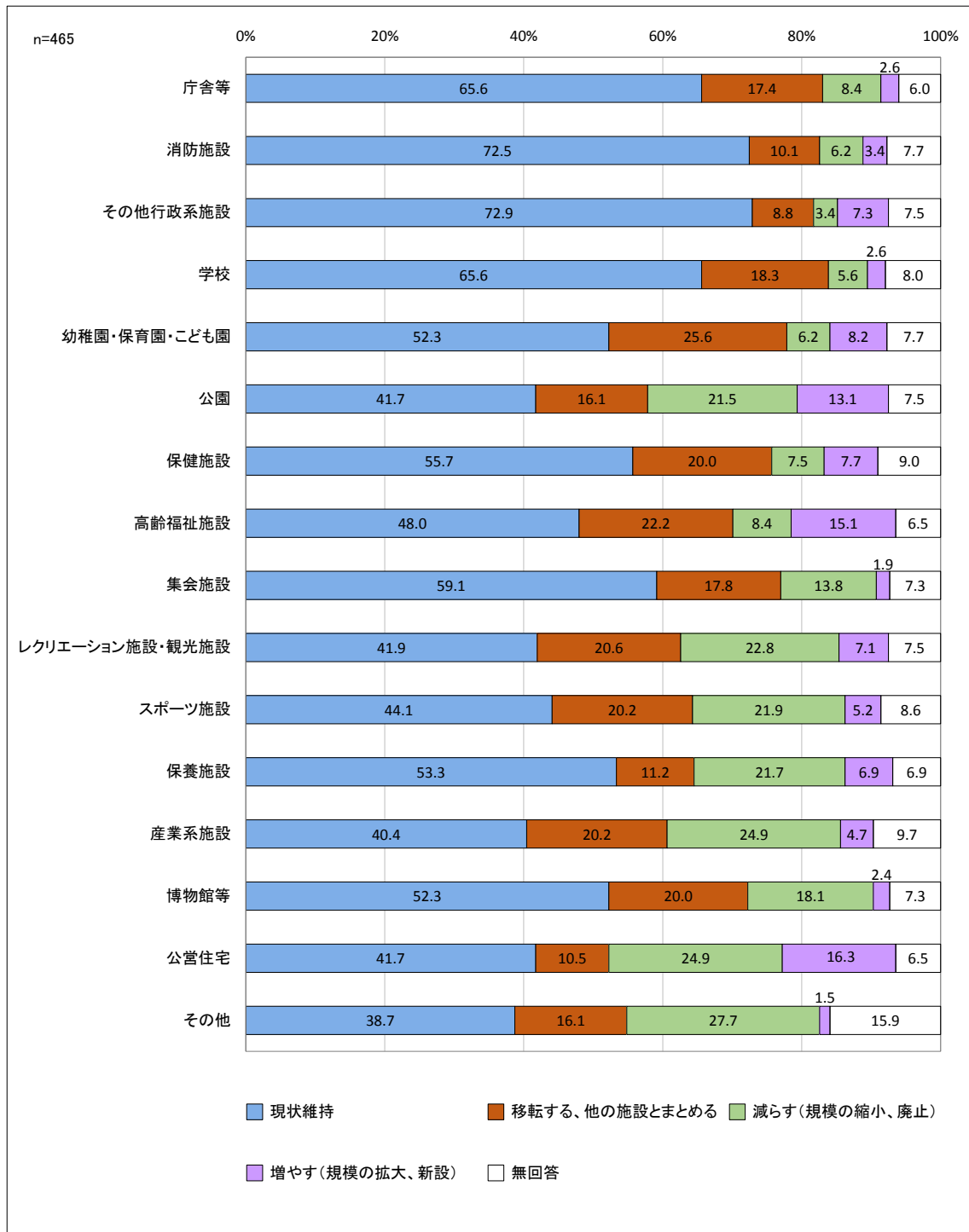
◆公共施設（建築系）の今後の方向性についてお尋ねします

問14 今後は公共施設を取り巻く環境を踏まえて、施設の特徴に応じた公共施設の方向性を検討していく必要があります。町が採用すべきであるとあなたが考える方向性に最も近いものにあてはまる番号に、以下の施設類型ごとに○をつけてください。（回答欄①で1つ、回答欄②で1つ）

公共施設の方向性①総量や配置の適正化（単数回答）

施設類型名	現状維持	施設と 移転する、 とまる、 他の	縮小、 廃止 （規模の	増大、 やす （規模の	無回答	合計
庁舎等	305 65.6%	81 17.4%	39 8.4%	12 2.6%	28 6.0%	465 100.0%
消防施設	337 72.5%	47 10.1%	29 6.2%	16 3.4%	36 7.7%	465 100.0%
その他行政系施設	339 72.9%	41 8.8%	16 3.4%	34 7.3%	35 7.5%	465 100.0%
学校	305 65.6%	85 18.3%	26 5.6%	12 2.6%	37 8.0%	465 100.0%
幼稚園・保育園・ こども園	243 52.3%	119 25.6%	29 6.2%	38 8.2%	36 7.7%	465 100.0%
公園	194 41.7%	75 16.1%	100 21.5%	61 13.1%	35 7.5%	465 100.0%
保健施設	259 55.7%	93 20.0%	35 7.5%	36 7.7%	42 9.0%	465 100.0%
高齢福祉施設	223 48.0%	103 22.2%	39 8.4%	70 15.1%	30 6.5%	465 100.0%
集会施設	275 59.1%	83 17.8%	64 13.8%	9 1.9%	34 7.3%	465 100.0%
レクリエーション施設・観光施設	195 41.9%	96 20.6%	106 22.8%	33 7.1%	35 7.5%	465 100.0%
スポーツ施設	205 44.1%	94 20.2%	102 21.9%	24 5.2%	40 8.6%	465 100.0%
保養施設	248 53.3%	52 11.2%	101 21.7%	32 6.9%	32 6.9%	465 100.0%
産業系施設	188 40.4%	94 20.2%	116 24.9%	22 4.7%	45 9.7%	465 100.0%
博物館等	243 52.3%	93 20.0%	84 18.1%	11 2.4%	34 7.3%	465 100.0%
公営住宅	194 41.7%	49 10.5%	116 24.9%	76 16.3%	30 6.5%	465 100.0%
その他	180 38.7%	75 16.1%	129 27.7%	7 1.5%	74 15.9%	465 100.0%

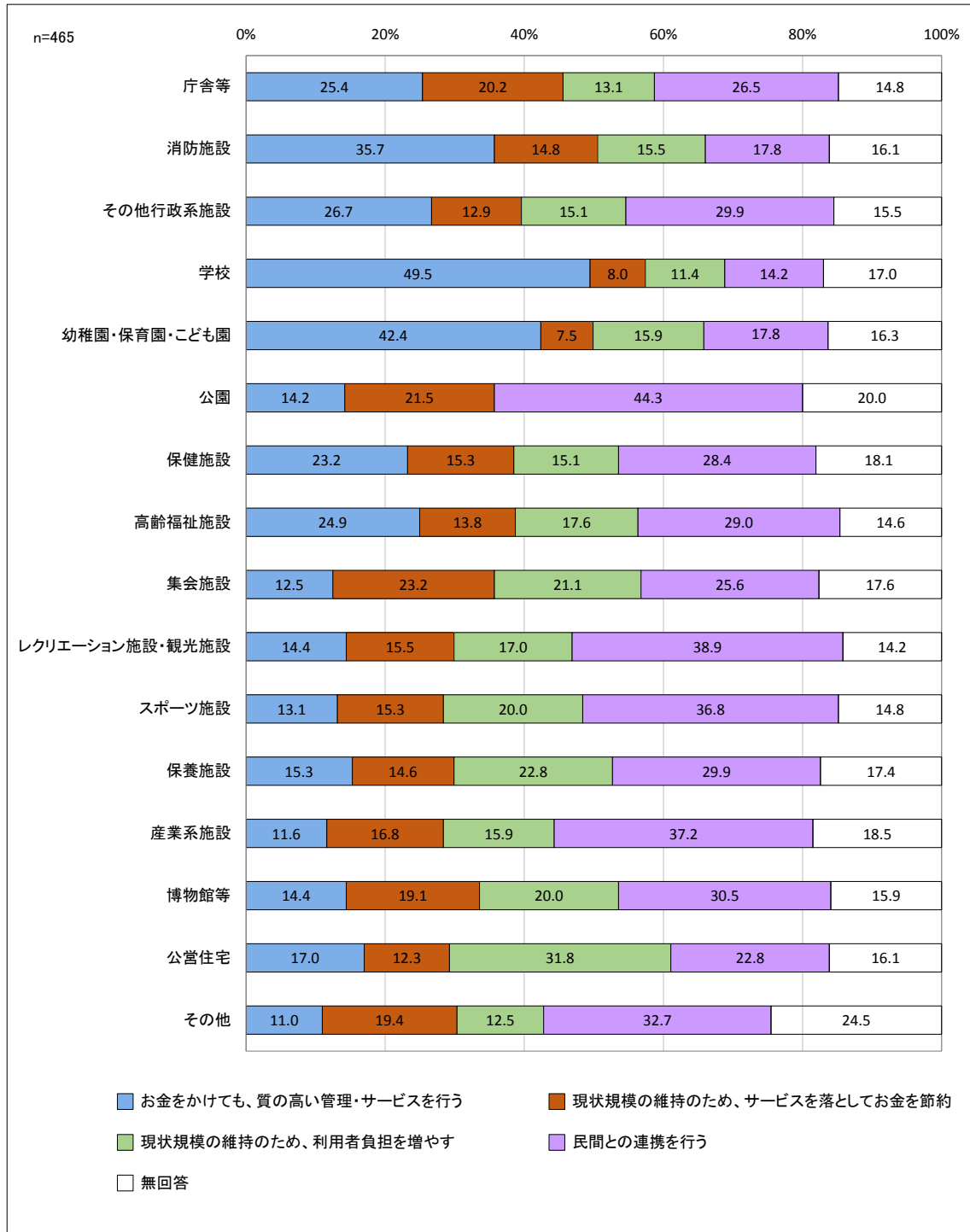
公共施設の方向性①総量や配置の適正化：グラフ（単数回答）



公共施設の方向性②維持・管理や運営のあり方（単数回答）

施設類型名	サービスの質を高めるための管理を行う	お金をかけても、お金の節約	現状規模の維持として、お金の節約	利用者負担を増やすため、現状規模の維持のため、	民間との連携を行う	無回答	合計
庁舎等	118 25.4%	94 20.2%	61 13.1%	123 26.5%	69 14.8%	465 100.0%	
消防施設	166 35.7%	69 14.8%	72 15.5%	83 17.8%	75 16.1%	465 100.0%	
その他行政系施設	124 26.7%	60 12.9%	70 15.1%	139 29.9%	72 15.5%	465 100.0%	
学校	230 49.5%	37 8.0%	53 11.4%	66 14.2%	79 17.0%	465 100.0%	
幼稚園・保育園・ こども園	197 42.4%	35 7.5%	74 15.9%	83 17.8%	76 16.3%	465 100.0%	
公園	66 14.2%	100 21.5%	- -	206 44.3%	93 20.0%	465 100.0%	
保健施設	108 23.2%	71 15.3%	70 15.1%	132 28.4%	84 18.1%	465 100.0%	
高齢福祉施設	116 24.9%	64 13.8%	82 17.6%	135 29.0%	68 14.6%	465 100.0%	
集会施設	58 12.5%	108 23.2%	98 21.1%	119 25.6%	82 17.6%	465 100.0%	
レクリエーション施設・観光施設	67 14.4%	72 15.5%	79 17.0%	181 38.9%	66 14.2%	465 100.0%	
スポーツ施設	61 13.1%	71 15.3%	93 20.0%	171 36.8%	69 14.8%	465 100.0%	
保養施設	71 15.3%	68 14.6%	106 22.8%	139 29.9%	81 17.4%	465 100.0%	
産業系施設	54 11.6%	78 16.8%	74 15.9%	173 37.2%	86 18.5%	465 100.0%	
博物館等	67 14.4%	89 19.1%	93 20.0%	142 30.5%	74 15.9%	465 100.0%	
公営住宅	79 17.0%	57 12.3%	148 31.8%	106 22.8%	75 16.1%	465 100.0%	
その他	51 11.0%	90 19.4%	58 12.5%	152 32.7%	114 24.5%	465 100.0%	

公共施設の方向性②維持・管理や運営のあり方：グラフ（単数回答）



問1 4①総量や配置の適正化については、全施設類型において、「現状維持」が約40%~70%を占め、最多でした。(最高値は「その他行政系施設の73%、最低値は「その他施設」の39%)

問1 4②維持・管理や運営のあり方について、施設類型別の最多回答は以下の通りとなりました。(ただし、各回答率が5%内で僅差の施設は、重複記載しています。)

「お金をかけても、質の高い管理・サービスを行う」

⇒庁舎等、消防施設、その他行政系施設、学校、幼稚園・保育園・こども園

「現状規模の維持のため、サービスを落としてお金を節約」

⇒集会施設

「現状規模の維持のため、利用者負担を増やす」

⇒集会施設、公営住宅

「民間との連携を行う」

⇒庁舎等、その他行政系施設、公園、保健施設、高齢福祉施設、集会施設、レクリエーション施設・観光施設、スポーツ施設、保養施設、産業系施設、博物館等、その他施設

問15 前問 14 の方向性以外にあなたがお考えになる取組みがあればご記入ください。

「5. 自由意見集」をご覧ください。

問16 本町では「公共施設マネジメント基本方針」（平成27年6月策定）において、公共施設の延床面積を3割削減する（対象期間：平成27年度～平成64年度の38年間）という、公共施設の見直し（統廃合など）に係る数値目標を設定しているところですが、箱根町が将来にわたって優先的に残すべき施設は、どのような施設だと思いますか。前問14の表の施設分類の中から1位、2位、3位までを選び、下の枠内に番号を記入してください。

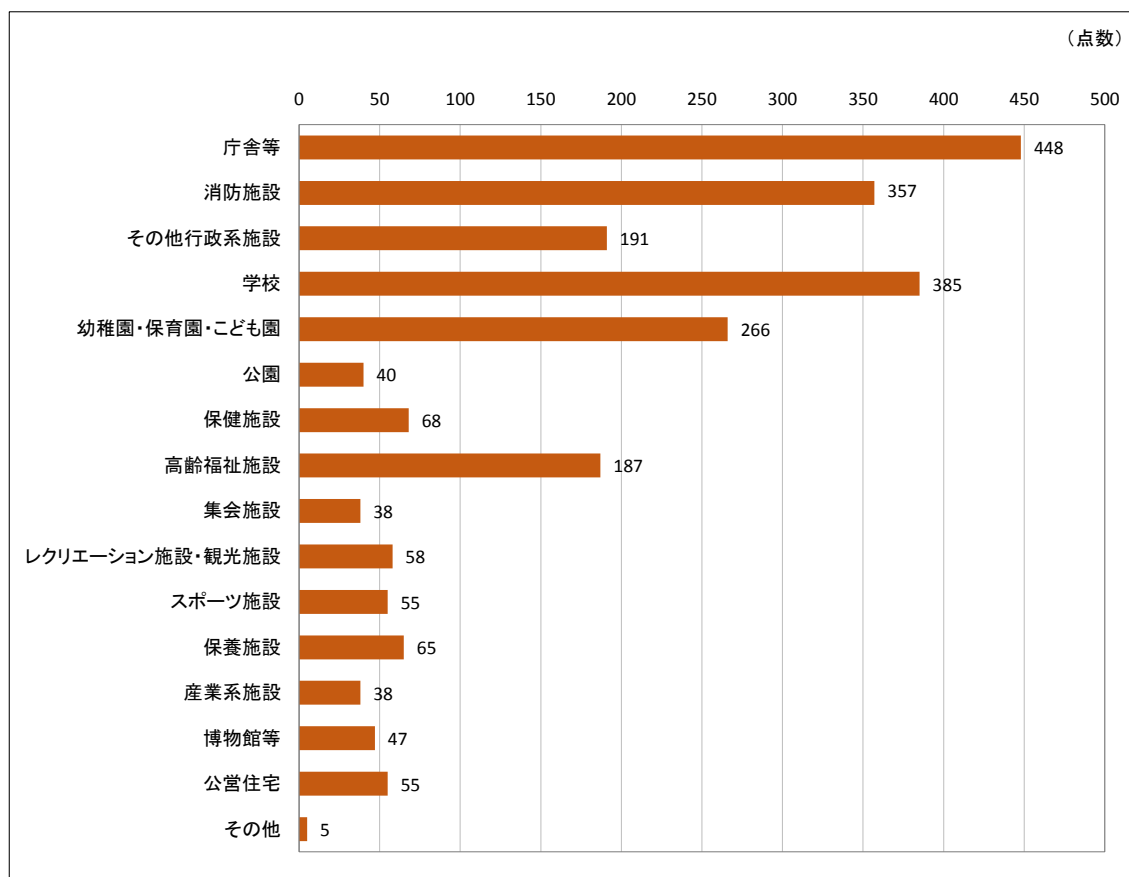
※回答結果に、「1位」に3点、「2位」に2点、「3位」に1点を与えた合計点を比較しています。

$$\text{点数} = \text{「1位」(票数)} \times 3 \text{点} + \text{「2位」(票数)} \times 2 \text{点} + \text{「3位」(票数)} \times 1 \text{点}$$

**「公共施設マネジメント基本方針」の設定目標を踏まえて優先的に残すべき施設
(1位、2位、3位を選んで回答)**

施設類型名	第1位		第2位		第3位		回答数 合計	合計点
	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数		
庁舎等	124	372	23	46	30	30	177	448
消防施設	57	171	79	158	28	28	164	357
その他行政系施設	21	63	34	68	60	60	115	191
学校	59	177	81	162	46	46	186	385
幼稚園・保育園・こども園	35	105	59	118	43	43	137	266
公園	7	21	6	12	7	7	20	40
保健施設	6	18	15	30	20	20	41	68
高齢福祉施設	28	84	25	50	53	53	106	187
集会施設	3	9	9	18	11	11	23	38
レクリエーション施設・観光施設	9	27	10	20	11	11	30	58
スポーツ施設	8	24	8	16	15	15	31	55
保養施設	10	30	12	24	11	11	33	65
産業系施設	3	9	10	20	9	9	22	38
博物館等	9	27	6	12	8	8	23	47
公営住宅	9	27	4	8	20	20	33	55
その他	1	3	-	-	2	2	3	5

「公共施設マネジメント基本方針」の設定目標を踏まえて優先的に残すべき施設：
グラフ（1位、2位、3位を選んで回答）



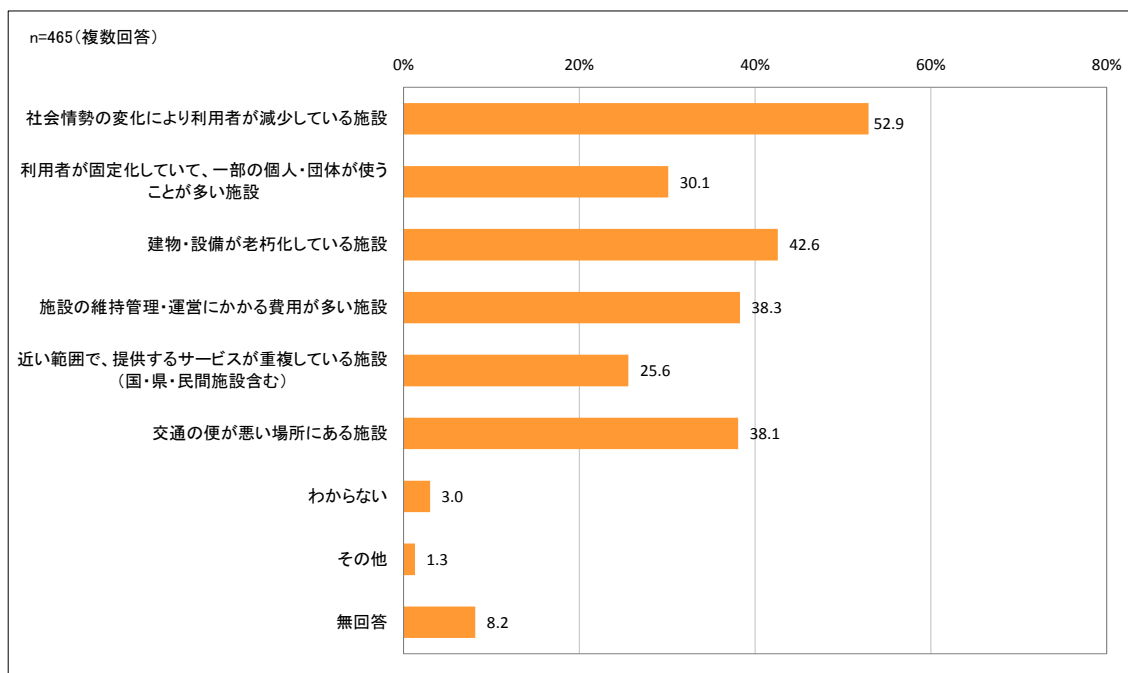
優先的に残すべき施設として、最も特典が高かったのは、「庁舎等」の448点でした。次いで、「学校」の385点、「消防施設」の357点の順となっています。

問17 公共施設の役割や効果の分析により、前問 16 で示した目標を達成するためには、今後施設の見直しが必要です。その場合、どのような施設から見直していくべきだと思いますか。あなたの考えに最もあてはまる番号に○をつけてください。(○は最大3つ)

目標を達成するために見直しが必要な施設（複数回答）

項目名 【3つまでの複数回答】	回答数	構成比 (%)
社会情勢の変化により利用者が減少している施設	246	52.9%
利用者が固定化していて、一部の個人・団体が使うことが多い施設	140	30.1%
建物・設備が老朽化している施設	198	42.6%
施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設	178	38.3%
近い範囲で、提供するサービスが重複している施設（国・県・民間施設含む）	119	25.6%
交通の便が悪い場所にある施設	177	38.1%
わからない	14	3.0%
その他	6	1.3%
無回答	38	8.2%

目標を達成するために見直しが必要な施設：グラフ（複数回答）



目標を達成するために見直しが必要な施設として、最も多くの回答があったのは、「社会情勢の変化により利用者が減少している施設」で、全体の過半数を占めています。次いで、「建物・設備が老朽化している施設」で、全体の4割以上を占めています。

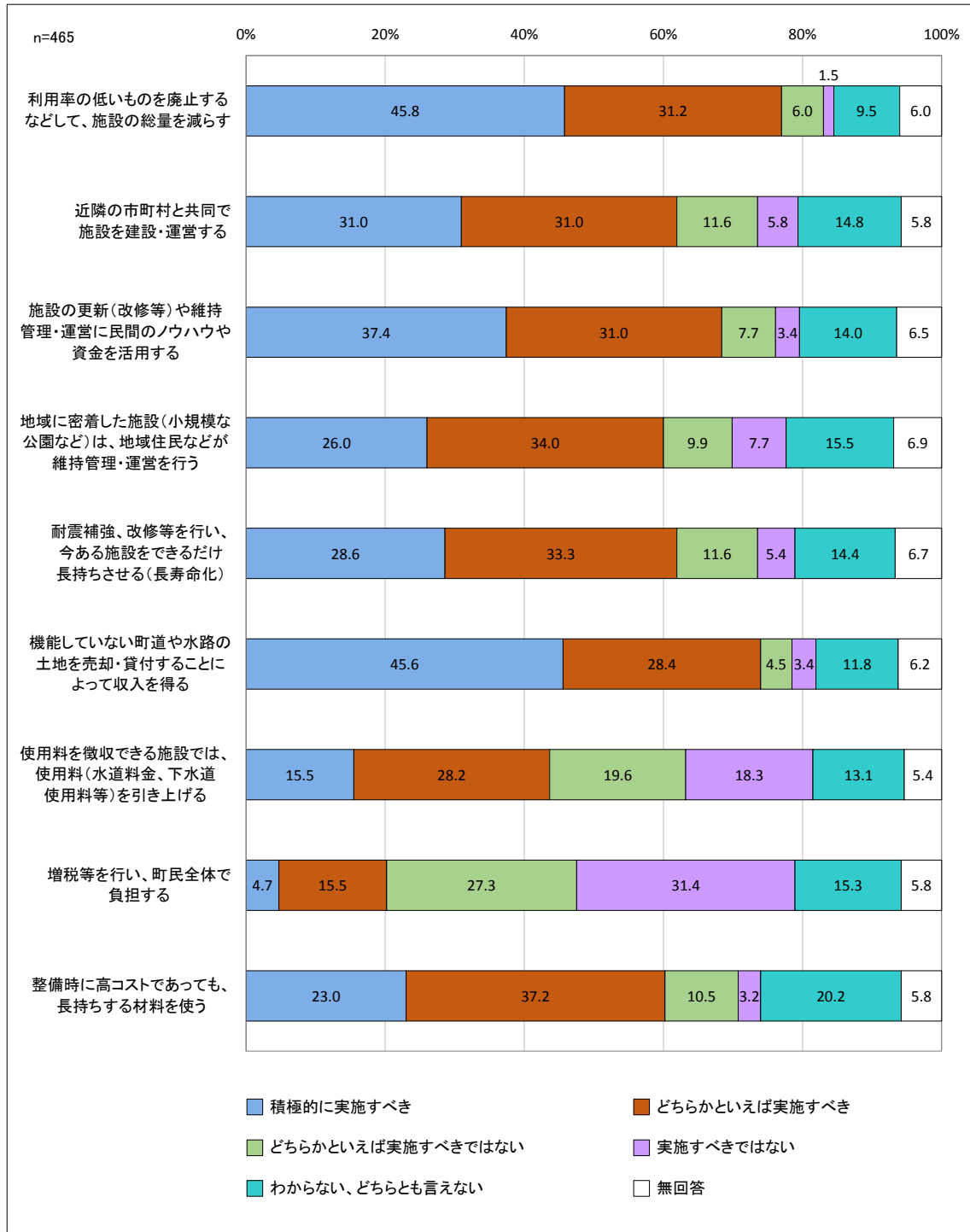
◆インフラ施設（道路・橋りょう・上水道・下水道・温泉などの都市基盤施設）の今後の方向性についてお尋ねします

問18 インフラ施設の更新には膨大な費用が必要になることが想定される中で、今後どのように管理していくとよいか、様々な視点で検討する必要があります。町の保有するインフラ施設全般に関して、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに最も近いものにあてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

インフラ施設の今後の方向性（単数回答）

項目名	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施しない	実施すべきではない	どちらでもない、言えない	無回答	合計
利用率の低いものを廃止するなどして、施設の総量を減らす	213 45.8%	145 31.2%	28 6.0%	7 1.5%	44 9.5%	28 6.0%	465 100.0%
近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する	144 31.0%	144 31.0%	54 11.6%	27 5.8%	69 14.8%	27 5.8%	465 100.0%
施設の更新（改修等）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する	174 37.4%	144 31.0%	36 7.7%	16 3.4%	65 14.0%	30 6.5%	465 100.0%
地域に密着した施設（小規模な公園など）は、地域住民などが維持管理・運営を行う	121 26.0%	158 34.0%	46 9.9%	36 7.7%	72 15.5%	32 6.9%	465 100.0%
耐震補強、改修等を行い、今ある施設をできるだけ長持ちさせる（長寿命化）	133 28.6%	155 33.3%	54 11.6%	25 5.4%	67 14.4%	31 6.7%	465 100.0%
機能していない町道や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る	212 45.6%	132 28.4%	21 4.5%	16 3.4%	55 11.8%	29 6.2%	465 100.0%
使用料を徴収できる施設では、使用料（水道料金、下水道使用料等）を引き上げる	72 15.5%	131 28.2%	91 19.6%	85 18.3%	61 13.1%	25 5.4%	465 100.0%
増税等を行い、町民全体で負担する	22 4.7%	72 15.5%	127 27.3%	146 31.4%	71 15.3%	27 5.8%	465 100.0%
整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う	107 23.0%	173 37.2%	49 10.5%	15 3.2%	94 20.2%	27 5.8%	465 100.0%

インフラ施設の今後の方向性：グラフ（単数回答）



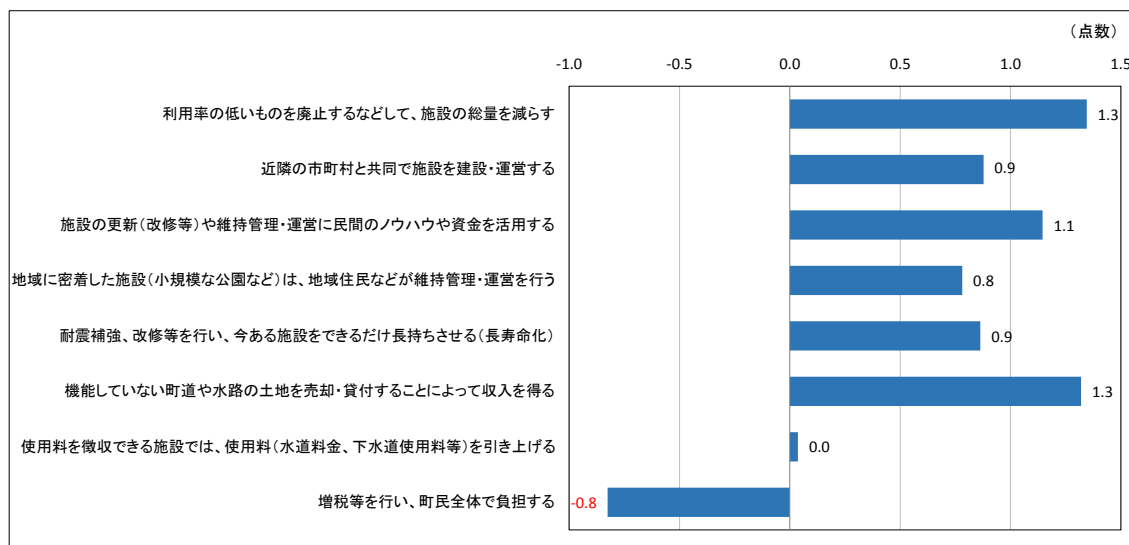
「増税等を行い、町民全体で負担する」以外の方策では、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多数を占めました。ただし、「使用料を徴収できる施設では、使用料（水道料金、下水道使用料等）を引き上げる」は、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」は併せて 43.7%で、過半数を割っています。

次に、回答結果の「積極的に実施すべき」に 2 点、「どちらかといえば実施すべき」に 1 点、「どちらかといえば実施すべきではない」に - 1 点、「実施すべきではない」に - 2 点を与えた合計点を各項目回答数の合計で除して平均値を出し、肯定・否定回答の目安としての尺度を示しました。

$$\text{点数} = \{ \text{「積極的に実施すべき」(票数)} \times 2 \text{点} + \text{「どちらかといえば実施すべき」(票数)} \times 1 \text{点} + \text{「どちらかといえば実施すべきではない」(票数)} \times -1 \text{点} + \text{「実施すべきではない」(票数)} \times -2 \text{点} \} / \text{各項目回答数の合計}$$

(「わからない、どちらとも言えない」と「無回答」を除いた回答数で割っています。)

インフラ施設の今後の方向性：グラフ（単数回答）点数化



上記点数化の結果、「利用率の低いものを廃止するなどして、施設の総量を減らす」と「機能していない町道や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る」が 1.3 点と最も高くなり、反対に、「増税等を行い、町民全体で負担する」の得点はマイナス 0.8 点となりました。

問19 箱根町の公共施設等のあり方や今後の方向性について、ご意見がありましたら自由にご記入をお願いします。

「5. 自由意見集」をご覧ください。

4. クロス集計結果

ここでは、上記設問（問 6～問 13、問 16～問 18）に対して、回答者属性のうち、性別・年齢別・居住地域別を用いて、クロス集計した結果を以下の通り示します。

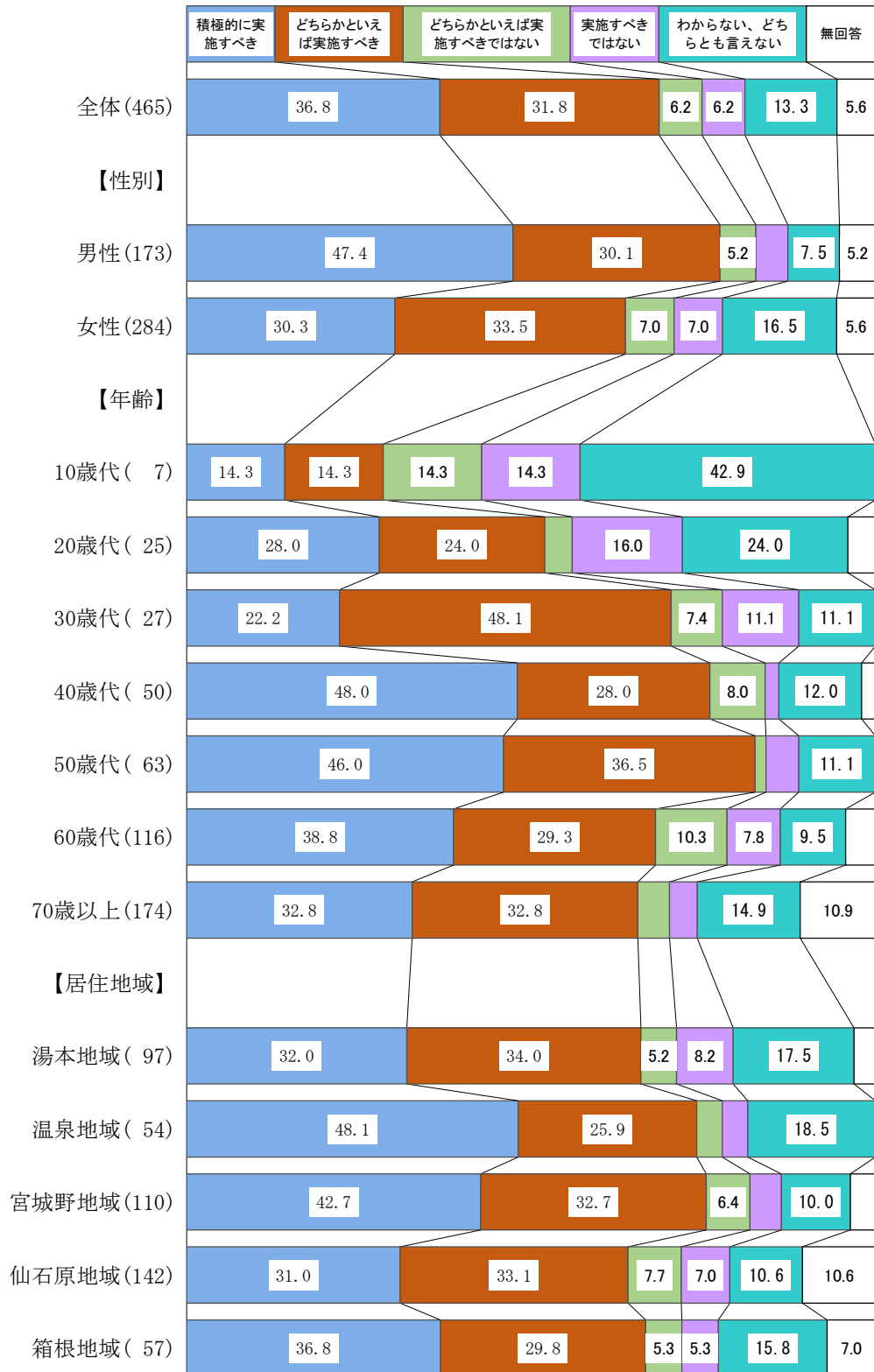
問6 将来も安全で使い易い施設を提供していくために、さまざまな方策を検討していく必要があります。町の保有する公共施設全般に関して、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに最も近いものにあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

1. 今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数）を減らす

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	171 36.8	148 31.8	29 6.2	29 6.2	62 13.3	26 5.6
性別	男性	173 100.0	82 47.4	52 30.1	9 5.2	8 4.6	13 7.5	9 5.2
	女性	284 100.0	86 30.3	95 33.5	20 7.0	20 7.0	47 16.5	16 5.6
	無回答	8 100.0	3 37.5	1 12.5	- -	1 12.5	2 25.0	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	7 28.0	6 24.0	1 4.0	4 16.0	6 24.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	13 48.1	2 7.4	3 11.1	3 11.1	- -
	40歳代	50 100.0	24 48.0	14 28.0	4 8.0	1 2.0	6 12.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	29 46.0	23 36.5	1 1.6	3 4.8	7 11.1	- -
	60歳代	116 100.0	45 38.8	34 29.3	12 10.3	9 7.8	11 9.5	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	57 32.8	57 32.8	8 4.6	7 4.0	26 14.9	19 10.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -	- -
居住地域	湯本地区	97 100.0	31 32.0	33 34.0	5 5.2	8 8.2	17 17.5	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	26 48.1	14 25.9	2 3.7	2 3.7	10 18.5	- -
	宮城野地域	110 100.0	47 42.7	36 32.7	7 6.4	5 4.5	11 10.0	4 3.6
	仙石原地域	142 100.0	44 31.0	47 33.1	11 7.7	10 7.0	15 10.6	15 10.6
	箱根地域	57 100.0	21 36.8	17 29.8	3 5.3	3 5.3	9 15.8	4 7.0
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／1. 今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量(施設数)を減らす

単位: % (5%未満非表示)



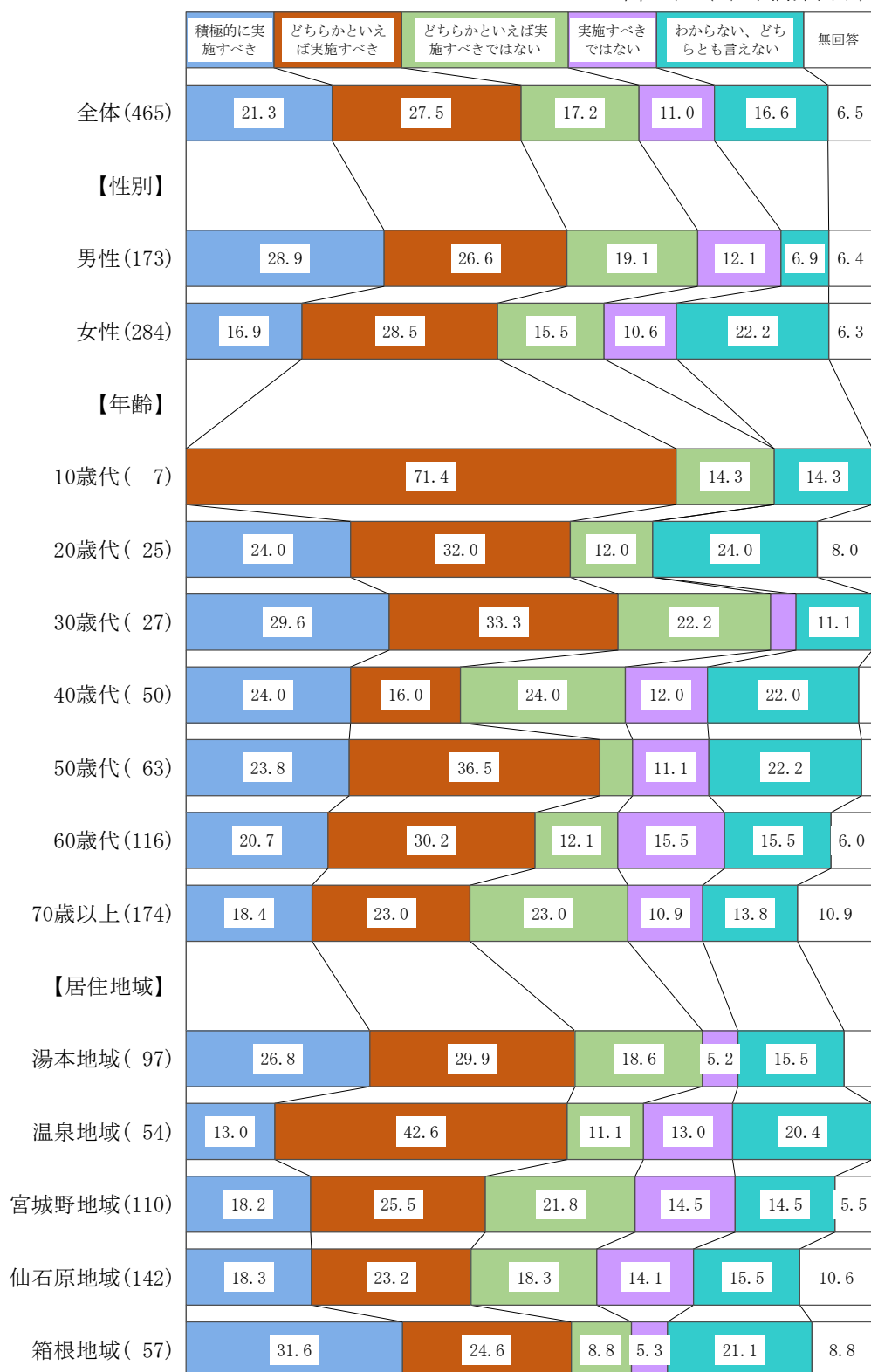
『今ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数）を減らす』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を10ポイント以上上回り、78%を占めました。また、年齢別では、「50代」の83%を占め、居住地域別では、「宮城野地域」が75%を占めました。「10代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

2. 近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	99 21.3	128 27.5	80 17.2	51 11.0	77 16.6	30 6.5
性別	男性	173 100.0	50 28.9	46 26.6	33 19.1	21 12.1	12 6.9	11 6.4
	女性	284 100.0	48 16.9	81 28.5	44 15.5	30 10.6	63 22.2	18 6.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-	2 25.0	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	-	5 71.4	1 14.3	-	1 14.3	-
	20歳代	25 100.0	6 24.0	8 32.0	3 12.0	-	6 24.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	8 29.6	9 33.3	6 22.2	1 3.7	3 11.1	-
	40歳代	50 100.0	12 24.0	8 16.0	12 24.0	6 12.0	11 22.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	15 23.8	23 36.5	3 4.8	7 11.1	14 22.2	1 1.6
	60歳代	116 100.0	24 20.7	35 30.2	14 12.1	18 15.5	18 15.5	7 6.0
	70歳以上	174 100.0	32 18.4	40 23.0	40 23.0	19 10.9	24 13.8	19 10.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	26 26.8	29 29.9	18 18.6	5 5.2	15 15.5	4 4.1
	温泉地域	54 100.0	7 13.0	23 42.6	6 11.1	7 13.0	11 20.4	-
	宮城野地域	110 100.0	20 18.2	28 25.5	24 21.8	16 14.5	16 14.5	6 5.5
	仙石原地域	142 100.0	26 18.3	33 23.2	26 18.3	20 14.1	22 15.5	15 10.6
	箱根地域	57 100.0	18 31.6	14 24.6	5 8.8	3 5.3	12 21.1	5 8.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／2. 近隣の市町村と
共同で施設を建設・運営する

単位：％（5％未満非表示）



『近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を10ポイント上回り、56%を占めました。

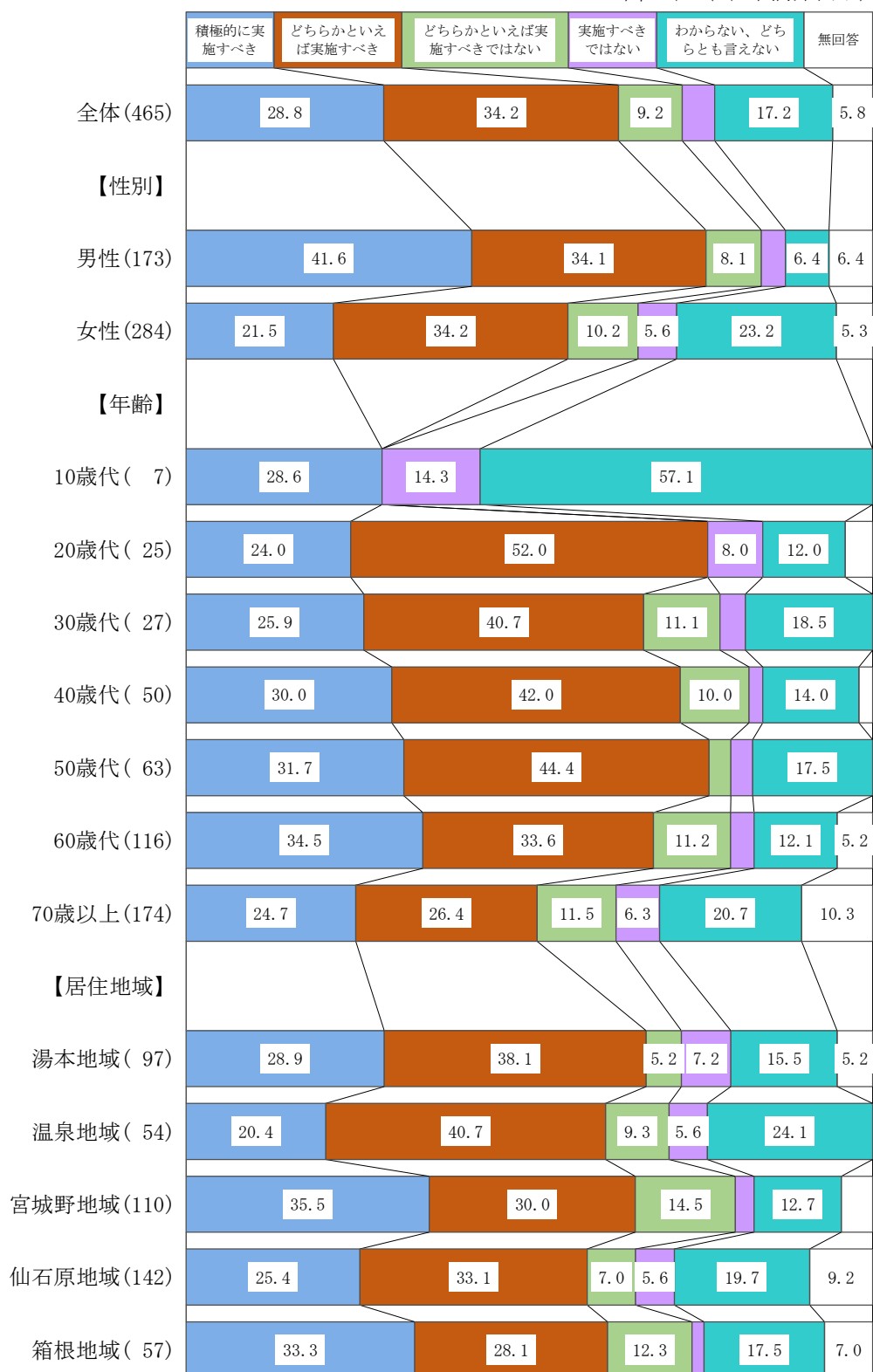
また、年齢別では、「30歳代」が63%を占め、居住地域別では、「湯本地区」と「温泉地域」と「箱根地域」が56%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が40%以上を占めています。

3. 施設の更新（改修・建替え）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	134 28.8	159 34.2	43 9.2	22 4.7	80 17.2	27 5.8
性別	男性	173 100.0	72 41.6	59 34.1	14 8.1	6 3.5	11 6.4	11 6.4
	女性	284 100.0	61 21.5	97 34.2	29 10.2	16 5.6	66 23.2	15 5.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	3 37.5	-	-	3 37.5	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	-	1 14.3	4 57.1	-
	20歳代	25 100.0	6 24.0	13 52.0	-	2 8.0	3 12.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	11 40.7	3 11.1	1 3.7	5 18.5	-
	40歳代	50 100.0	15 30.0	21 42.0	5 10.0	1 2.0	7 14.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	20 31.7	28 44.4	2 3.2	2 3.2	11 17.5	-
	60歳代	116 100.0	40 34.5	39 33.6	13 11.2	4 3.4	14 12.1	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	43 24.7	46 26.4	20 11.5	11 6.3	36 20.7	18 10.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3
居住地域	湯本地区	97 100.0	28 28.9	37 38.1	5 5.2	7 7.2	15 15.5	5 5.2
	温泉地域	54 100.0	11 20.4	22 40.7	5 9.3	3 5.6	13 24.1	-
	宮城野地域	110 100.0	39 35.5	33 30.0	16 14.5	3 2.7	14 12.7	5 4.5
	仙石原地域	142 100.0	36 25.4	47 33.1	10 7.0	8 5.6	28 19.7	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	19 33.3	16 28.1	7 12.3	1 1.8	10 17.5	4 7.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-	-	-	-

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／3. 施設の更新(改修・建替え)や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する

単位: % (5%未満非表示)



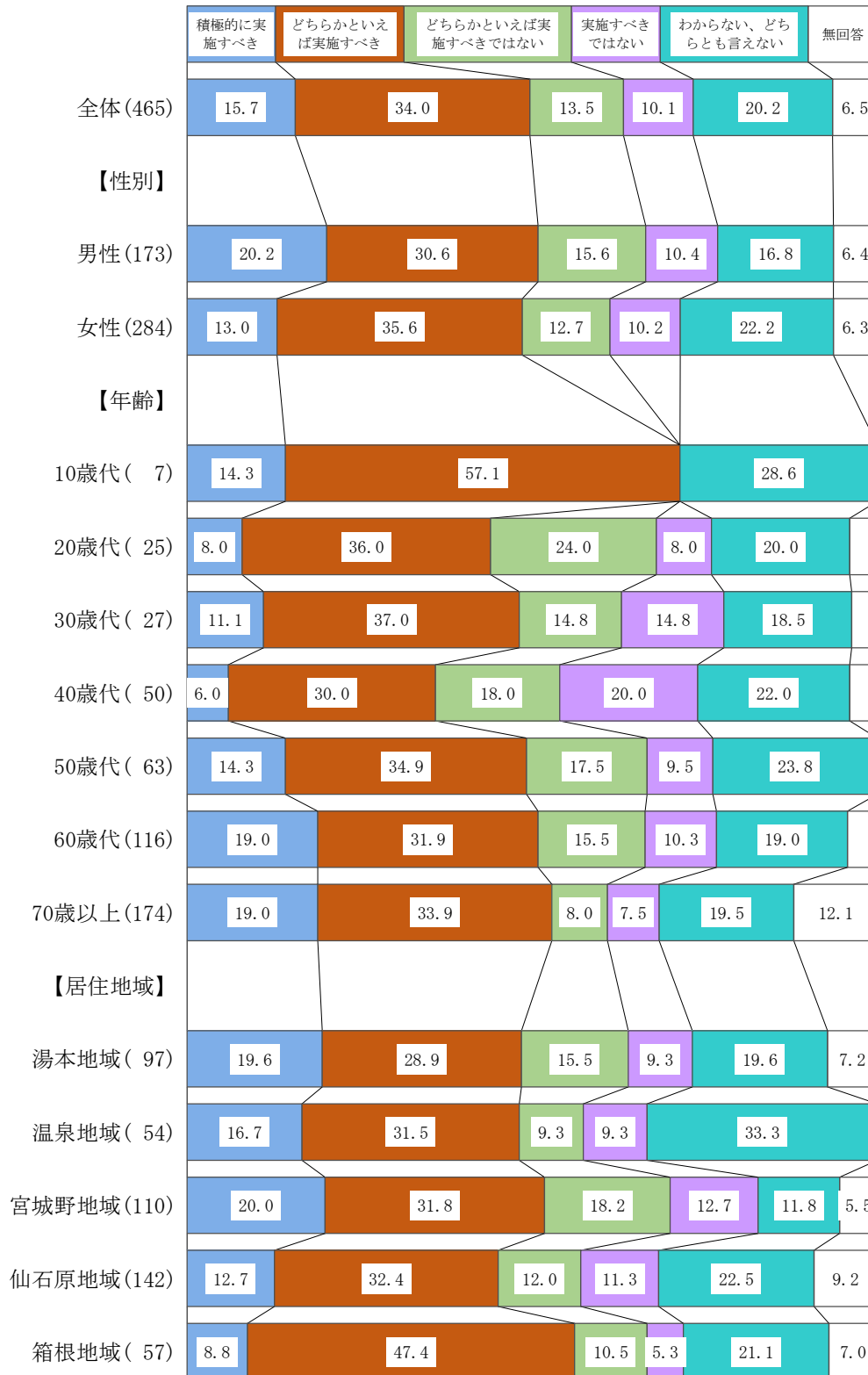
『施設の更新（改修・建替え）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を20ポイント上回り、76%を占めました。また、年齢別では、「20歳代」と「50歳代」が76%を占め、居住地別では、「湯本地域」が67%を占めました。「10歳代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

4. 地域活動に密着した施設は、地域住民などが維持管理・運営を行う

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	73 15.7	158 34.0	63 13.5	47 10.1	94 20.2	30 6.5
性別	男性	173 100.0	35 20.2	53 30.6	27 15.6	18 10.4	29 16.8	11 6.4
	女性	284 100.0	37 13.0	101 35.6	36 12.7	29 10.2	63 22.2	18 6.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	4 50.0	-	-	2 25.0	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	4 57.1	-	-	2 28.6	-
	20歳代	25 100.0	2 8.0	9 36.0	6 24.0	2 8.0	5 20.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	3 11.1	10 37.0	4 14.8	4 14.8	5 18.5	1 3.7
	40歳代	50 100.0	3 6.0	15 30.0	9 18.0	10 20.0	11 22.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	9 14.3	22 34.9	11 17.5	6 9.5	15 23.8	-
	60歳代	116 100.0	22 19.0	37 31.9	18 15.5	12 10.3	22 19.0	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	33 19.0	59 33.9	14 8.0	13 7.5	34 19.5	21 12.1
	無回答	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-
居住地	湯本地域	97 100.0	19 19.6	28 28.9	15 15.5	9 9.3	19 19.6	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	9 16.7	17 31.5	5 9.3	5 9.3	18 33.3	-
	宮城野地域	110 100.0	22 20.0	35 31.8	20 18.2	14 12.7	13 11.8	6 5.5
	仙石原地域	142 100.0	18 12.7	46 32.4	17 12.0	16 11.3	32 22.5	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	5 8.8	27 47.4	6 10.5	3 5.3	12 21.1	4 7.0
	無回答	5 100.0	-	5 100.0	-	-	-	-

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／4. 地域活動に密着した施設は、地域住民などが維持管理・運営を行う

単位：％（5％未満非表示）



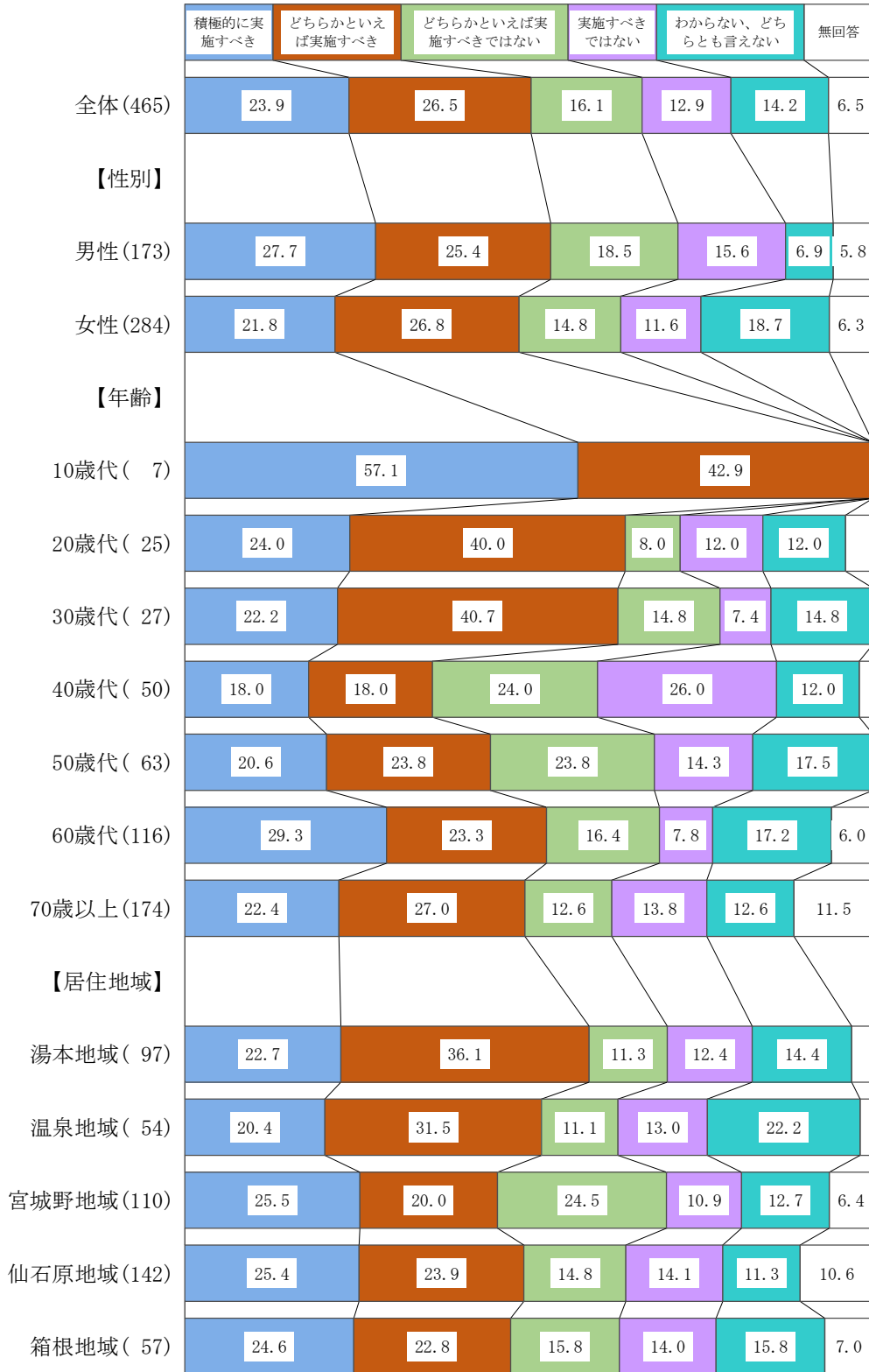
『地域活動に密着した施設は、地域住民などが維持管理・運営を行う』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」と「女性」では、各々50%前後でほとんど差がありませんでした。また、年齢別では、「10歳代」が71%を占め、居住地域別では、「箱根地域」が56%を占めました。「40歳代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が40%以上を占めています。

5. 老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる（長寿命化）

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	111 23.9	123 26.5	75 16.1	60 12.9	66 14.2	30 6.5
性別	男性	173 100.0	48 27.7	44 25.4	32 18.5	27 15.6	12 6.9	10 5.8
	女性	284 100.0	62 21.8	76 26.8	42 14.8	33 11.6	53 18.7	18 6.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	3 42.9	-	-	-	-
	20歳代	25 100.0	6 24.0	10 40.0	2 8.0	3 12.0	3 12.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	11 40.7	4 14.8	2 7.4	4 14.8	-
	40歳代	50 100.0	9 18.0	9 18.0	12 24.0	13 26.0	6 12.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	13 20.6	15 23.8	15 23.8	9 14.3	11 17.5	-
	60歳代	116 100.0	34 29.3	27 23.3	19 16.4	9 7.8	20 17.2	7 6.0
	70歳以上	174 100.0	39 22.4	47 27.0	22 12.6	24 13.8	22 12.6	20 11.5
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	22 22.7	35 36.1	11 11.3	12 12.4	14 14.4	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	11 20.4	17 31.5	6 11.1	7 13.0	12 22.2	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	28 25.5	22 20.0	27 24.5	12 10.9	14 12.7	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	36 25.4	34 23.9	21 14.8	20 14.1	16 11.3	15 10.6
	箱根地域	57 100.0	14 24.6	13 22.8	9 15.8	8 14.0	9 15.8	4 7.0
	無回答	5 100.0	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／5. 老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる(長寿命化)

単位：% (5%未満非表示)



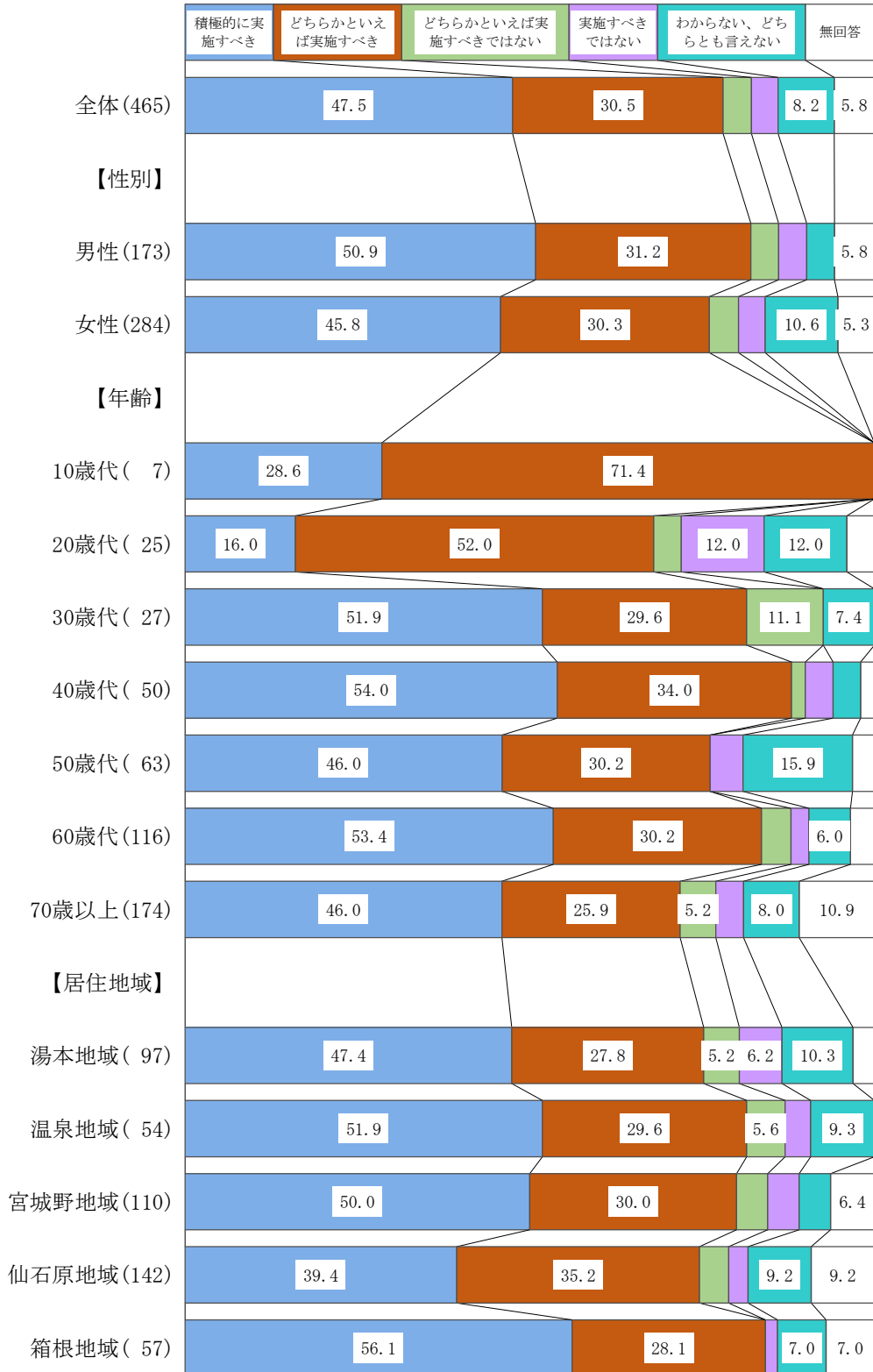
『老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる（長寿命化）』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」と「女性」では、各々50%前後でありあまり差がありませんでした。また、年齢別では、「10歳代」が100%を占め、居住地域別では、「湯本地区」が59%を占めました。「40歳代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が40%以上を占めています。

6. 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	221 47.5	142 30.5	19 4.1	18 3.9	38 8.2	27 5.8
性別	男性	173 100.0	88 50.9	54 31.2	7 4.0	7 4.0	7 4.0	10 5.8
	女性	284 100.0	130 45.8	86 30.3	12 4.2	11 3.9	30 10.6	15 5.3
	無回答	8 100.0	3 37.5	2 25.0	- -	- -	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	5 71.4	- -	- -	- -	- -
	20歳代	25 100.0	4 16.0	13 52.0	1 4.0	3 12.0	3 12.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	14 51.9	8 29.6	3 11.1	- -	2 7.4	- -
	40歳代	50 100.0	27 54.0	17 34.0	1 2.0	2 4.0	2 4.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	29 46.0	19 30.2	- -	3 4.8	10 15.9	2 3.2
	60歳代	116 100.0	62 53.4	35 30.2	5 4.3	3 2.6	7 6.0	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	80 46.0	45 25.9	9 5.2	7 4.0	14 8.0	19 10.9
	無回答	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
居住地域	湯本地区	97 100.0	46 47.4	27 27.8	5 5.2	6 6.2	10 10.3	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	28 51.9	16 29.6	3 5.6	2 3.7	5 9.3	- -
	宮城野地域	110 100.0	55 50.0	33 30.0	5 4.5	5 4.5	5 4.5	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	56 39.4	50 35.2	6 4.2	4 2.8	13 9.2	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	32 56.1	16 28.1	- -	1 1.8	4 7.0	4 7.0
	無回答	5 100.0	4 80.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／6. 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る

単位：%（5%未満非表示）



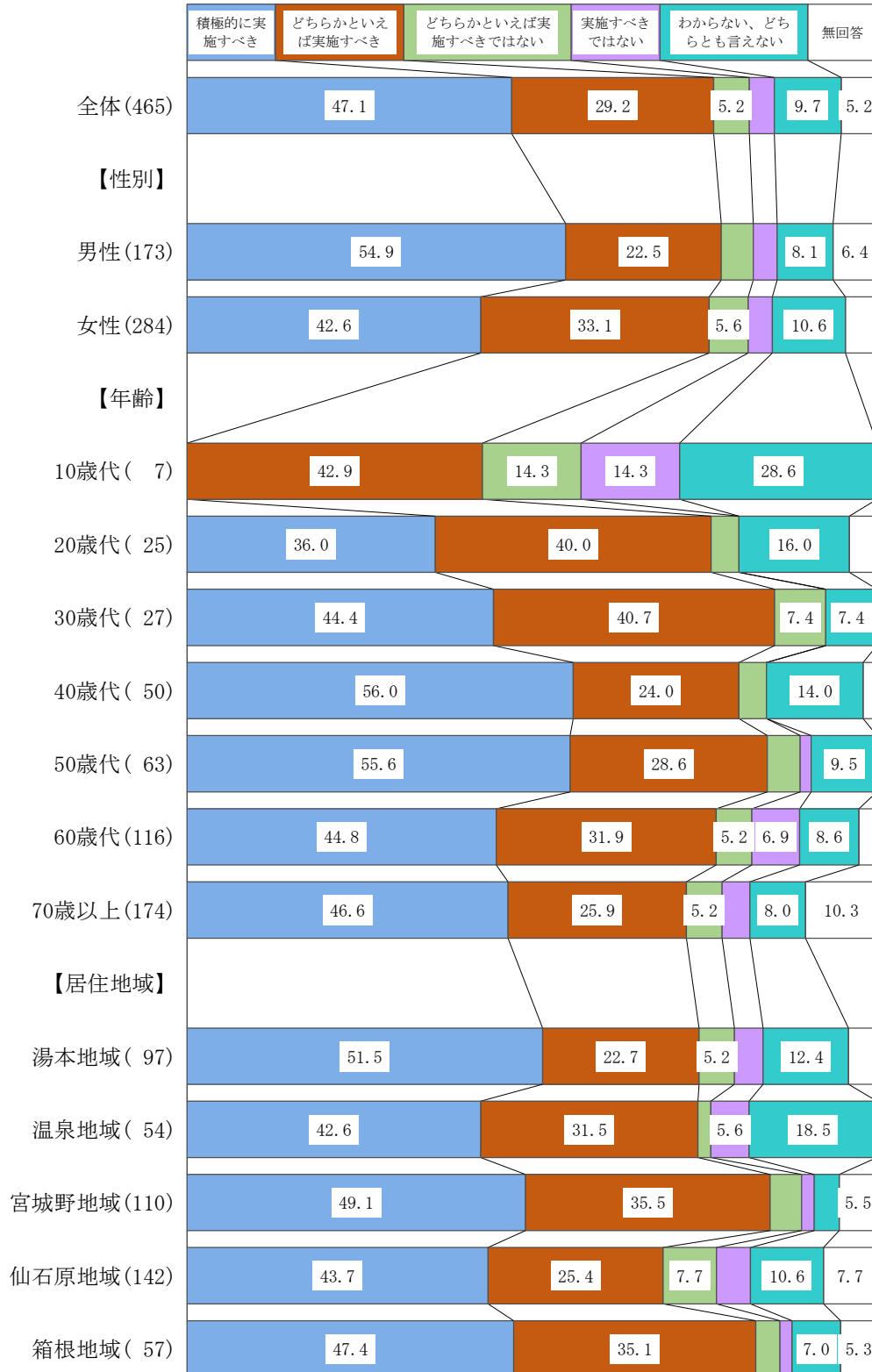
『利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を6ポイント上回り、82%を占めました。また、年齢別では、「10歳代」が100%を占め、居住地別では、「箱根地域」が84%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が70%以上と高い割合を占めています。

7. 利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	219 47.1	136 29.2	24 5.2	17 3.7	45 9.7	24 5.2
性別	男性	173 100.0	95 54.9	39 22.5	8 4.6	6 3.5	14 8.1	11 6.4
	女性	284 100.0	121 42.6	94 33.1	16 5.6	10 3.5	30 10.6	13 4.6
	無回答	8 100.0	3 37.5	3 37.5	- -	1 12.5	1 12.5	- -
年齢	10歳代	7 100.0	- -	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	- -
	20歳代	25 100.0	9 36.0	10 40.0	1 4.0	- -	4 16.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	12 44.4	11 40.7	2 7.4	- -	2 7.4	- -
	40歳代	50 100.0	28 56.0	12 24.0	2 4.0	- -	7 14.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	35 55.6	18 28.6	3 4.8	1 1.6	6 9.5	- -
	60歳代	116 100.0	52 44.8	37 31.9	6 5.2	8 6.9	10 8.6	3 2.6
	70歳以上	174 100.0	81 46.6	45 25.9	9 5.2	7 4.0	14 8.0	18 10.3
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	- -	1 33.3
居住地	湯本地域	97 100.0	50 51.5	22 22.7	5 5.2	4 4.1	12 12.4	4 4.1
	温泉地域	54 100.0	23 42.6	17 31.5	1 1.9	3 5.6	10 18.5	- -
	宮城野地域	110 100.0	54 49.1	39 35.5	5 4.5	2 1.8	4 3.6	6 5.5
	仙石原地域	142 100.0	62 43.7	36 25.4	11 7.7	7 4.9	15 10.6	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	27 47.4	20 35.1	2 3.5	1 1.8	4 7.0	3 5.3
	無回答	5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／7. 利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る

単位：％（5％未満非表示）



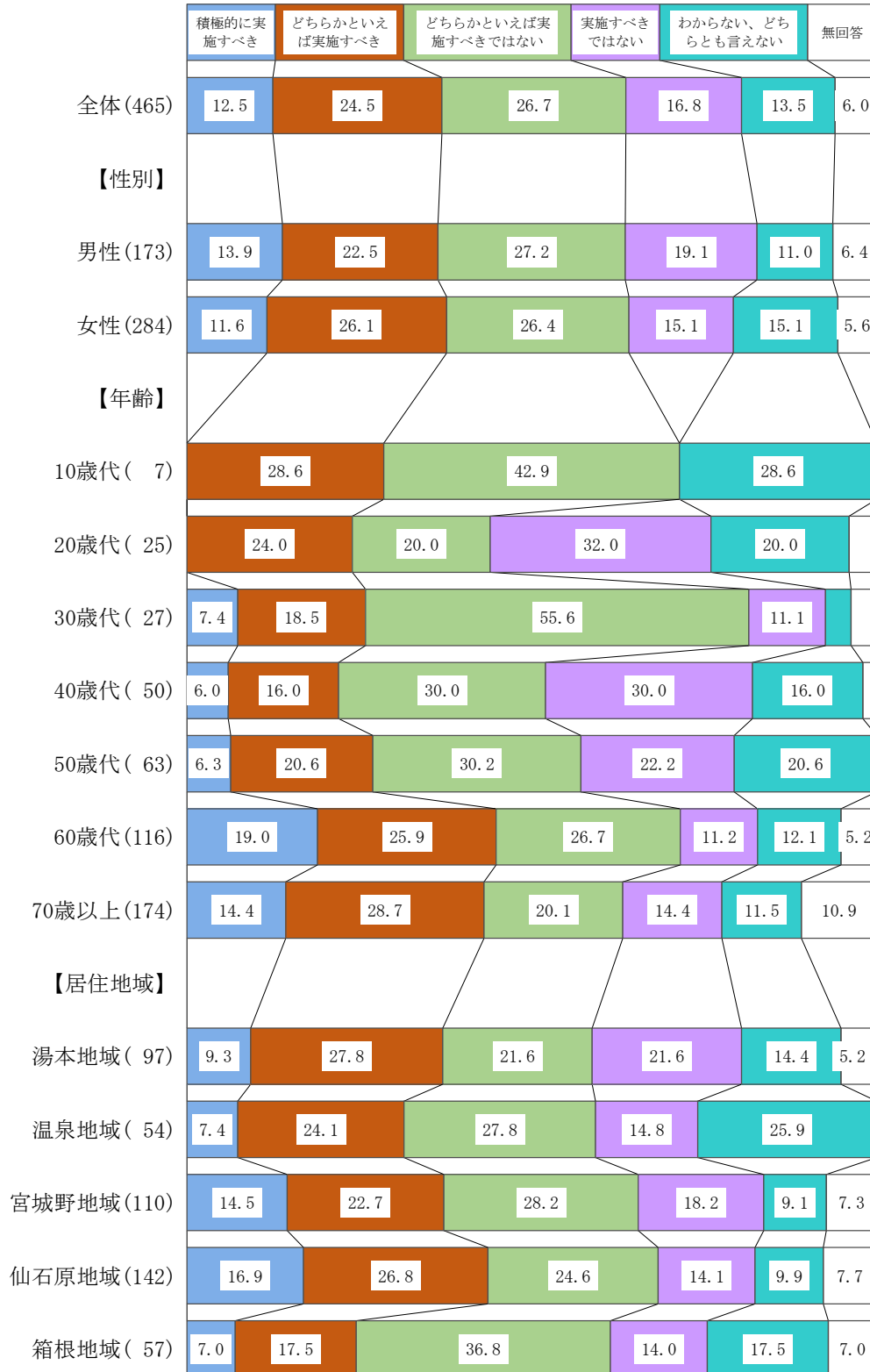
『利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」と「女性」では、各々75%強でありあまり差がありませんでした。また、年齢別では、「50歳代」が84%を占め、居住地域別では、「宮城野地域」が85%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が70%以上と高い割合を占めています。

8. 施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	58 12.5	114 24.5	124 26.7	78 16.8	63 13.5	28 6.0
性別	男性	173 100.0	24 13.9	39 22.5	47 27.2	33 19.1	19 11.0	11 6.4
	女性	284 100.0	33 11.6	74 26.1	75 26.4	43 15.1	43 15.1	16 5.6
	無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	-	2 28.6	3 42.9	-	2 28.6	-
	20歳代	25 100.0	-	6 24.0	5 20.0	8 32.0	5 20.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	2 7.4	5 18.5	15 55.6	3 11.1	1 3.7	1 3.7
	40歳代	50 100.0	3 6.0	8 16.0	15 30.0	15 30.0	8 16.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	4 6.3	13 20.6	19 30.2	14 22.2	13 20.6	-
	60歳代	116 100.0	22 19.0	30 25.9	31 26.7	13 11.2	14 12.1	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	25 14.4	50 28.7	35 20.1	25 14.4	20 11.5	19 10.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	9 9.3	27 27.8	21 21.6	21 21.6	14 14.4	5 5.2
	温泉地域	54 100.0	4 7.4	13 24.1	15 27.8	8 14.8	14 25.9	-
	宮城野地域	110 100.0	16 14.5	25 22.7	31 28.2	20 18.2	10 9.1	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	24 16.9	38 26.8	35 24.6	20 14.1	14 9.9	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	4 7.0	10 17.5	21 36.8	8 14.0	10 17.5	4 7.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-

【問6】今後の公共施設のあり方に関する方策／8. 施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる

単位：％（5％未満非表示）



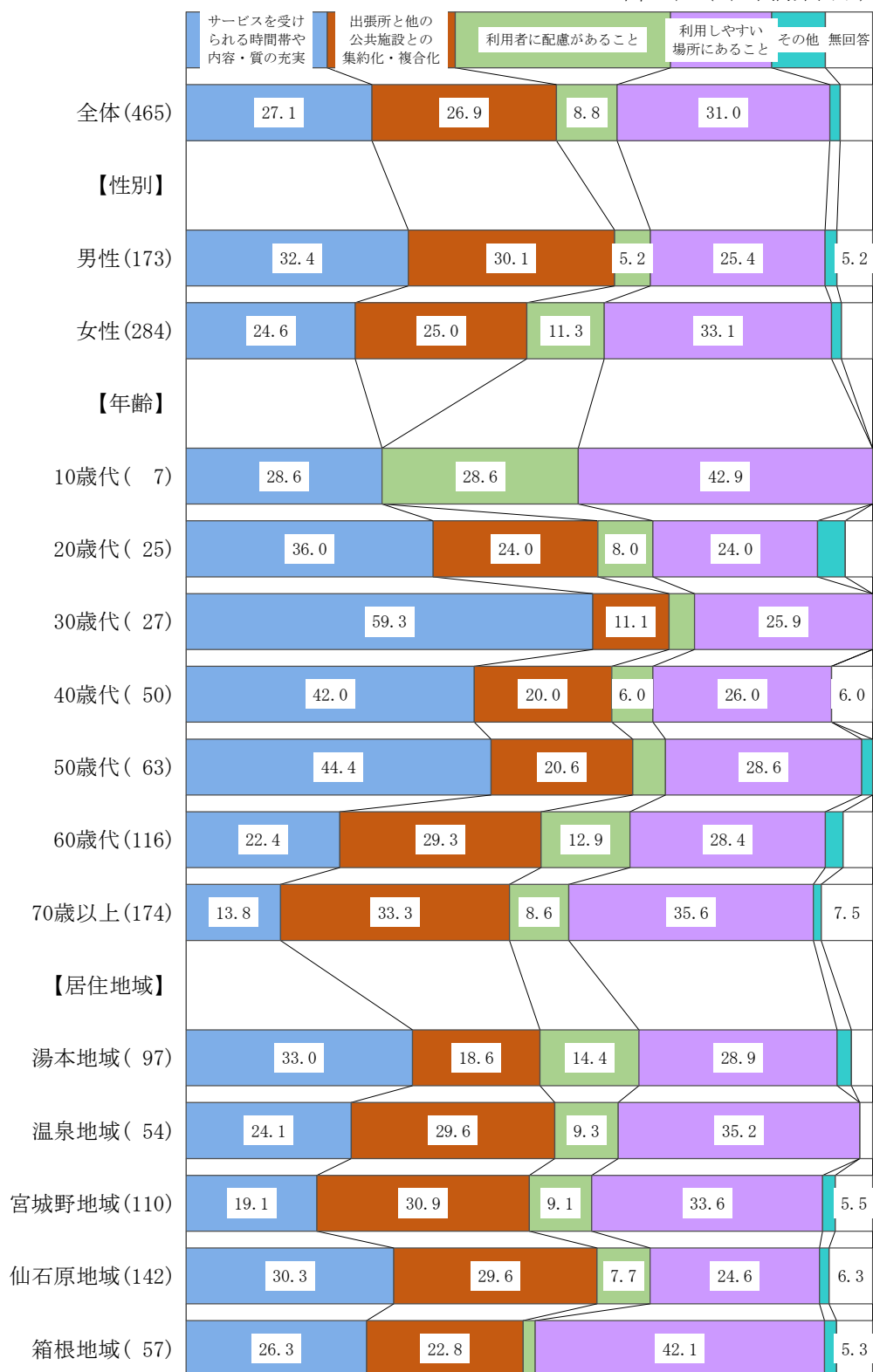
『施設の利用料を引き上げるなど、町の収入を増やし、今ある施設を存続させる』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「女性」が「男性」をわずか2ポイント上回り、38%を占めました。また、年齢別では、「60歳代」が45%を占め、居住地域別では、「仙石原地域」が44%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が20~40%台と低い割合を占めています。

問7 庁舎等（箱根町役場・出張所）についてお聞きします。庁舎等では様々な行政サービスを受けることができます。今後の庁舎等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

		全体	サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実	出張所と他の公共施設との集約化・複合化	利用者に配慮があること (エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実)	利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	126 27.1	125 26.9	41 8.8	144 31.0	7 1.5	22 4.7
性別	男性	173 100.0	56 32.4	52 30.1	9 5.2	44 25.4	3 1.7	9 5.2
	女性	284 100.0	70 24.6	71 25.0	32 11.3	94 33.1	4 1.4	13 4.6
	無回答	8 100.0	-	2 25.0	-	6 75.0	-	-
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	3 42.9	-	-
	20歳代	25 100.0	9 36.0	6 24.0	2 8.0	6 24.0	1 4.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	16 59.3	3 11.1	1 3.7	7 25.9	-	-
	40歳代	50 100.0	21 42.0	10 20.0	3 6.0	13 26.0	-	3 6.0
	50歳代	63 100.0	28 44.4	13 20.6	3 4.8	18 28.6	1 1.6	-
	60歳代	116 100.0	26 22.4	34 29.3	15 12.9	33 28.4	3 2.6	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	24 13.8	58 33.3	15 8.6	62 35.6	2 1.1	13 7.5
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	32 33.0	18 18.6	14 14.4	28 28.9	2 2.1	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	13 24.1	16 29.6	5 9.3	19 35.2	-	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	21 19.1	34 30.9	10 9.1	37 33.6	2 1.8	6 5.5
	仙石原地域	142 100.0	43 30.3	42 29.6	11 7.7	35 24.6	2 1.4	9 6.3
	箱根地域	57 100.0	15 26.3	13 22.8	1 1.8	24 42.1	1 1.8	3 5.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-

【問7】庁舎等のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



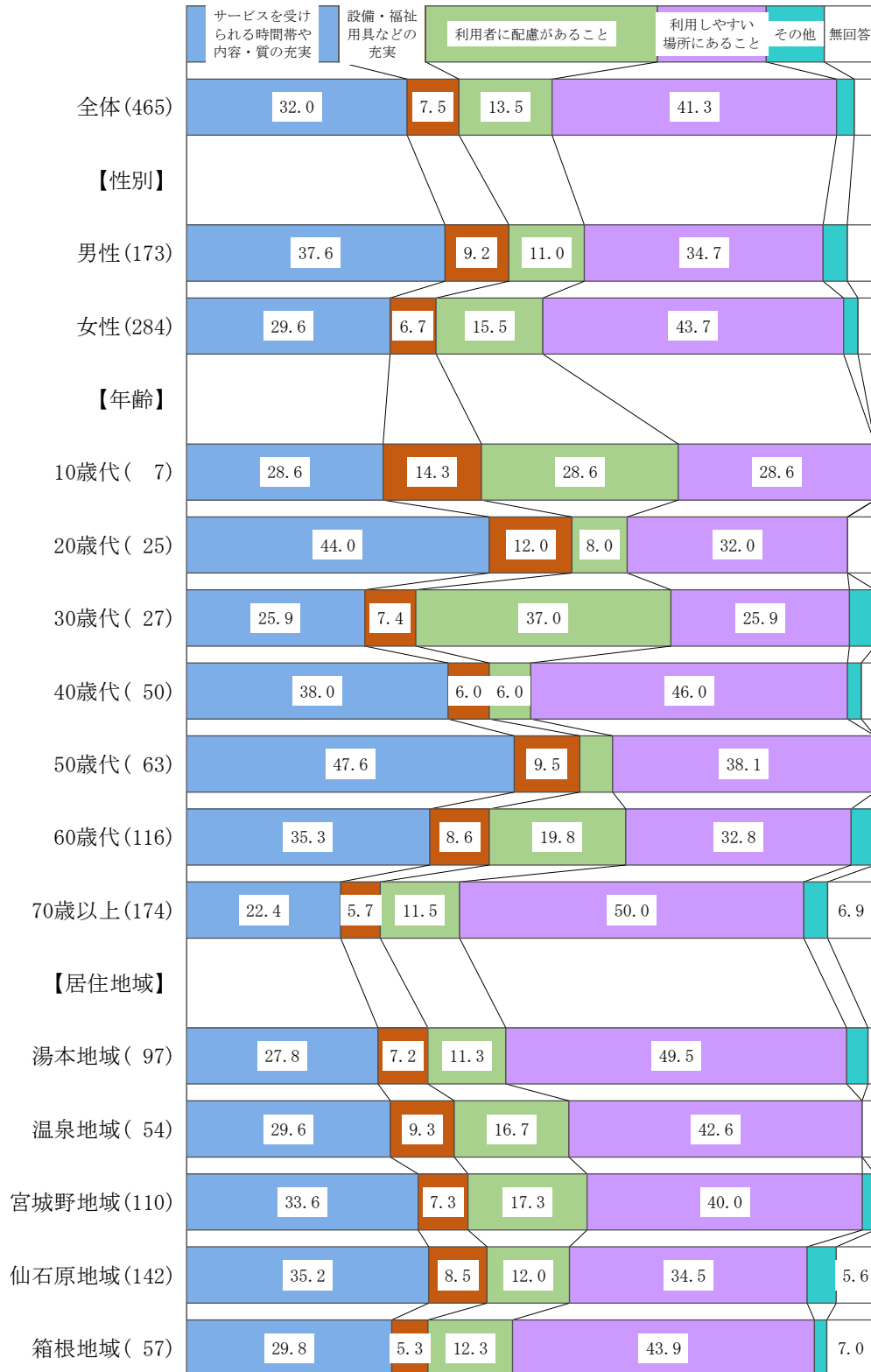
『庁舎等のあり方として重視すること』として、「サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実」が最も多くを占めたのは、「男性」と「20～50 歳代」と「湯本・仙石原地域」で、「利用しやすい場所にあること」が最も多くを占めたのは、「女性」と「10・70 歳代」と「温泉・宮城野・箱根地域」でした。また、「60 歳代」は「出張所と他の公共施設との集約化・複合化」が最も多くを占めました。

問8 保健福祉施設（保健施設・高齢福祉施設）についてお聞きします。今後の保健福祉施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

		全体	サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実	設備・福祉用具などの充実	利用者に配慮があること (エレベーター、トイレ、 バリアフリーなどが充実)	利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	149 32.0	35 7.5	63 13.5	192 41.3	12 2.6	14 3.0
性別	男性	173 100.0	65 37.6	16 9.2	19 11.0	60 34.7	6 3.5	7 4.0
	女性	284 100.0	84 29.6	19 6.7	44 15.5	124 43.7	6 2.1	7 2.5
	無回答	8 100.0	-	-	-	8 100.0	-	-
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	-	-
	20歳代	25 100.0	11 44.0	3 12.0	2 8.0	8 32.0	-	1 4.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	2 7.4	10 37.0	7 25.9	1 3.7	-
	40歳代	50 100.0	19 38.0	3 6.0	3 6.0	23 46.0	1 2.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	30 47.6	6 9.5	3 4.8	24 38.1	-	-
	60歳代	116 100.0	41 35.3	10 8.6	23 19.8	38 32.8	4 3.4	-
	70歳以上	174 100.0	39 22.4	10 5.7	20 11.5	87 50.0	6 3.4	12 6.9
	無回答	3 100.0	-	-	-	3 100.0	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	27 27.8	7 7.2	11 11.3	48 49.5	3 3.1	1 1.0
	温泉地域	54 100.0	16 29.6	5 9.3	9 16.7	23 42.6	-	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	37 33.6	8 7.3	19 17.3	44 40.0	2 1.8	-
	仙石原地域	142 100.0	50 35.2	12 8.5	17 12.0	49 34.5	6 4.2	8 5.6
	箱根地域	57 100.0	17 29.8	3 5.3	7 12.3	25 43.9	1 1.8	4 7.0
	無回答	5 100.0	2 40.0	-	-	3 60.0	-	-

【問8】保健福祉施設のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



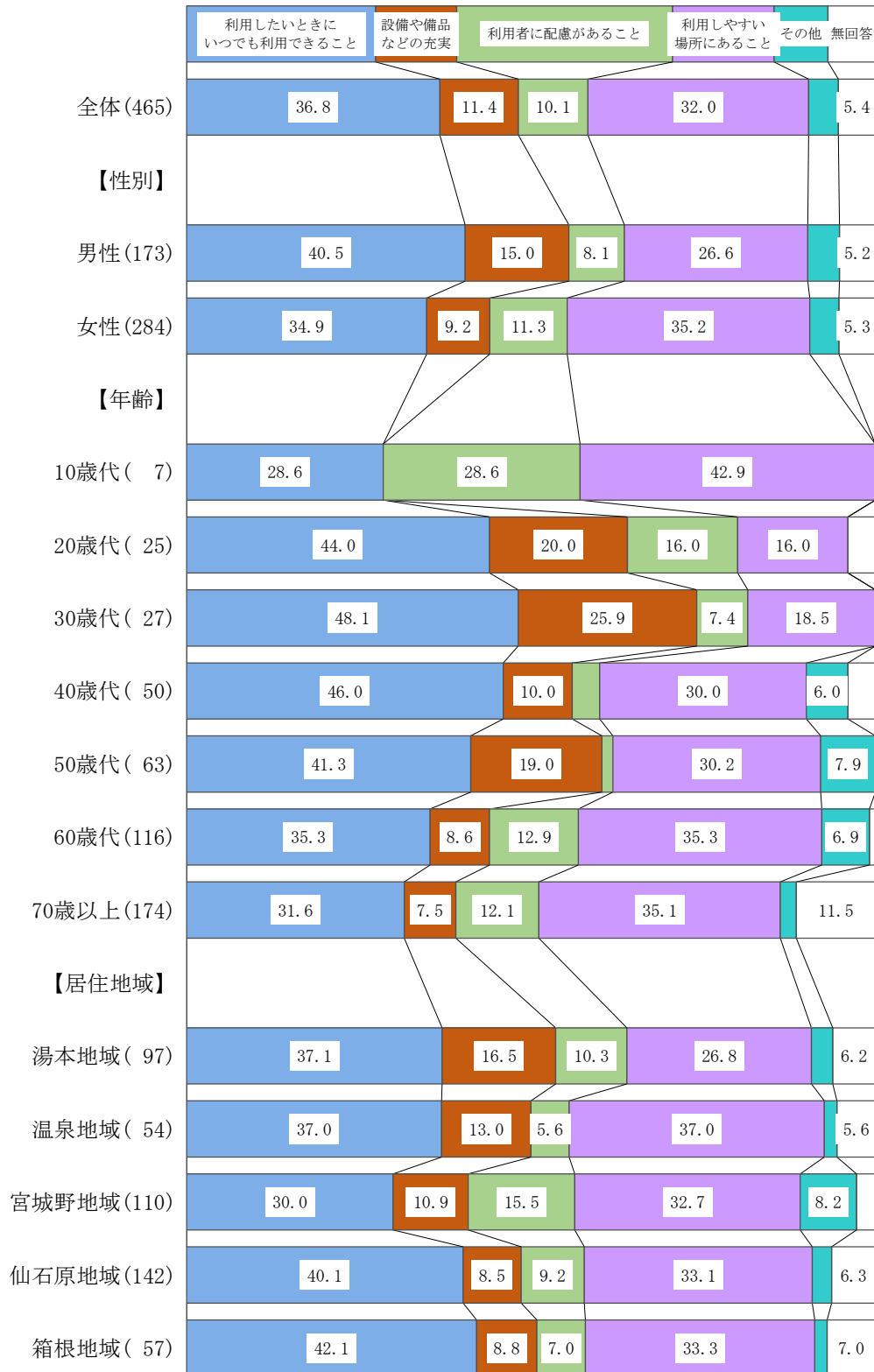
『保健福祉施設のあり方として重視すること』として、「サービスを受けられる時間帯や内容・質の充実」が最も多くを占めたのは、「男性」・「20・50・60歳代」と「仙石原地域」で、「利用しやすい場所にあること」が最も多くを占めたのは、「女性」と「40・70歳代」と「湯本・温泉・宮城野・箱根地域」でした。また、「30歳代」は「利用者に配慮があること（エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実）」が最も多くを占めました。 ※回答がばらけた「10歳代」は除く

問9 公民館・集会施設についてお聞きします。今後の公民館・集会施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

		全体	利用したいときにいつでも利用でき (利用時間・空き状況)	設備や備品などの充実	利用者に配慮があること (エレベーター、トイレ、 バリアフリーなどが充実)	利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	171 36.8	53 11.4	47 10.1	149 32.0	20 4.3	25 5.4
性別	男性	173 100.0	70 40.5	26 15.0	14 8.1	46 26.6	8 4.6	9 5.2
	女性	284 100.0	99 34.9	26 9.2	32 11.3	100 35.2	12 4.2	15 5.3
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	3 42.9	-	-
	20歳代	25 100.0	11 44.0	5 20.0	4 16.0	4 16.0	-	1 4.0
	30歳代	27 100.0	13 48.1	7 25.9	2 7.4	5 18.5	-	-
	40歳代	50 100.0	23 46.0	5 10.0	2 4.0	15 30.0	3 6.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	26 41.3	12 19.0	1 1.6	19 30.2	5 7.9	-
	60歳代	116 100.0	41 35.3	10 8.6	15 12.9	41 35.3	8 6.9	1 0.9
	70歳以上	174 100.0	55 31.6	13 7.5	21 12.1	61 35.1	4 2.3	20 11.5
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3
居住地域	湯本地区	97 100.0	36 37.1	16 16.5	10 10.3	26 26.8	3 3.1	6 6.2
	温泉地域	54 100.0	20 37.0	7 13.0	3 5.6	20 37.0	1 1.9	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	33 30.0	12 10.9	17 15.5	36 32.7	9 8.2	3 2.7
	仙石原地域	142 100.0	57 40.1	12 8.5	13 9.2	47 33.1	4 2.8	9 6.3
	箱根地域	57 100.0	24 42.1	5 8.8	4 7.0	19 33.3	1 1.8	4 7.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	2 40.0	-

【問9】公民館・集会施設のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



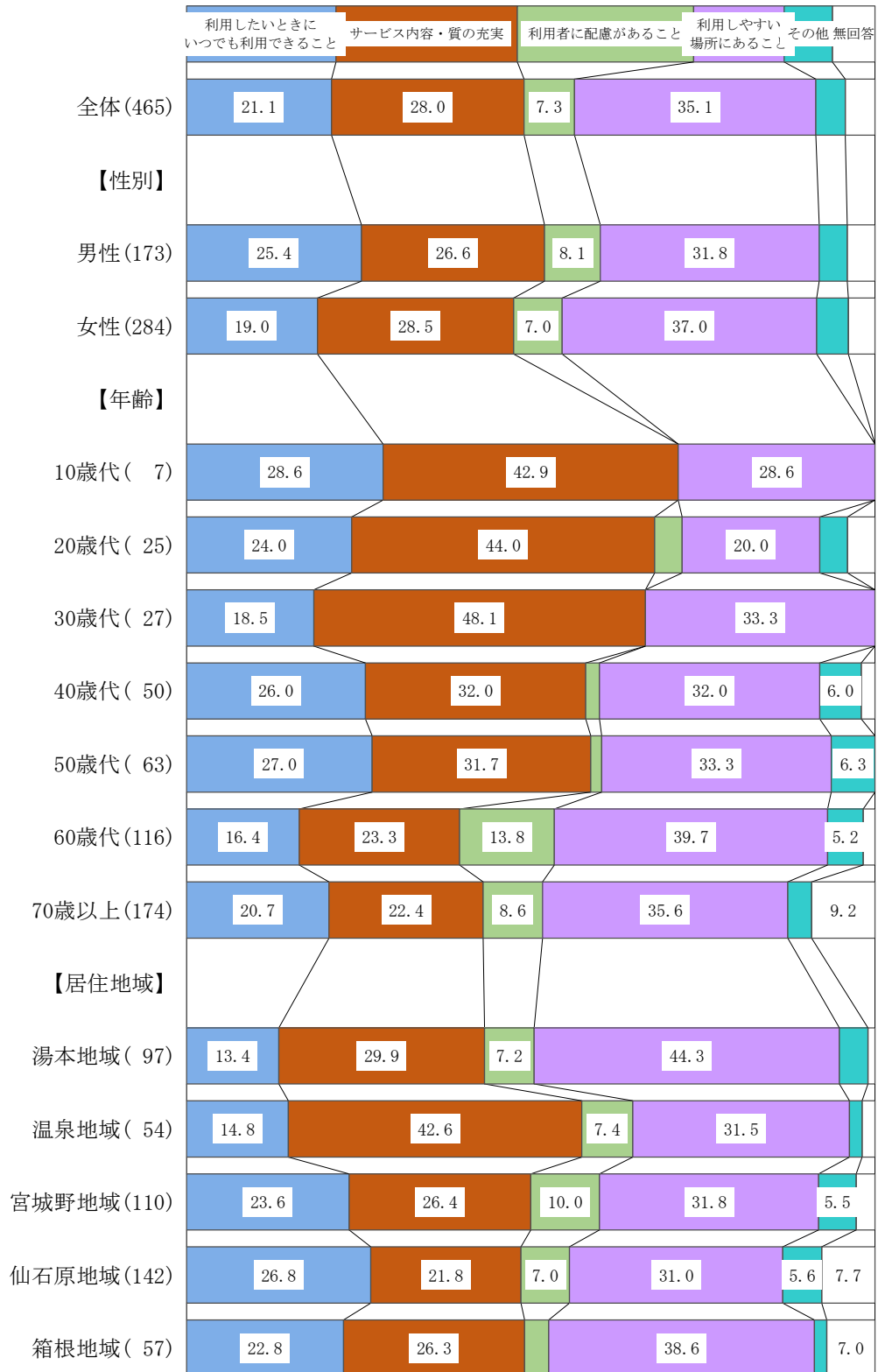
『公民館・集会施設のあり方として重視すること』として、「利用したいときにいつでも利用できること（利用時間・空き状況）」が最も多くを占めたのは、「男性」と「20～60 歳代」と「湯本・温泉・仙石原・箱根地域」で、「利用しやすい場所にあること」が最も多くを占めたのは、「女性」と「10・60・70 歳代」と「温泉・宮城野地域」でした。

問10 レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設についてお聞きします。
 今後のレクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

		全体	利用したいときにいつでも利用でき ること（利用時間・空き状況）	案内サービス、スポーツ器具・ 設備の豊富さなど	サービス内容・質の充実（観光 （エレベーター、トイレ、 バリアフリーなどが充実）	利用者に配慮があること （利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	98 21.1	130 28.0	34 7.3	163 35.1	20 4.3	20 4.3
性別	男性	173 100.0	44 25.4	46 26.6	14 8.1	55 31.8	7 4.0	7 4.0
	女性	284 100.0	54 19.0	81 28.5	20 7.0	105 37.0	13 4.6	11 3.9
	無回答	8 100.0	-	3 37.5	-	3 37.5	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	3 42.9	-	2 28.6	-	-
	20歳代	25 100.0	6 24.0	11 44.0	1 4.0	5 20.0	1 4.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	5 18.5	13 48.1	-	9 33.3	-	-
	40歳代	50 100.0	13 26.0	16 32.0	1 2.0	16 32.0	3 6.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	17 27.0	20 31.7	1 1.6	21 33.3	4 6.3	-
	60歳代	116 100.0	19 16.4	27 23.3	16 13.8	46 39.7	6 5.2	2 1.7
	70歳以上	174 100.0	36 20.7	39 22.4	15 8.6	62 35.6	6 3.4	16 9.2
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-
居住地域	湯本地区域	97 100.0	13 13.4	29 29.9	7 7.2	43 44.3	4 4.1	1 1.0
	温泉地域	54 100.0	8 14.8	23 42.6	4 7.4	17 31.5	1 1.9	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	26 23.6	29 26.4	11 10.0	35 31.8	6 5.5	3 2.7
	仙石原地域	142 100.0	38 26.8	31 21.8	10 7.0	44 31.0	8 5.6	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	13 22.8	15 26.3	2 3.5	22 38.6	1 1.8	4 7.0
	無回答	5 100.0	-	3 60.0	-	2 40.0	-	-

【問10】レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



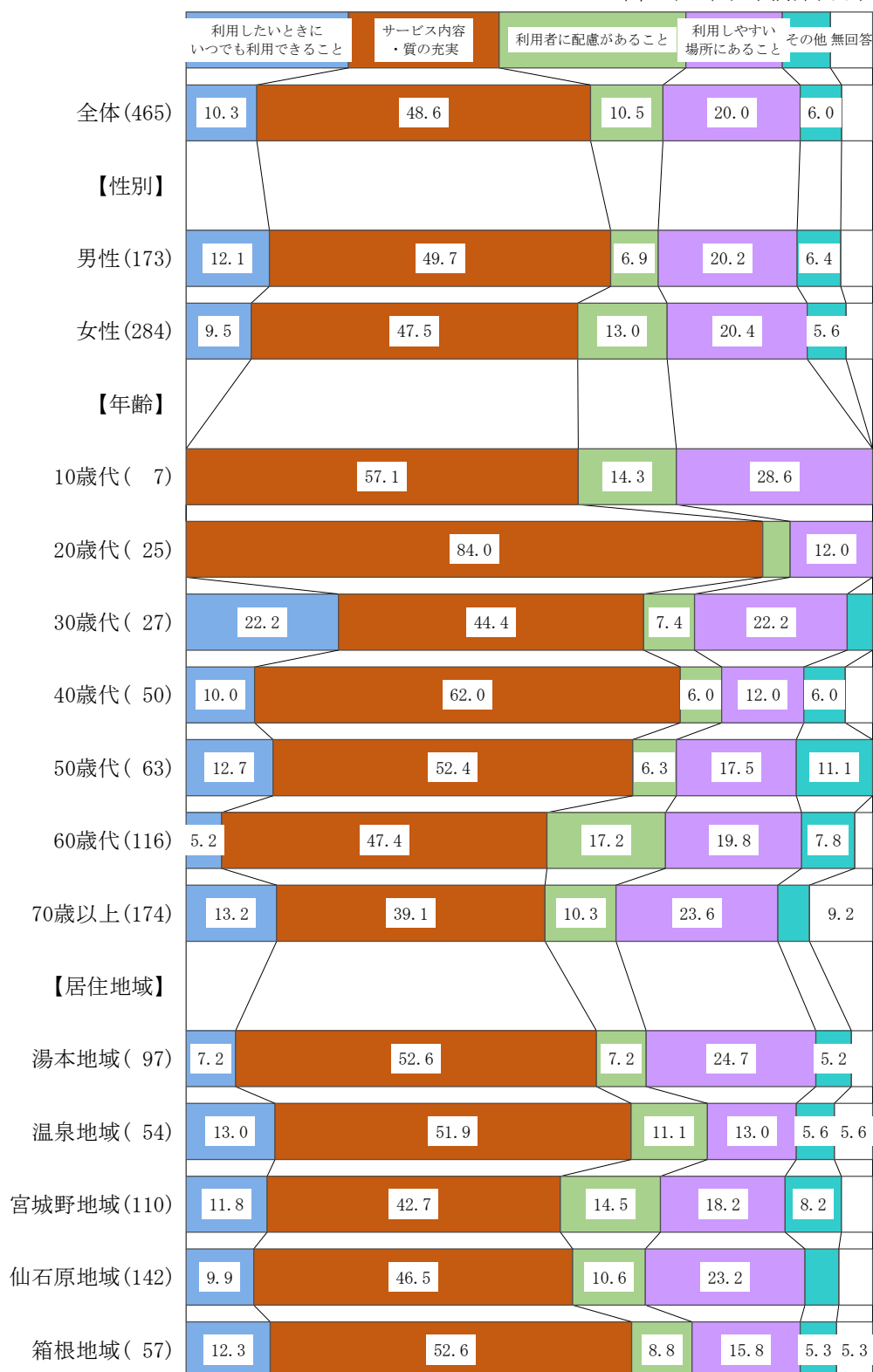
『レクリエーション施設・観光施設・スポーツ施設のあり方として重視すること』として、「利用しやすい場所にあること」が最も多くを占めたのは、「男性・女性」と「40～70 歳代」と「宮城野・仙石原・箱根地域」で、「サービス内容・質の充実（観光案内サービス、スポーツ器具・設備の豊富さなど）」が最も多くを占めたのは、「10～40 歳代」と「温泉地域」でした。

問11 博物館等についてお聞きします。今後の博物館等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

		全体	利用したいときにいつでも利用できること(開館時間など)	サービスク内容・質の充実(展示品や資料の豊富さなど)	利用者に配慮があること(エレベーター、トイレ、バリアフリーなどが充実)	利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	48 10.3	226 48.6	49 10.5	93 20.0	28 6.0	21 4.5
性別	男性	173 100.0	21 12.1	86 49.7	12 6.9	35 20.2	11 6.4	8 4.6
	女性	284 100.0	27 9.5	135 47.5	37 13.0	58 20.4	16 5.6	11 3.9
	無回答	8 100.0	-	5 62.5	-	-	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	4 57.1	1 14.3	2 28.6	-	-
	20歳代	25 100.0	-	21 84.0	1 4.0	3 12.0	-	-
	30歳代	27 100.0	6 22.2	12 44.4	2 7.4	6 22.2	1 3.7	-
	40歳代	50 100.0	5 10.0	31 62.0	3 6.0	6 12.0	3 6.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	8 12.7	33 52.4	4 6.3	11 17.5	7 11.1	-
	60歳代	116 100.0	6 5.2	55 47.4	20 17.2	23 19.8	9 7.8	3 2.6
	70歳以上	174 100.0	23 13.2	68 39.1	18 10.3	41 23.6	8 4.6	16 9.2
	無回答	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	7 7.2	51 52.6	7 7.2	24 24.7	5 5.2	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	7 13.0	28 51.9	6 11.1	7 13.0	3 5.6	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	13 11.8	47 42.7	16 14.5	20 18.2	9 8.2	5 4.5
	仙石原地域	142 100.0	14 9.9	66 46.5	15 10.6	33 23.2	7 4.9	7 4.9
	箱根地域	57 100.0	7 12.3	30 52.6	5 8.8	9 15.8	3 5.3	3 5.3
	無回答	5 100.0	-	4 80.0	-	-	1 20.0	-

【問11】博物館等のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



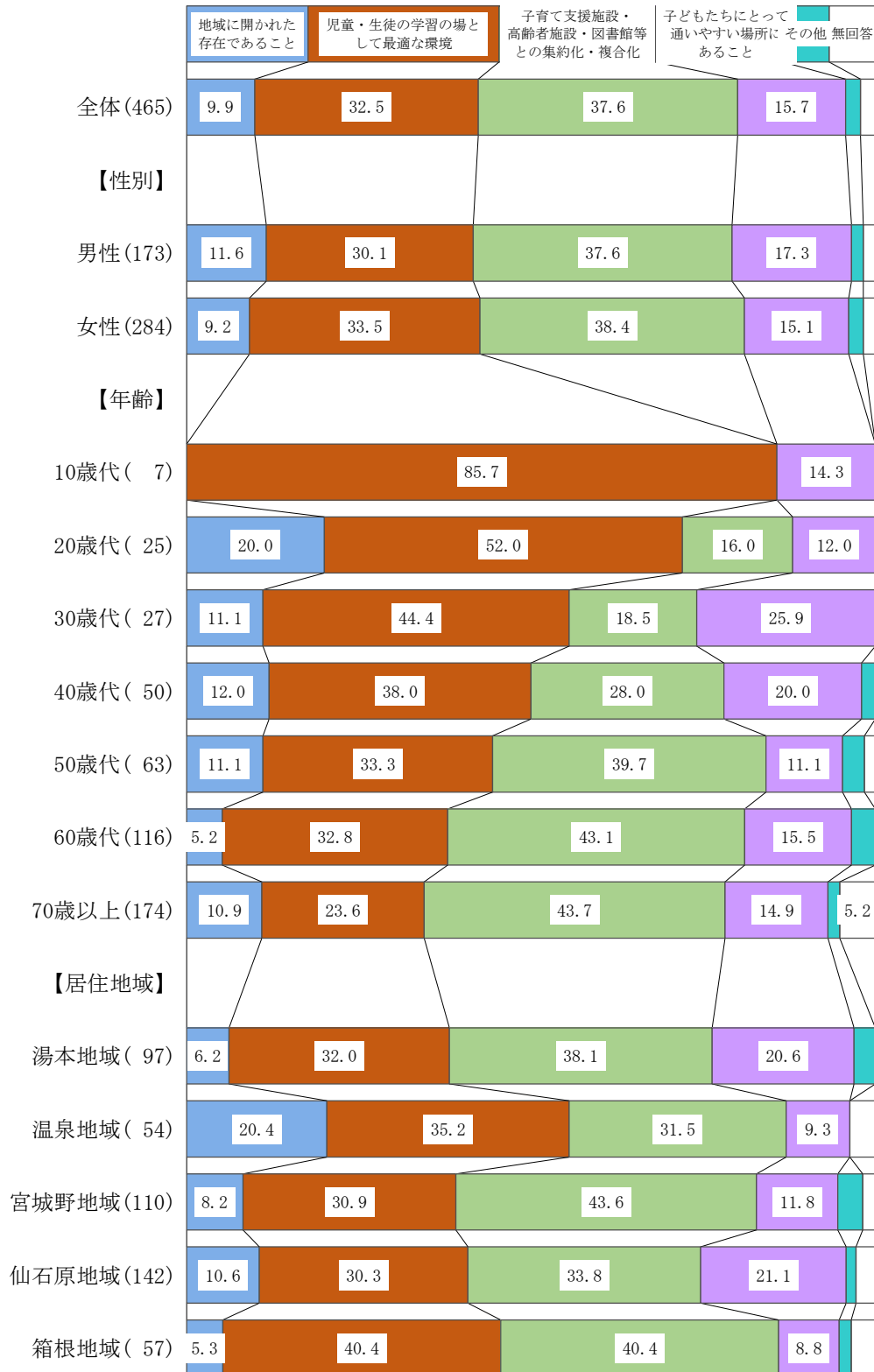
『博物館等のあり方として重視すること』として、「サービス内容・質の充実（展示品や資料の豊富さなど）」が、性別・年齢別・居住地域別の全ての属性項目において、概ね 40%以上と最も多くを占めました。

問12 小学校・中学校についてお聞きします。学校が有している敷地面積は非常に大きく、地域コミュニティの中心としての役割が期待されています。今後の小・中学校のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

		全体	地域に開かれた存在であること (学校開放など)	児童・生徒の学習の場として最適な環境(安心して学習できる、設備の充実)	子育て支援施設・高齢者施設・図書館等との集約化・複合化	子どもたちにとって通いやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	46 9.9	151 32.5	175 37.6	73 15.7	10 2.2	10 2.2
性別	男性	173 100.0	20 11.6	52 30.1	65 37.6	30 17.3	3 1.7	3 1.7
	女性	284 100.0	26 9.2	95 33.5	109 38.4	43 15.1	6 2.1	5 1.8
	無回答	8 100.0	-	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	6 85.7	-	1 14.3	-	-
	20歳代	25 100.0	5 20.0	13 52.0	4 16.0	3 12.0	-	-
	30歳代	27 100.0	3 11.1	12 44.4	5 18.5	7 25.9	-	-
	40歳代	50 100.0	6 12.0	19 38.0	14 28.0	10 20.0	1 2.0	-
	50歳代	63 100.0	7 11.1	21 33.3	25 39.7	7 11.1	2 3.2	1 1.6
	60歳代	116 100.0	6 5.2	38 32.8	50 43.1	18 15.5	4 3.4	-
	70歳以上	174 100.0	19 10.9	41 23.6	76 43.7	26 14.9	3 1.7	9 5.2
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	6 6.2	31 32.0	37 38.1	20 20.6	3 3.1	-
	温泉地域	54 100.0	11 20.4	19 35.2	17 31.5	5 9.3	-	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	9 8.2	34 30.9	48 43.6	13 11.8	4 3.6	2 1.8
	仙石原地域	142 100.0	15 10.6	43 30.3	48 33.8	30 21.1	2 1.4	4 2.8
	箱根地域	57 100.0	3 5.3	23 40.4	23 40.4	5 8.8	1 1.8	2 3.5
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-

【問12】小学校・中学校のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



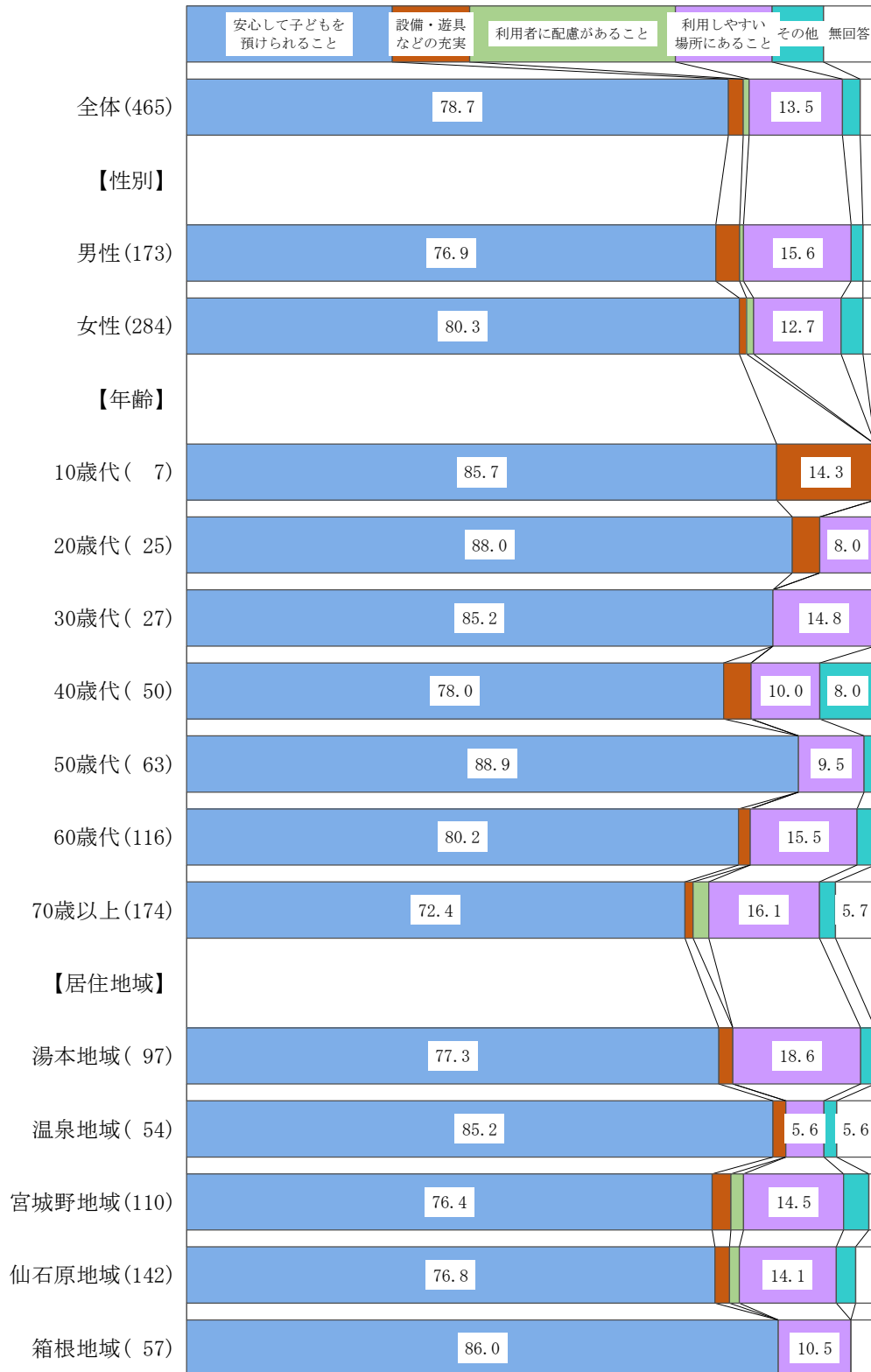
『小学校・中学校のあり方として重視すること』として、「子育て支援施設・高齢者施設・図書館等との集約化・複合化」が最も多くを占めたのは、「男性・女性」と「50～70歳代」と「湯本・宮城野・仙石原・箱根地域」で、「児童・生徒の学習の場として最適な環境（安心して学習できる、設備の充実）」が最も多くを占めたのは、「10～40歳代」と「温泉・箱根地域」でした。

問13 子育て支援施設（幼稚園・保育園・こども園）についてお聞きします。今後の幼稚園、保育園等のあり方としてあなたが最も重視することは次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

		全体	安心して子どもを預けられること （サービスを受けられる時間帯や 内容・質）	設備・遊具などの充実	利用者に配慮があること （エレベーター、トイレ、 バリアフリーなどが充実）	利用しやすい場所にあること	その他	無回答
全体		465 100.0	366 78.7	10 2.2	4 0.9	63 13.5	12 2.6	10 2.2
性別	男性	173 100.0	133 76.9	6 3.5	1 0.6	27 15.6	3 1.7	3 1.7
	女性	284 100.0	228 80.3	3 1.1	3 1.1	36 12.7	9 3.2	5 1.8
	無回答	8 100.0	5 62.5	1 12.5	-	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-	-	-	-
	20歳代	25 100.0	22 88.0	1 4.0	-	2 8.0	-	-
	30歳代	27 100.0	23 85.2	-	-	4 14.8	-	-
	40歳代	50 100.0	39 78.0	2 4.0	-	5 10.0	4 8.0	-
	50歳代	63 100.0	56 88.9	-	-	6 9.5	1 1.6	-
	60歳代	116 100.0	93 80.2	2 1.7	-	18 15.5	3 2.6	-
	70歳以上	174 100.0	126 72.4	2 1.1	4 2.3	28 16.1	4 2.3	10 5.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	75 77.3	2 2.1	-	18 18.6	2 2.1	-
	温泉地域	54 100.0	46 85.2	1 1.9	-	3 5.6	1 1.9	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	84 76.4	3 2.7	2 1.8	16 14.5	4 3.6	1 0.9
	仙石原地域	142 100.0	109 76.8	3 2.1	2 1.4	20 14.1	4 2.8	4 2.8
	箱根地域	57 100.0	49 86.0	-	-	6 10.5	-	2 3.5
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-

【問13】子育て支援施設のあり方として重視すること

単位：%（5%未満非表示）



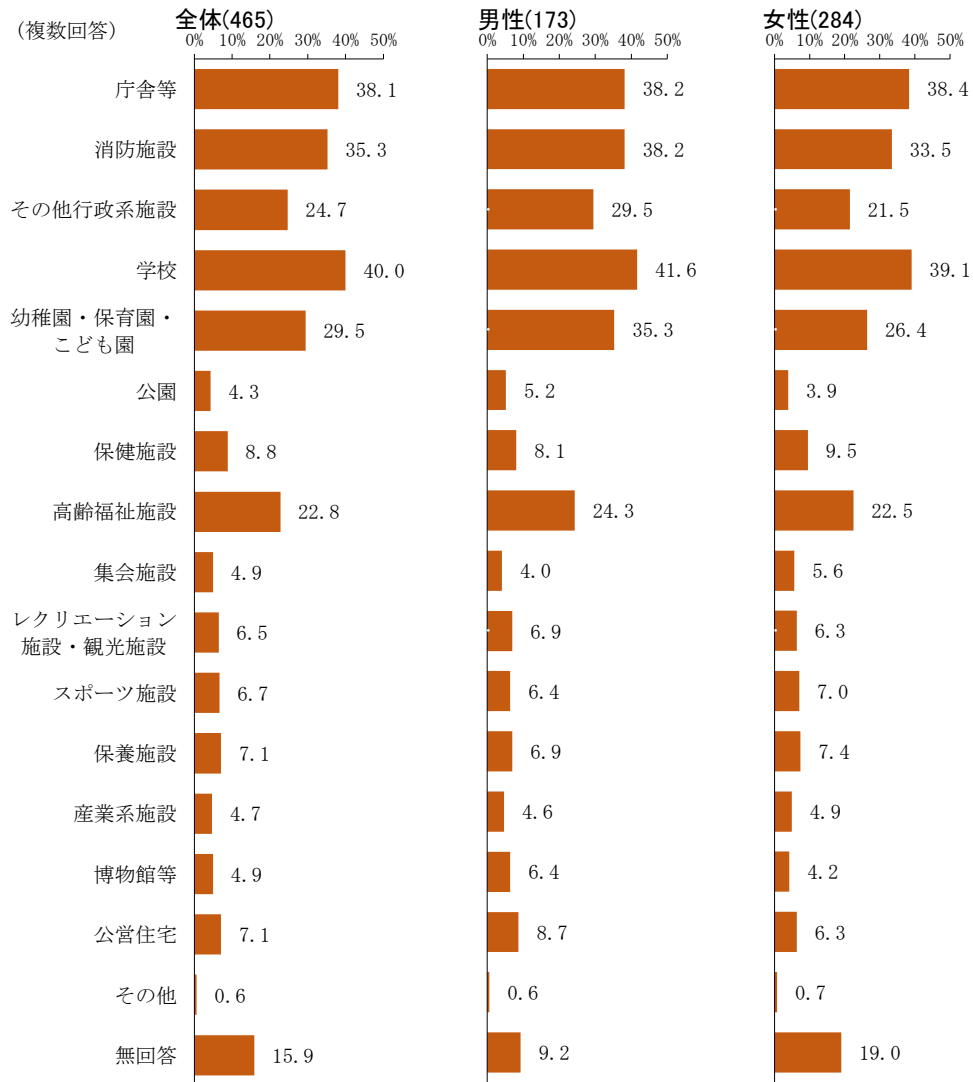
『子育て支援施設のあり方として重視すること』として、「安心して子どもを預けられること（サービスを受けられる時間帯や内容・質）」が、性別・年齢別・居住地域別の全ての属性項目において、概ね 70%以上と最も多くを占め、非常に高い比率となりました。

問16 本町では「公共施設マネジメント基本方針」（平成27年6月策定）において、公共施設の延床面積を3割削減する（対象期間：平成27年度～平成64年度の38年間）という、公共施設の見直し（統廃合など）に係る数値目標を設定しているところですが、箱根町が将来にわたって優先的に残すべき施設は、どのような施設だと思いますか。前問14の表の施設分類の中から1位、2位、3位までを選び、下の枠内に番号を記入してください。

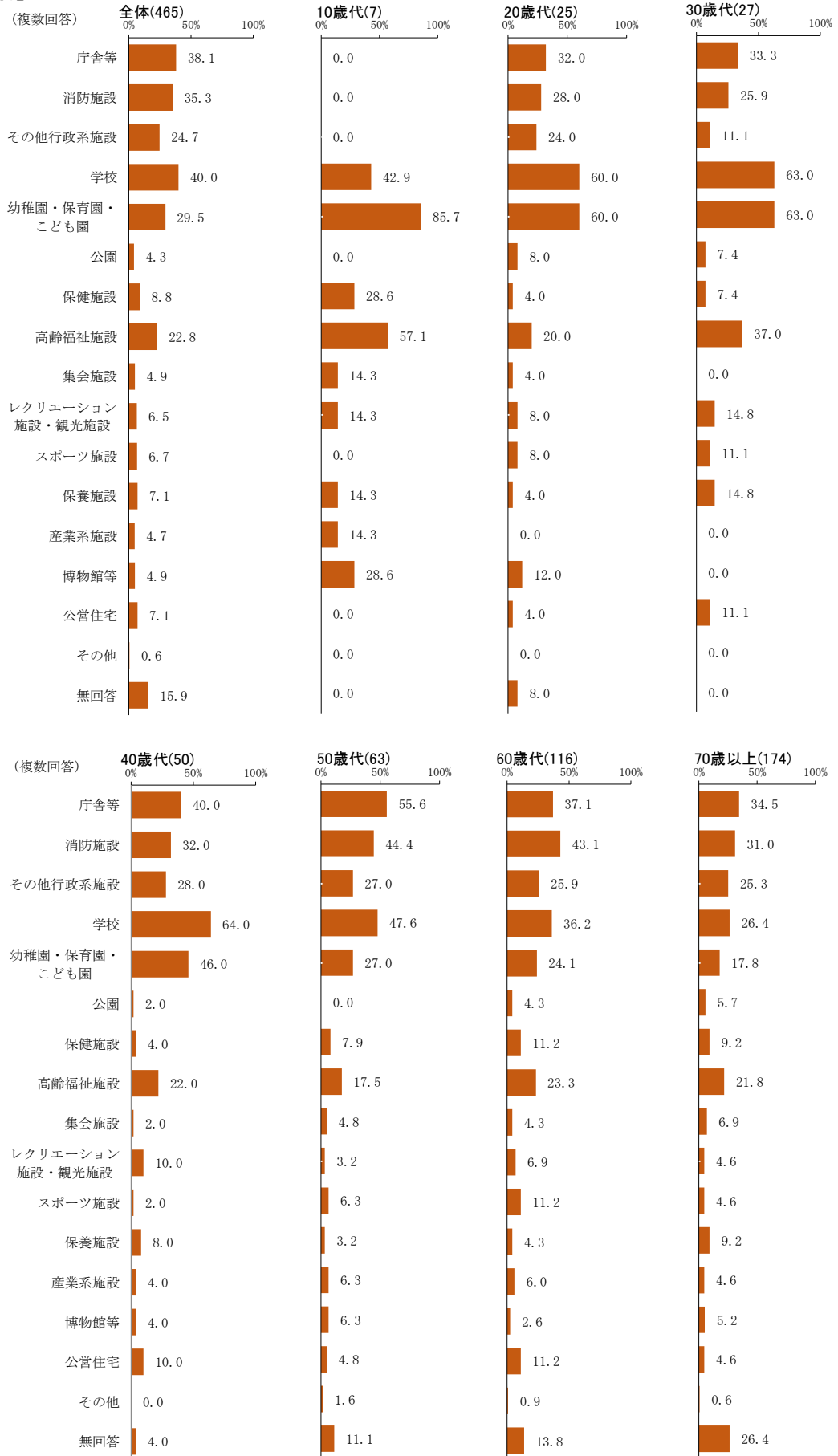
		全体	庁舎等	消防施設	その他行政系施設	学校	幼稚園・保育園	公園	保健施設	高齢福祉施設	集会施設	レクリエーション施設・観光施設	スポーツ施設	保養施設	産業系施設	博物館等	公営住宅	その他	無回答	
全体		465 100.0	177 38.1	164 35.3	115 24.7	186 40.0	137 29.5	20 4.3	41 8.8	106 22.8	23 4.9	30 6.5	31 6.7	33 7.1	22 4.7	23 4.9	33 7.1	3 0.6	74 15.9	
性別	男性	173 100.0	66 38.2	66 38.2	51 29.5	72 41.6	61 35.3	9 5.2	14 8.1	42 24.3	7 4.0	12 6.9	11 6.4	12 6.9	8 4.6	11 6.4	15 8.7	1 0.6	16 9.2	
	女性	284 100.0	109 38.4	95 33.5	61 21.5	111 39.1	75 26.4	11 3.9	27 9.5	64 22.5	16 5.6	18 6.3	20 7.0	21 7.4	14 4.9	12 4.2	18 6.3	2 0.7	54 19.0	
	無回答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	-	-	3 42.9	6 85.7	-	2 28.6	4 57.1	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3	2 28.6	-	-	-	
	20歳代	25 100.0	8 32.0	7 28.0	6 24.0	15 60.0	15 60.0	2 8.0	1 4.0	5 20.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	-	3 12.0	1 4.0	-	2 8.0	
	30歳代	27 100.0	9 33.3	7 25.9	3 11.1	17 63.0	17 63.0	2 7.4	2 7.4	10 37.0	-	4 14.8	3 11.1	4 14.8	-	-	3 11.1	-	-	
	40歳代	50 100.0	20 40.0	16 32.0	14 28.0	32 64.0	23 46.0	1 2.0	2 4.0	11 22.0	1 2.0	5 10.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0	2 4.0	2 4.0	5 10.0	-	2 4.0
	50歳代	63 100.0	35 55.6	28 44.4	17 27.0	30 47.6	17 27.0	-	5 7.9	11 17.5	3 4.8	2 3.2	4 6.3	2 3.2	4 6.3	4 6.3	4 6.3	3 4.8	1 1.6	7 11.1
	60歳代	116 100.0	43 37.1	50 43.1	30 25.9	42 36.2	28 24.1	5 4.3	13 11.2	27 23.3	5 4.3	8 6.9	13 11.2	5 4.3	7 6.0	3 2.6	13 11.2	1 0.9	16 13.8	
	70歳以上	174 100.0	60 34.5	54 31.0	44 25.3	46 26.4	31 17.8	10 5.7	16 9.2	38 21.8	12 6.9	8 4.6	8 4.6	16 9.2	8 4.6	9 5.2	8 4.6	1 0.6	46 26.4	
	無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	40 41.2	30 30.9	15 15.5	42 43.3	35 36.1	2 2.1	10 10.3	23 23.7	5 5.2	8 8.2	7 7.2	14 14.4	3 3.1	3 3.1	10 10.3	-	13 13.4	
	温泉地域	54 100.0	21 38.9	18 33.3	20 37.0	19 35.2	10 18.5	2 3.7	2 3.7	14 25.9	4 7.4	3 5.6	4 7.4	3 5.6	3 5.6	4 7.4	3 5.6	2 3.7	10 18.5	
	宮城野地域	110 100.0	36 32.7	43 39.1	28 25.5	40 36.4	32 29.1	4 3.6	11 10.0	28 25.5	3 2.7	7 6.4	7 6.4	8 7.3	7 6.4	7 6.4	9 8.2	-	17 15.5	
	仙石原地域	142 100.0	52 36.6	46 32.4	41 28.9	60 42.3	46 32.4	9 6.3	16 11.3	31 21.8	5 3.5	7 4.9	10 7.0	8 5.6	6 4.2	6 4.2	7 4.9	1 0.7	21 14.8	
	箱根地域	57 100.0	24 42.1	23 40.4	9 15.8	24 42.1	14 24.6	3 5.3	2 3.5	10 17.5	6 10.5	5 8.8	3 5.3	-	3 5.3	3 5.3	4 7.0	-	12 21.1	
	無回答	5 100.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0

※上段の数値は、回答結果に、「1位」に3点、「2位」に2点、「3位」に1点を与えた合計点

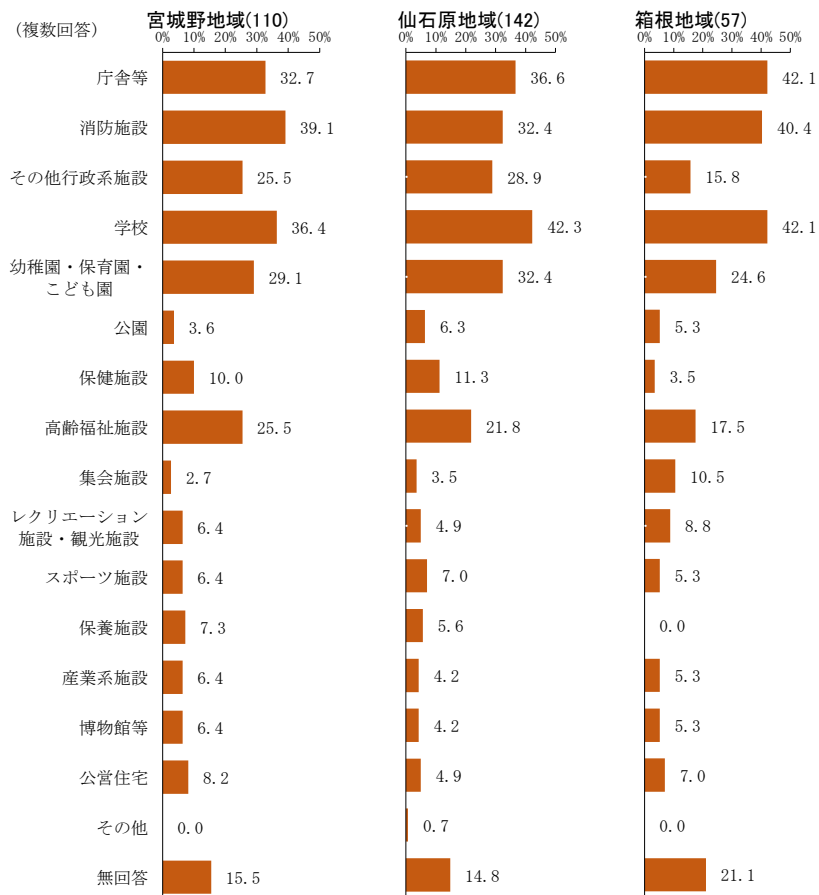
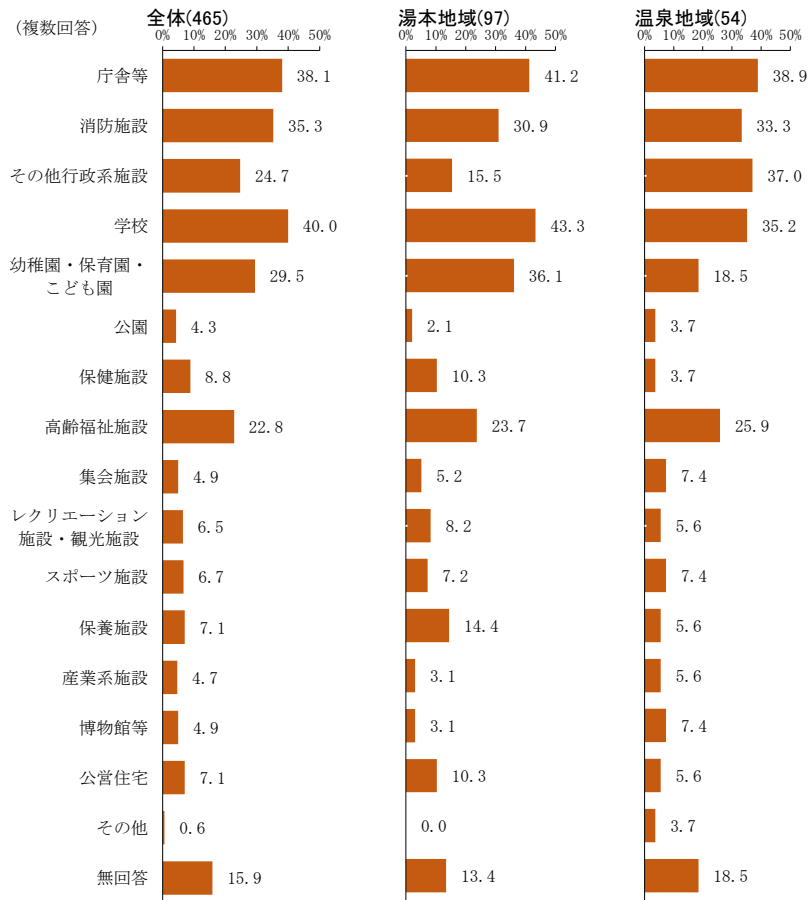
【性別】



【年齢別】



【居住地域別】



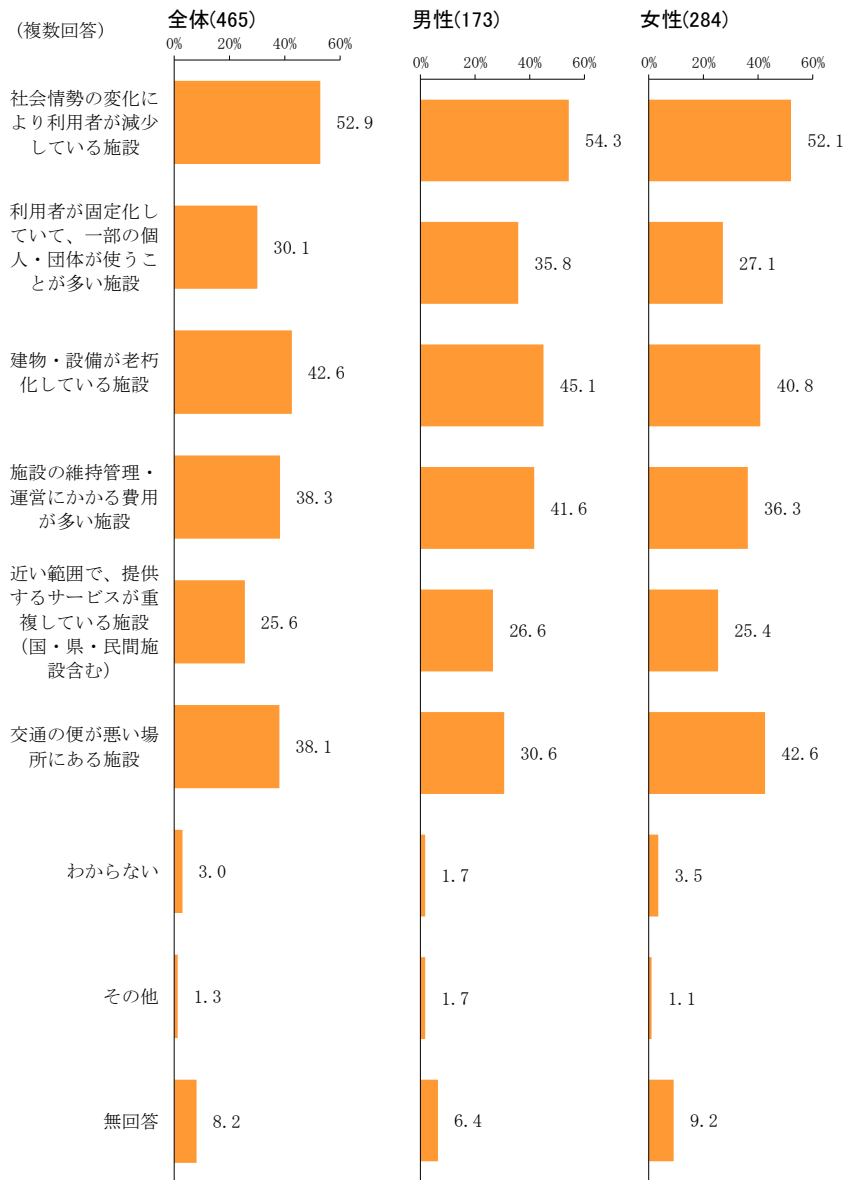
「公共施設マネジメント基本方針」の設定目標を踏まえて優先的に残すべき施設について、性別・年齢別・居住地域別の最多回答は以下の通りとなりました。（ただし、各回答率が5%内で僅差場合は、上位の施設を多い順に記載しています。）

- 性別：男性⇒「学校」、「庁舎等」、「消防施設」
- 性別：女性⇒「学校」、「庁舎等」
- 年齢別：10歳代⇒「幼稚園・保育園・こども園」
- 年齢別：20歳代⇒「学校」、「幼稚園・保育園・こども園」
- 年齢別：30歳代⇒「学校」、「幼稚園・保育園・こども園」
- 年齢別：40歳代⇒「学校」
- 年齢別：50歳代⇒「庁舎等」
- 年齢別：60歳代⇒「消防施設」
- 年齢別：70歳代⇒「庁舎等」
- 居住地域別：湯本地域⇒「学校」、「庁舎等」
- 居住地域別：温泉地域⇒「庁舎等」、「その他行政系施設」、「学校」
- 居住地域別：宮城野地域⇒「消防施設」、「学校」
- 居住地域別：仙石原地域⇒「学校」
- 居住地域別：箱根地域⇒「庁舎等」、「学校」

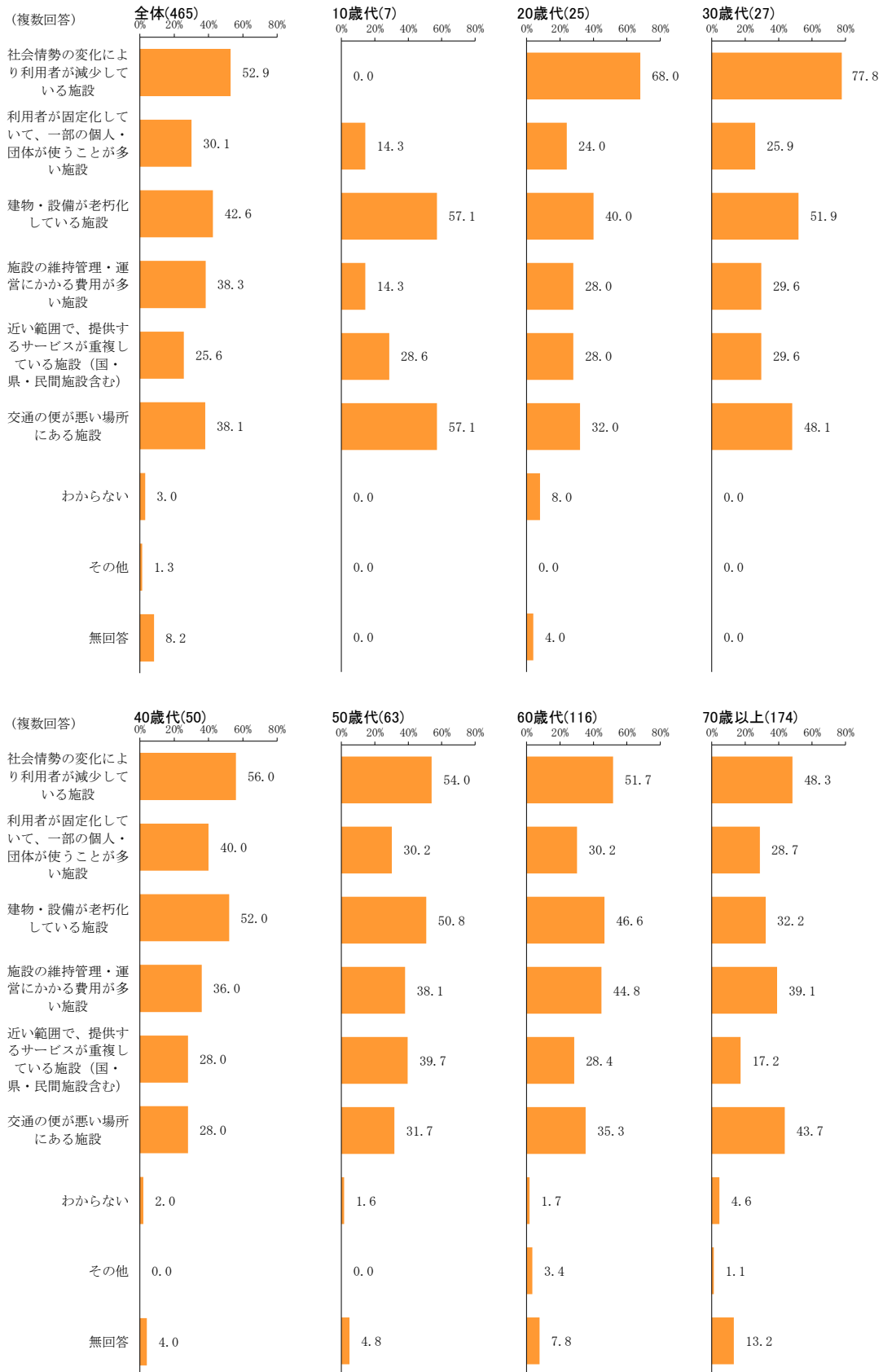
問17 公共施設の役割や効果の分析により、前問 16 で示した目標を達成するためには、今後施設の見直しが必要です。その場合、どのような施設から見直していくべきだと思いますか。あなたの考えに最もあてはまる番号に○をつけてください。
(○は最大3つ)

		全体	社会情勢の減少している施設	利用者が固定化して、一部の個人・団体が使うことが多い施設	建物・設備が老朽化している施設	施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設	近い範囲で、重複している施設 (国・県・民間施設含む)	交通の便が悪い場所にある施設	わからない	その他	無回答
全体		465 100.0	246 52.9	140 30.1	198 42.6	178 38.3	119 25.6	177 38.1	14 3.0	6 1.3	38 8.2
性別	男性	173 100.0	94 54.3	62 35.8	78 45.1	72 41.6	46 26.6	53 30.6	3 1.7	3 1.7	11 6.4
	女性	284 100.0	148 52.1	77 27.1	116 40.8	103 36.3	72 25.4	121 42.6	10 3.5	3 1.1	26 9.2
	無回答	8 100.0	4 50.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5
		7 100.0	-	1 14.3	4 57.1	1 14.3	2 28.6	4 57.1	-	-	-
年齢	10歳代	25 100.0	17 68.0	6 24.0	10 40.0	7 28.0	7 28.0	8 32.0	2 8.0	-	1 4.0
	20歳代	27 100.0	21 77.8	7 25.9	14 51.9	8 29.6	8 29.6	13 48.1	-	-	-
	30歳代	50 100.0	28 56.0	20 40.0	26 52.0	18 36.0	14 28.0	14 28.0	1 2.0	-	2 4.0
	40歳代	63 100.0	34 54.0	19 30.2	32 50.8	24 38.1	25 39.7	20 31.7	1 1.6	-	3 4.8
	50歳代	116 100.0	60 51.7	35 30.2	54 46.6	52 44.8	33 28.4	41 35.3	2 1.7	4 3.4	9 7.8
	60歳代	174 100.0	84 48.3	50 28.7	56 32.2	68 39.1	30 17.2	76 43.7	8 4.6	2 1.1	23 13.2
	70歳以上	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-
	無回答	97 100.0	51 52.6	33 34.0	37 38.1	32 33.0	28 28.9	46 47.4	4 4.1	1 1.0	4 4.1
居住地域	湯本地域	54 100.0	32 59.3	13 24.1	29 53.7	27 50.0	13 24.1	19 35.2	-	1 1.9	4 7.4
	温泉地域	110 100.0	57 51.8	33 30.0	45 40.9	51 46.4	21 19.1	39 35.5	2 1.8	2 1.8	9 8.2
	宮城野地域	142 100.0	67 47.2	45 31.7	53 37.3	52 36.6	40 28.2	50 35.2	5 3.5	2 1.4	14 9.9
	仙石原地域	57 100.0	36 63.2	14 24.6	30 52.6	16 28.1	15 26.3	22 38.6	3 5.3	-	6 10.5
	箱根地域	5 100.0	3 60.0	2 40.0	4 80.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0
	無回答										

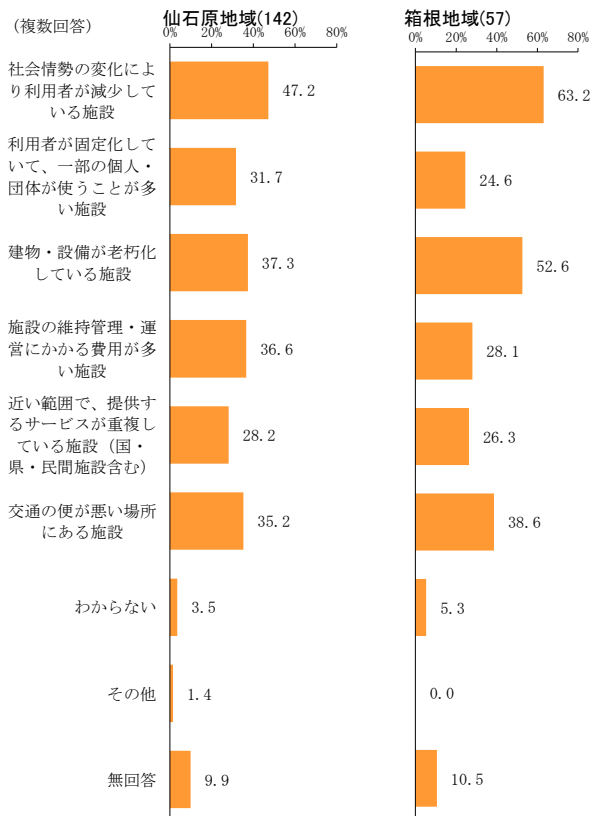
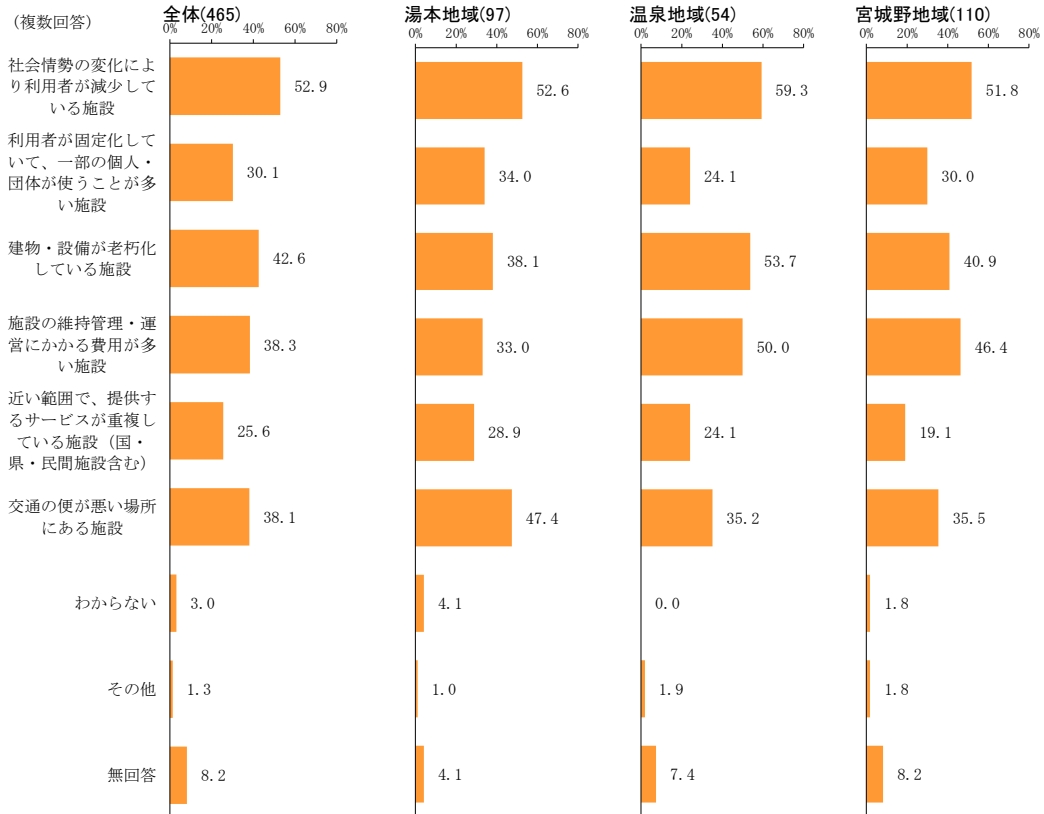
【性別】



【年齢別】



【居住地域別】



『目標を達成するために見直しが必要な施設』として、「社会情勢の変化により利用者が減少している施設」が、性別・年齢別・地域別の全ての属性項目において、「10歳代」を除いて、概ね半数以上を占める結果となりました。特に、「30歳代」では、78%と最も多くを占めました。

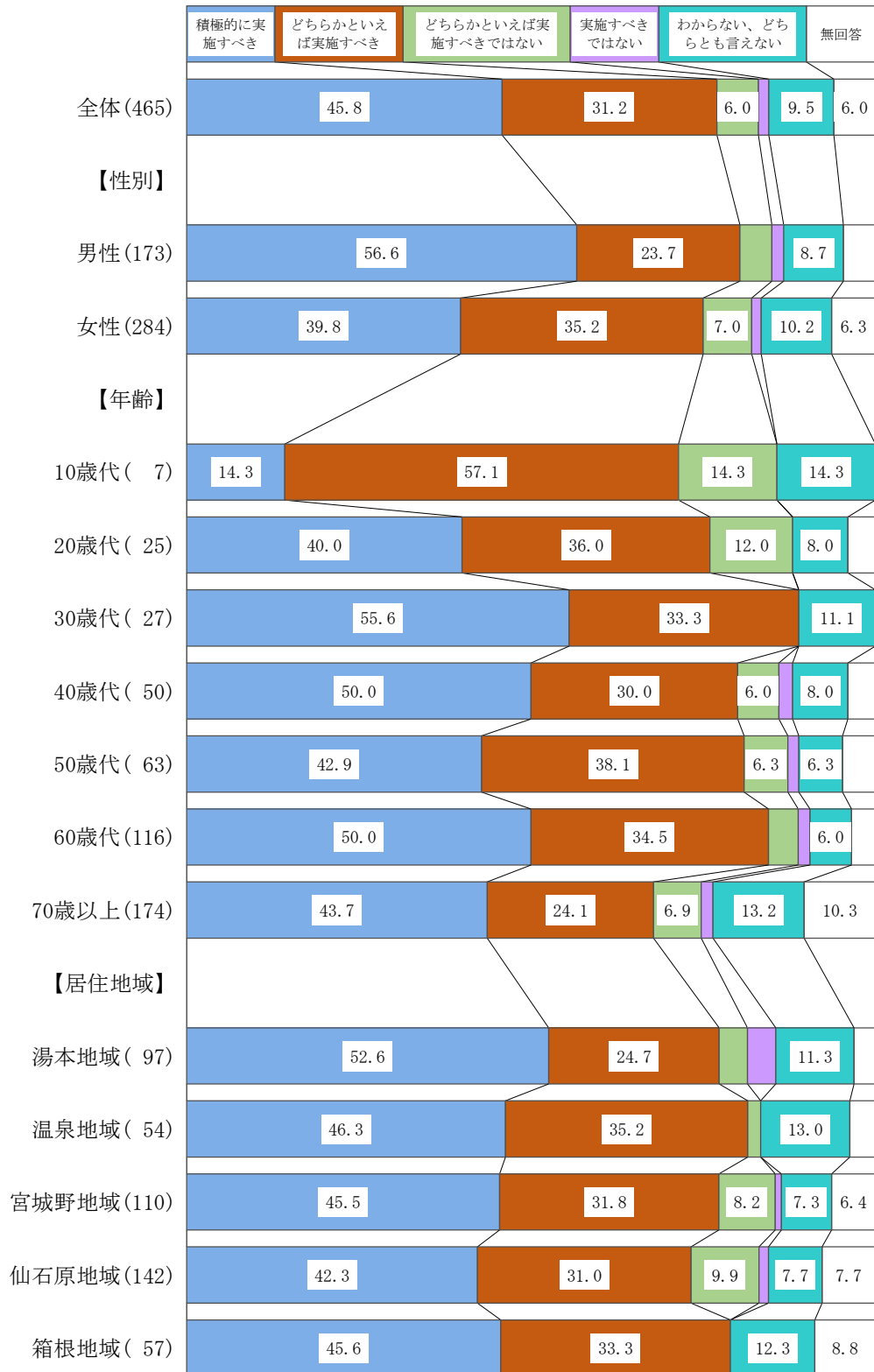
問18 インフラ施設の更新には膨大な費用が必要になることが想定される中で、今後どのように管理していくとよいか、様々な視点で検討する必要があります。町の保有するインフラ施設全般に関して、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものにあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

1. 利用率の低いものを廃止するなどして、施設の総量を減らす

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	213 45.8	145 31.2	28 6.0	7 1.5	44 9.5	28 6.0
性別	男性	173 100.0	98 56.6	41 23.7	8 4.6	3 1.7	15 8.7	8 4.6
	女性	284 100.0	113 39.8	100 35.2	20 7.0	4 1.4	29 10.2	18 6.3
	無回答	8 100.0	2 25.0	4 50.0	- -	- -	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	- -	1 14.3	- -
	20歳代	25 100.0	10 40.0	9 36.0	3 12.0	- -	2 8.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	15 55.6	9 33.3	- -	- -	3 11.1	- -
	40歳代	50 100.0	25 50.0	15 30.0	3 6.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	27 42.9	24 38.1	4 6.3	1 1.6	4 6.3	3 4.8
	60歳代	116 100.0	58 50.0	40 34.5	5 4.3	2 1.7	7 6.0	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	76 43.7	42 24.1	12 6.9	3 1.7	23 13.2	18 10.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -	- -
居住地域	湯本地区	97 100.0	51 52.6	24 24.7	4 4.1	4 4.1	11 11.3	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	25 46.3	19 35.2	1 1.9	- -	7 13.0	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	50 45.5	35 31.8	9 8.2	1 0.9	8 7.3	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	60 42.3	44 31.0	14 9.9	2 1.4	11 7.7	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	26 45.6	19 33.3	- -	- -	7 12.3	5 8.8
	無回答	5 100.0	1 20.0	4 80.0	- -	- -	- -	- -

【問18】インフラ施設の今後の方向性／1. 利用率の低いものを廃止
 するなどして、施設の総量を減らす

単位：%（5%未満非表示）



『利用率の低いものを廃止するなどして、施設の総量を減らす』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を5ポイント上回り、80%を占めました。

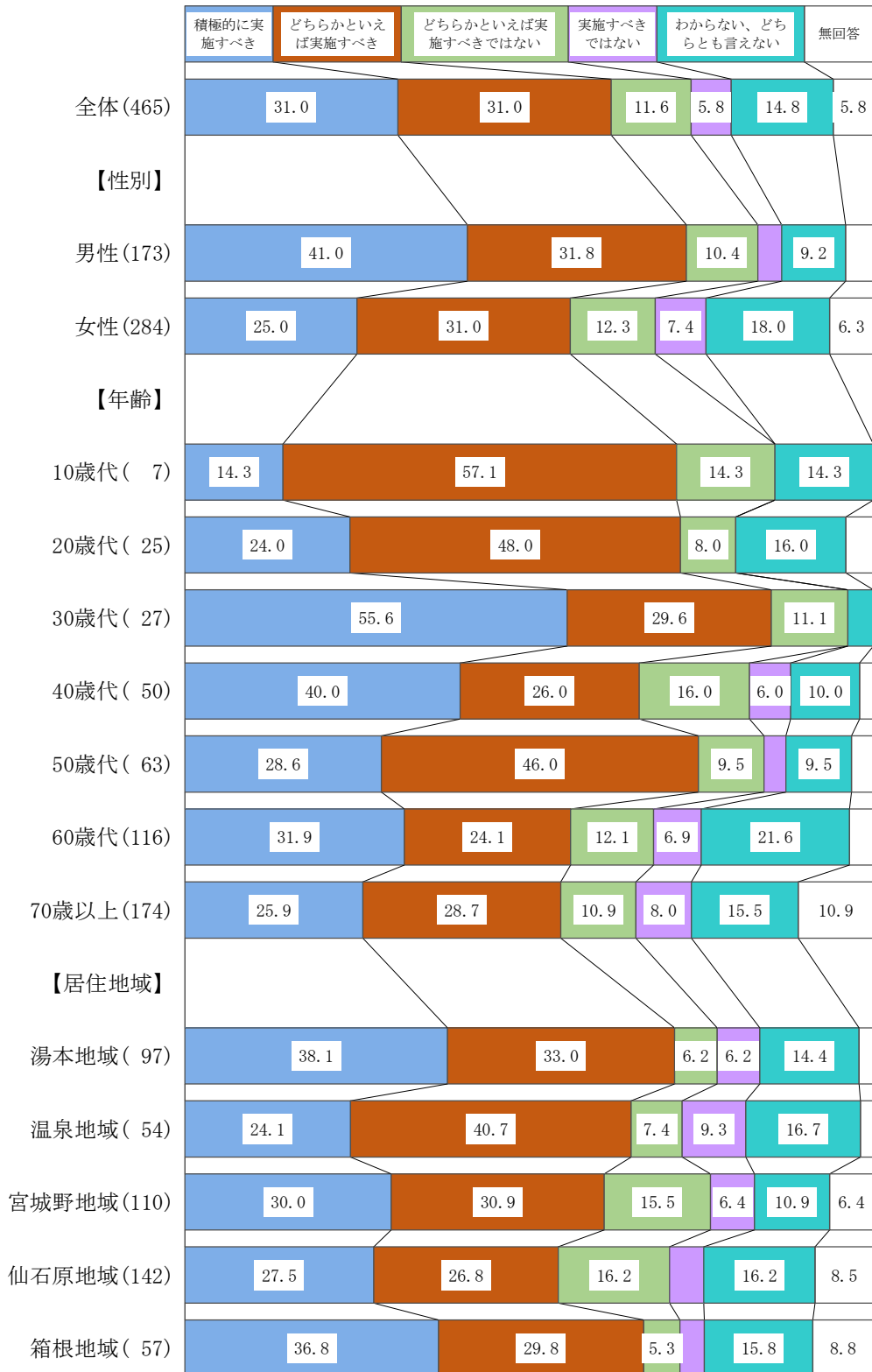
また、年齢別では、「30代」が89%を占め、居住地別では、「温泉地域」が81%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が70%以上を占めています。

2. 近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	144 31.0	144 31.0	54 11.6	27 5.8	69 14.8	27 5.8
性別	男性	173 100.0	71 41.0	55 31.8	18 10.4	6 3.5	16 9.2	7 4.0
	女性	284 100.0	71 25.0	88 31.0	35 12.3	21 7.4	51 18.0	18 6.3
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	-	1 14.3	-
	20歳代	25 100.0	6 24.0	12 48.0	2 8.0	-	4 16.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	15 55.6	8 29.6	3 11.1	-	1 3.7	-
	40歳代	50 100.0	20 40.0	13 26.0	8 16.0	3 6.0	5 10.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	18 28.6	29 46.0	6 9.5	2 3.2	6 9.5	2 3.2
	60歳代	116 100.0	37 31.9	28 24.1	14 12.1	8 6.9	25 21.6	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	45 25.9	50 28.7	19 10.9	14 8.0	27 15.5	19 10.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-
居住地	湯本地域	97 100.0	37 38.1	32 33.0	6 6.2	6 6.2	14 14.4	2 2.1
	温泉地域	54 100.0	13 24.1	22 40.7	4 7.4	5 9.3	9 16.7	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	33 30.0	34 30.9	17 15.5	7 6.4	12 10.9	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	39 27.5	38 26.8	23 16.2	7 4.9	23 16.2	12 8.5
	箱根地域	57 100.0	21 36.8	17 29.8	3 5.3	2 3.5	9 15.8	5 8.8
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／2. 近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する

単位：％（5％未満非表示）



『近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を17ポイント上回り、73%を占めました。

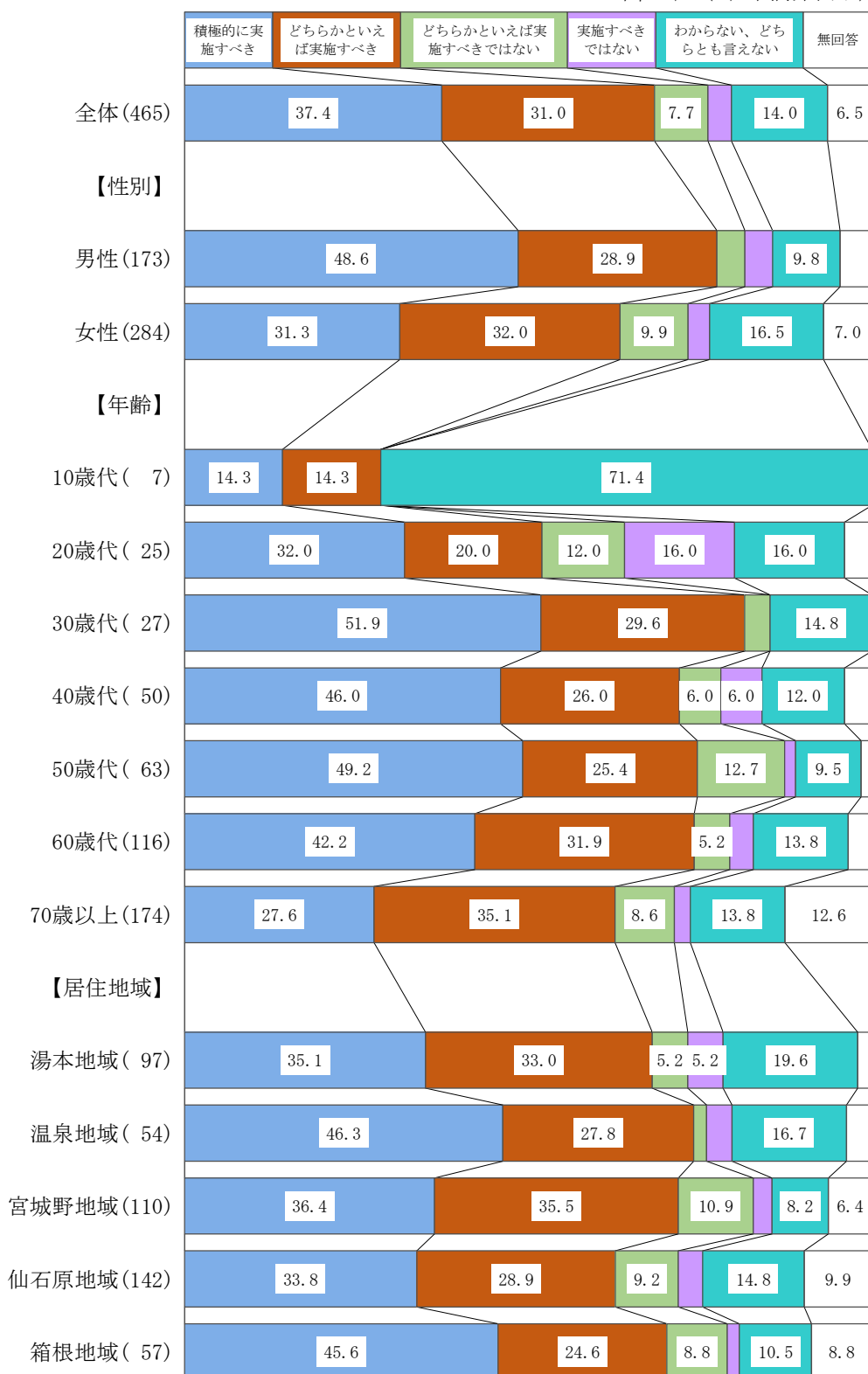
また、年齢別では、「30代」が85%を占め、居住地域別では、「湯本地域」が71%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

3. 施設の更新（改修等）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	174 37.4	144 31.0	36 7.7	16 3.4	65 14.0	30 6.5
性別	男性	173 100.0	84 48.6	50 28.9	7 4.0	7 4.0	17 9.8	8 4.6
	女性	284 100.0	89 31.3	91 32.0	28 9.9	9 3.2	47 16.5	20 7.0
	無回答	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	-	-	5 71.4	-
	20歳代	25 100.0	8 32.0	5 20.0	3 12.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	14 51.9	8 29.6	1 3.7	-	4 14.8	-
	40歳代	50 100.0	23 46.0	13 26.0	3 6.0	3 6.0	6 12.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	31 49.2	16 25.4	8 12.7	1 1.6	6 9.5	1 1.6
	60歳代	116 100.0	49 42.2	37 31.9	6 5.2	4 3.4	16 13.8	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	48 27.6	61 35.1	15 8.6	4 2.3	24 13.8	22 12.6
	無回答	3 100.0	-	3 100.0	-	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	34 35.1	32 33.0	5 5.2	5 5.2	19 19.6	2 2.1
	温泉地域	54 100.0	25 46.3	15 27.8	1 1.9	2 3.7	9 16.7	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	40 36.4	39 35.5	12 10.9	3 2.7	9 8.2	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	48 33.8	41 28.9	13 9.2	5 3.5	21 14.8	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	26 45.6	14 24.6	5 8.8	1 1.8	6 10.5	5 8.8
	無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	-	1 20.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／3. 施設の更新(改修等)や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する

単位: % (5%未満非表示)



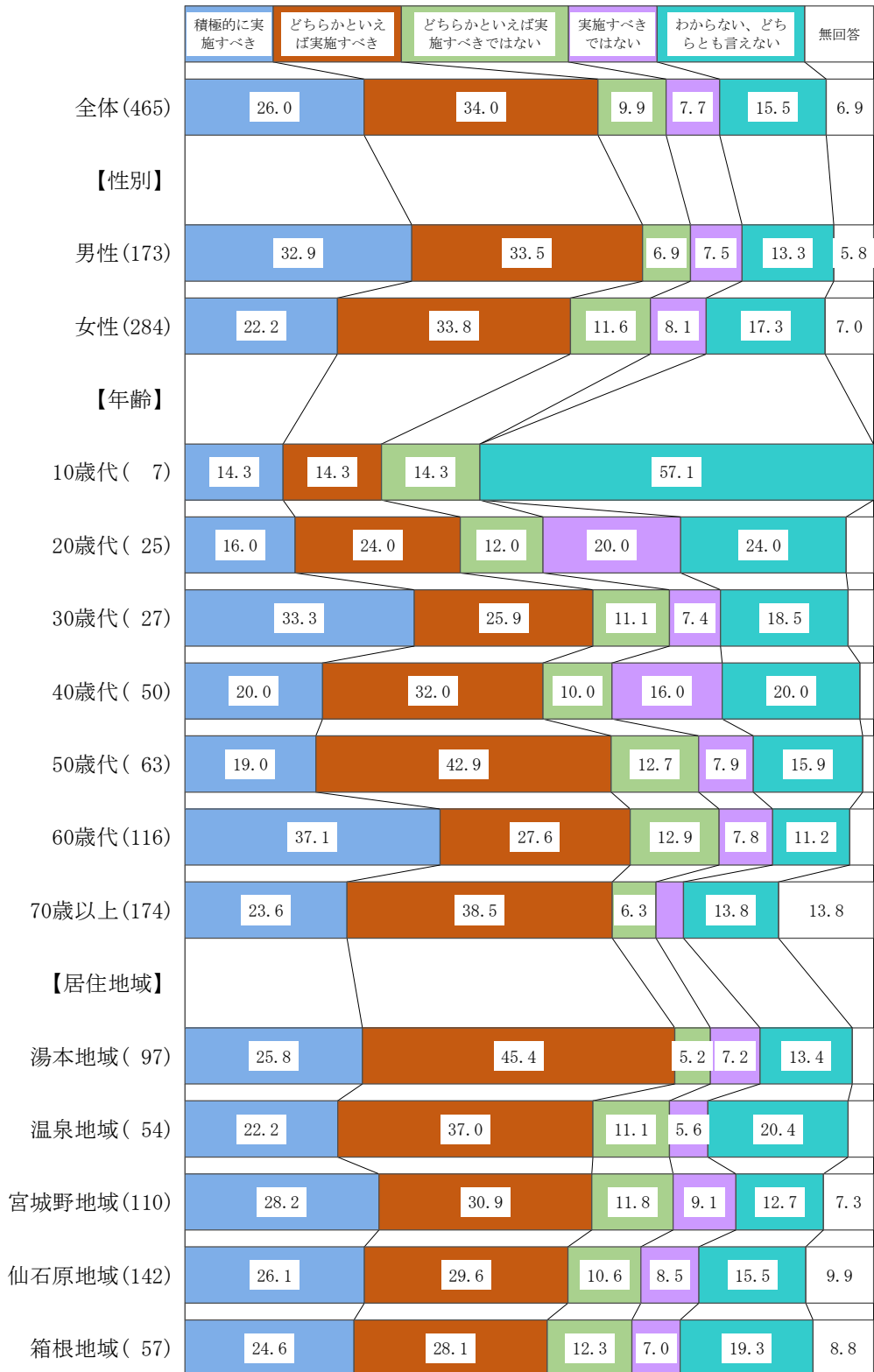
『施設の更新（改修等）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を14ポイント上回り、77%を占めました。また、年齢別では、「30代」が82%を占め、居住地域別では、「温泉地域」が74%を占めました。「10歳代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

4. 地域に密着した施設（小規模な公園など）は、地域住民などが維持管理・運営を行う

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	121 26.0	158 34.0	46 9.9	36 7.7	72 15.5	32 6.9
性別	男性	173 100.0	57 32.9	58 33.5	12 6.9	13 7.5	23 13.3	10 5.8
	女性	284 100.0	63 22.2	96 33.8	33 11.6	23 8.1	49 17.3	20 7.0
	無回答	8 100.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	4 57.1	-
	20歳代	25 100.0	4 16.0	6 24.0	3 12.0	5 20.0	6 24.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	9 33.3	7 25.9	3 11.1	2 7.4	5 18.5	1 3.7
	40歳代	50 100.0	10 20.0	16 32.0	5 10.0	8 16.0	10 20.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	12 19.0	27 42.9	8 12.7	5 7.9	10 15.9	1 1.6
	60歳代	116 100.0	43 37.1	32 27.6	15 12.9	9 7.8	13 11.2	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	41 23.6	67 38.5	11 6.3	7 4.0	24 13.8	24 13.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	25 25.8	44 45.4	5 5.2	7 7.2	13 13.4	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	12 22.2	20 37.0	6 11.1	3 5.6	11 20.4	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	31 28.2	34 30.9	13 11.8	10 9.1	14 12.7	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	37 26.1	42 29.6	15 10.6	12 8.5	22 15.5	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	14 24.6	16 28.1	7 12.3	4 7.0	11 19.3	5 8.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／4. 地域に密着した施設(小規模な公園など)は、地域住民などが維持管理・運営を行う

単位: % (5%未満非表示)



『地域に密着した施設（小規模な公園など）は、地域住民などが維持管理・運営を行う』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を10ポイント上回り、66%を占めました。

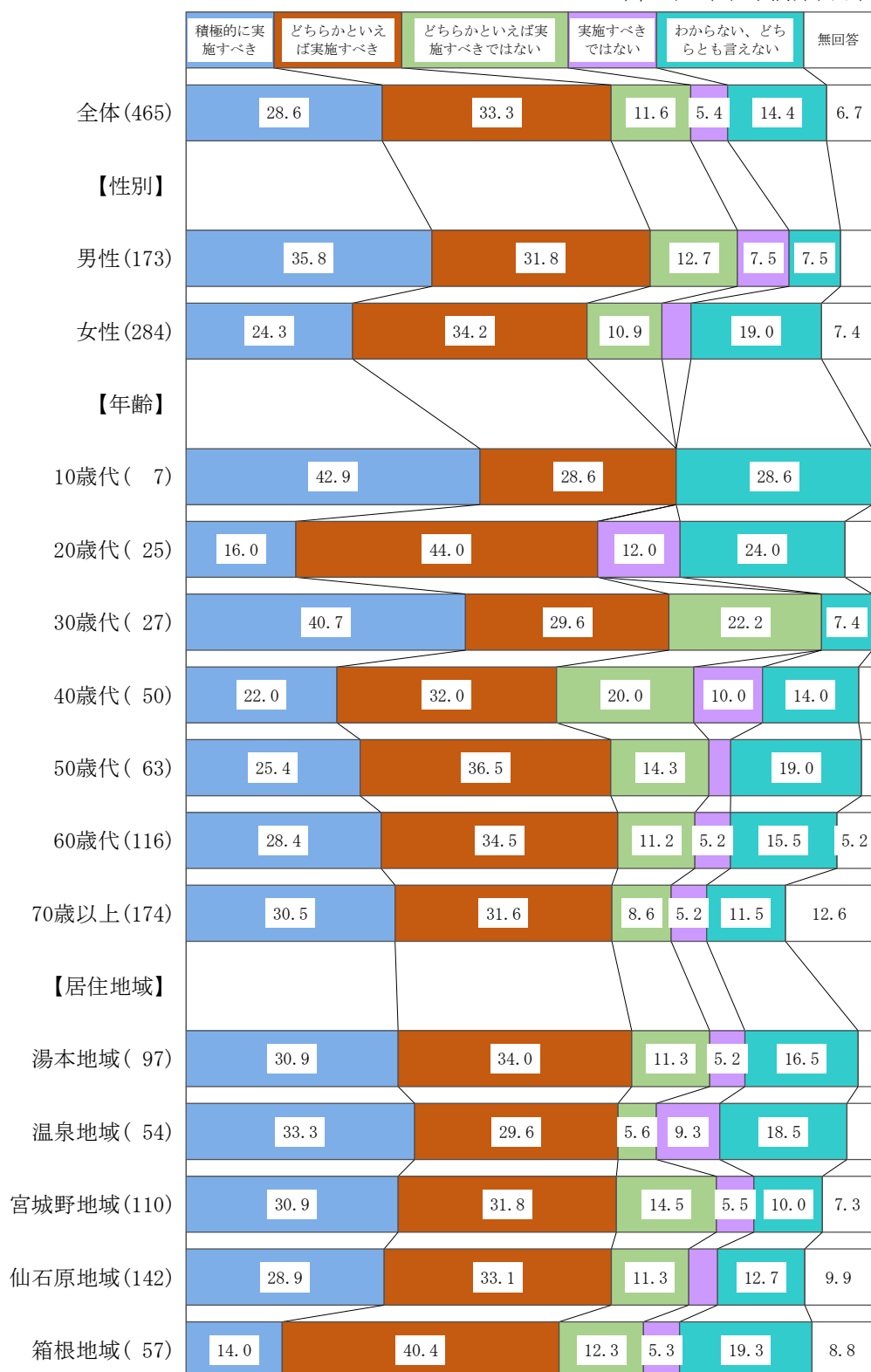
また、年齢別では、「60代」が65%を占め、居住地域別では、「湯本地域」が71%を占めました。「10・20歳代」を除き、概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

5. 耐震補強、改修等を行い、今ある施設をできるだけ長持ちさせる（長寿命化）

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	133 28.6	155 33.3	54 11.6	25 5.4	67 14.4	31 6.7
性別	男性	173 100.0	62 35.8	55 31.8	22 12.7	13 7.5	13 7.5	8 4.6
	女性	284 100.0	69 24.3	97 34.2	31 10.9	12 4.2	54 19.0	21 7.4
	無回答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	3 42.9	2 28.6	-	-	2 28.6	-
	20歳代	25 100.0	4 16.0	11 44.0	-	3 12.0	6 24.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	11 40.7	8 29.6	6 22.2	-	2 7.4	-
	40歳代	50 100.0	11 22.0	16 32.0	10 20.0	5 10.0	7 14.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	16 25.4	23 36.5	9 14.3	2 3.2	12 19.0	1 1.6
	60歳代	116 100.0	33 28.4	40 34.5	13 11.2	6 5.2	18 15.5	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	53 30.5	55 31.6	15 8.6	9 5.2	20 11.5	22 12.6
	無回答	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	30 30.9	33 34.0	11 11.3	5 5.2	16 16.5	2 2.1
	温泉地域	54 100.0	18 33.3	16 29.6	3 5.6	5 9.3	10 18.5	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	34 30.9	35 31.8	16 14.5	6 5.5	11 10.0	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	41 28.9	47 33.1	16 11.3	6 4.2	18 12.7	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	8 14.0	23 40.4	7 12.3	3 5.3	11 19.3	5 8.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／5. 耐震補強、改修等を行い、今ある施設をできるだけ長持ちさせる(長寿命化)

単位: % (5%未満非表示)



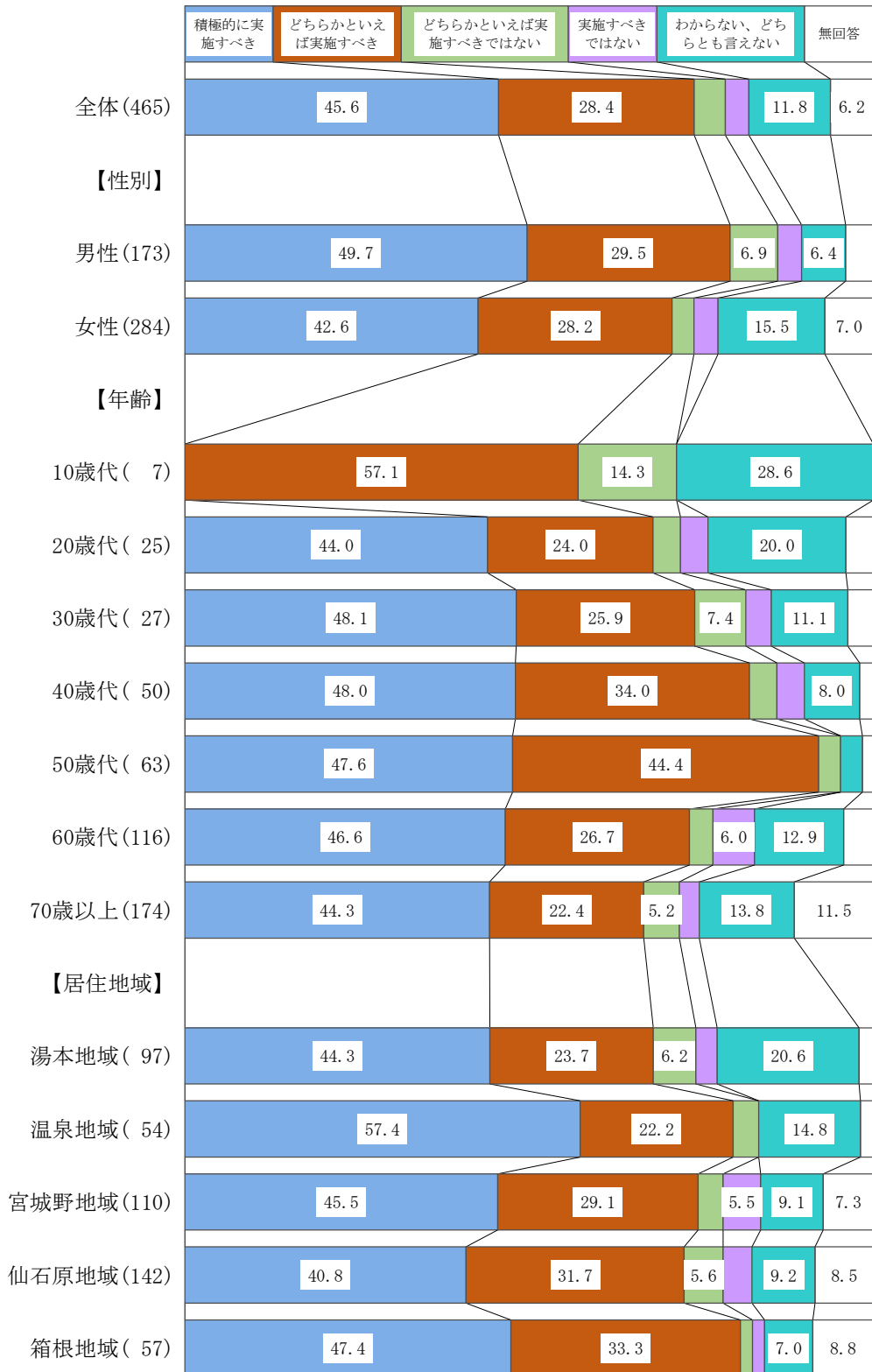
『耐震補強、改修等を行い、今ある施設をできるだけ長持ちさせる（長寿命化）』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を10ポイント上回り、68%を占めました。また、年齢別では、「10・30代」が70%強を占め、居住地別では、「湯本地区」が65%を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が過半数を占めています。

6. 機能していない町道や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	212 45.6	132 28.4	21 4.5	16 3.4	55 11.8	29 6.2
性別	男性	173 100.0	86 49.7	51 29.5	12 6.9	6 3.5	11 6.4	7 4.0
	女性	284 100.0	121 42.6	80 28.2	9 3.2	10 3.5	44 15.5	20 7.0
	無回答	8 100.0	5 62.5	1 12.5	-	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	4 57.1	1 14.3	-	2 28.6	-
	20歳代	25 100.0	11 44.0	6 24.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	13 48.1	7 25.9	2 7.4	1 3.7	3 11.1	1 3.7
	40歳代	50 100.0	24 48.0	17 34.0	2 4.0	2 4.0	4 8.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	30 47.6	28 44.4	2 3.2	-	2 3.2	1 1.6
	60歳代	116 100.0	54 46.6	31 26.7	4 3.4	7 6.0	15 12.9	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	77 44.3	39 22.4	9 5.2	5 2.9	24 13.8	20 11.5
	無回答	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
居住地	湯本地区	97 100.0	43 44.3	23 23.7	6 6.2	3 3.1	20 20.6	2 2.1
	温泉地域	54 100.0	31 57.4	12 22.2	2 3.7	-	8 14.8	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	50 45.5	32 29.1	4 3.6	6 5.5	10 9.1	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	58 40.8	45 31.7	8 5.6	6 4.2	13 9.2	12 8.5
	箱根地域	57 100.0	27 47.4	19 33.3	1 1.8	1 1.8	4 7.0	5 8.8
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0

【問18】インフラ施設の今後の方向性／6. 機能していない町道や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る

単位：％（5％未満非表示）



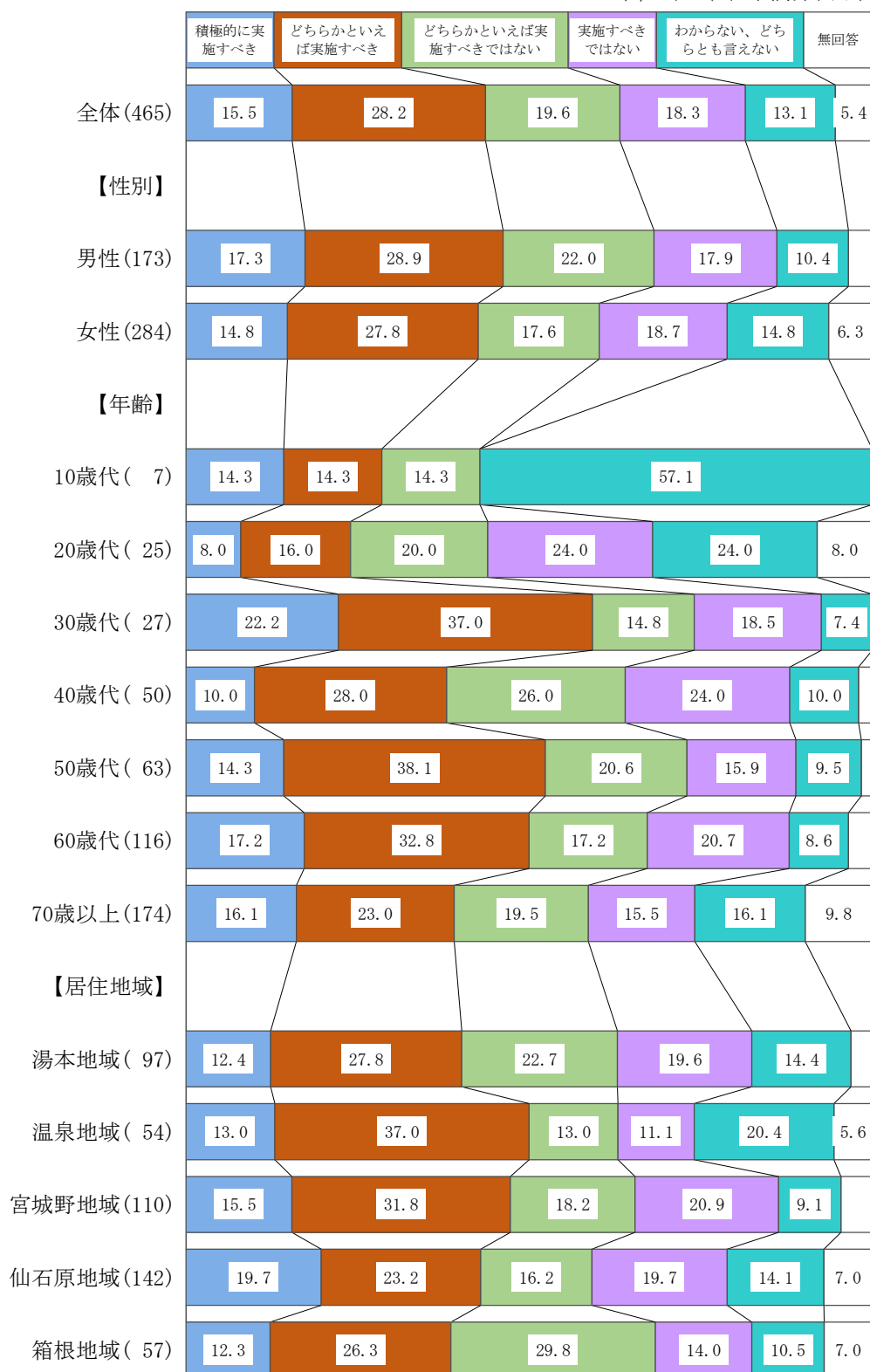
『機能していない町道や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を8ポイント上回り、79%を占めました。また、年齢別では、「50代」が92%を占め、居住地域別では、「温泉・箱根地域」が共に80%強を占めました。概ねどの属性項目でも両回答が60%以上を占めています。

7. 使用料を徴収できる施設では、使用料（水道料金、下水道使用料等）を引き上げる

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	72 15.5	131 28.2	91 19.6	85 18.3	61 13.1	25 5.4
性別	男性	173 100.0	30 17.3	50 28.9	38 22.0	31 17.9	18 10.4	6 3.5
	女性	284 100.0	42 14.8	79 27.8	50 17.6	53 18.7	42 14.8	18 6.3
	無回答	8 100.0	-	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	4 57.1	-
	20歳代	25 100.0	2 8.0	4 16.0	5 20.0	6 24.0	6 24.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	10 37.0	4 14.8	5 18.5	2 7.4	-
	40歳代	50 100.0	5 10.0	14 28.0	13 26.0	12 24.0	5 10.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	9 14.3	24 38.1	13 20.6	10 15.9	6 9.5	1 1.6
	60歳代	116 100.0	20 17.2	38 32.8	20 17.2	24 20.7	10 8.6	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	28 16.1	40 23.0	34 19.5	27 15.5	28 16.1	17 9.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-
居住地域	湯本地区	97 100.0	12 12.4	27 27.8	22 22.7	19 19.6	14 14.4	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	7 13.0	20 37.0	7 13.0	6 11.1	11 20.4	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	17 15.5	35 31.8	20 18.2	23 20.9	10 9.1	5 4.5
	仙石原地域	142 100.0	28 19.7	33 23.2	23 16.2	28 19.7	20 14.1	10 7.0
	箱根地域	57 100.0	7 12.3	15 26.3	17 29.8	8 14.0	6 10.5	4 7.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	-

**【問18】インフラ施設の今後の方向性／7. 使用料を徴収できる施設
では、使用料(水道料金、下水道使用料等)を引き上げる**

単位：% (5%未満非表示)



『使用料を徴収できる施設では、使用料（水道料金、下水道使用料等）を引き上げる』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」をわずかに3ポイント上回り、46%を占めました。

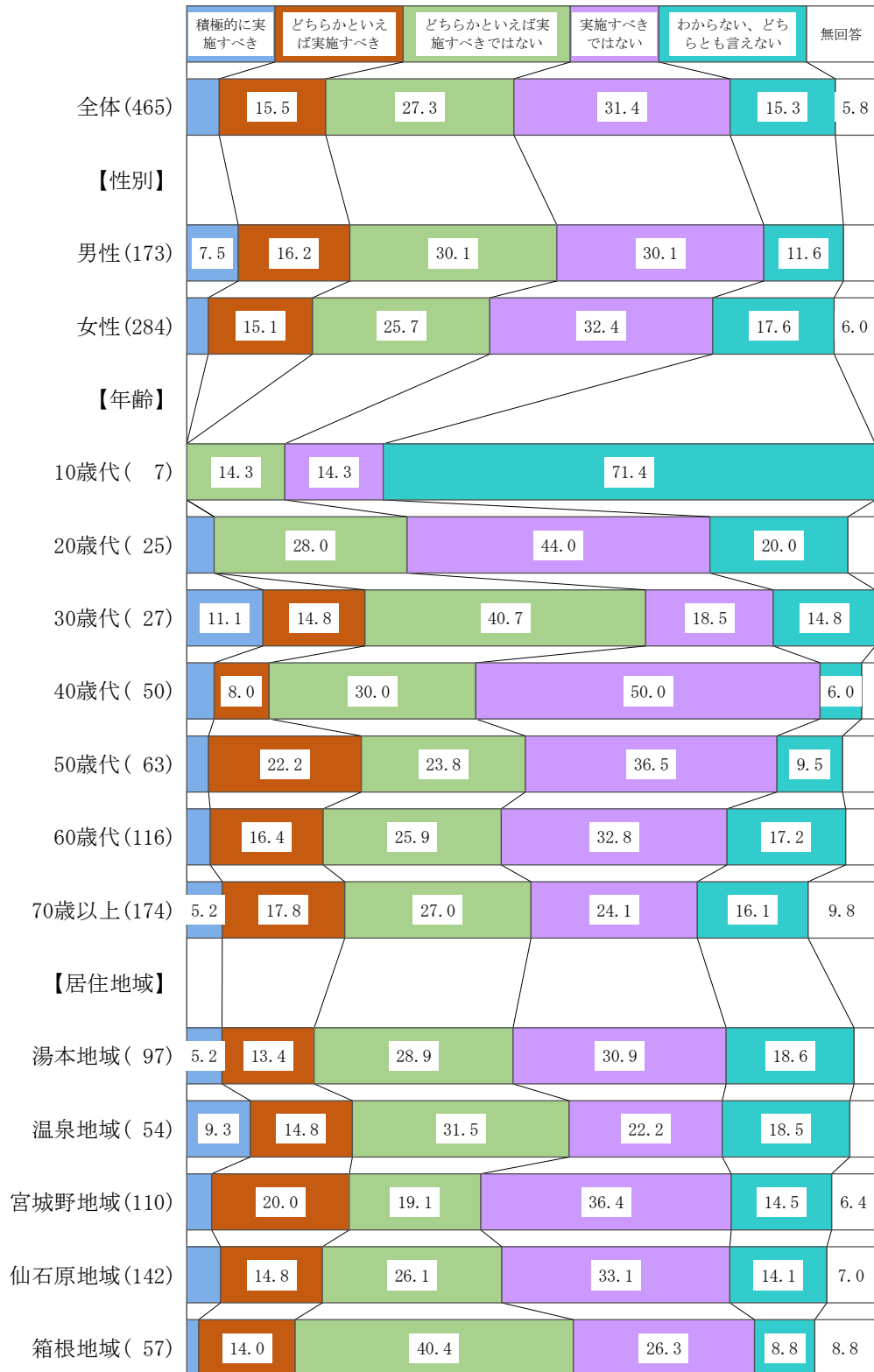
また、年齢別では、「30代」が59%を占め、居住地別では、「温泉地域」が50%を占めました。過半数を超えたのは、上記以外で「50・60歳」のみでした。

8. 増税等を行い、町民全体で負担する

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	22 4.7	72 15.5	127 27.3	146 31.4	71 15.3	27 5.8
性別	男性	173 100.0	13 7.5	28 16.2	52 30.1	52 30.1	20 11.6	8 4.6
	女性	284 100.0	9 3.2	43 15.1	73 25.7	92 32.4	50 17.6	17 6.0
	無回答	8 100.0	-	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	-	1 14.3	1 14.3	5 71.4	-
	20歳代	25 100.0	1 4.0	-	7 28.0	11 44.0	5 20.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	3 11.1	4 14.8	11 40.7	5 18.5	4 14.8	-
	40歳代	50 100.0	2 4.0	4 8.0	15 30.0	25 50.0	3 6.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	2 3.2	14 22.2	15 23.8	23 36.5	6 9.5	3 4.8
	60歳代	116 100.0	4 3.4	19 16.4	30 25.9	38 32.8	20 17.2	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	9 5.2	31 17.8	47 27.0	42 24.1	28 16.1	17 9.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-
居住地	湯本地域	97 100.0	5 5.2	13 13.4	28 28.9	30 30.9	18 18.6	3 3.1
	温泉地域	54 100.0	5 9.3	8 14.8	17 31.5	12 22.2	10 18.5	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	4 3.6	22 20.0	21 19.1	40 36.4	16 14.5	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	7 4.9	21 14.8	37 26.1	47 33.1	20 14.1	10 7.0
	箱根地域	57 100.0	1 1.8	8 14.0	23 40.4	15 26.3	5 8.8	5 8.8
	無回答	5 100.0	-	-	1 20.0	2 40.0	2 40.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／8. 増税等を行い、町民全体で負担する

単位：％（5％未満非表示）



『増税等を行い、町民全体で負担する』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を6ポイント上回りましたが、24%を占めるに留まりました。

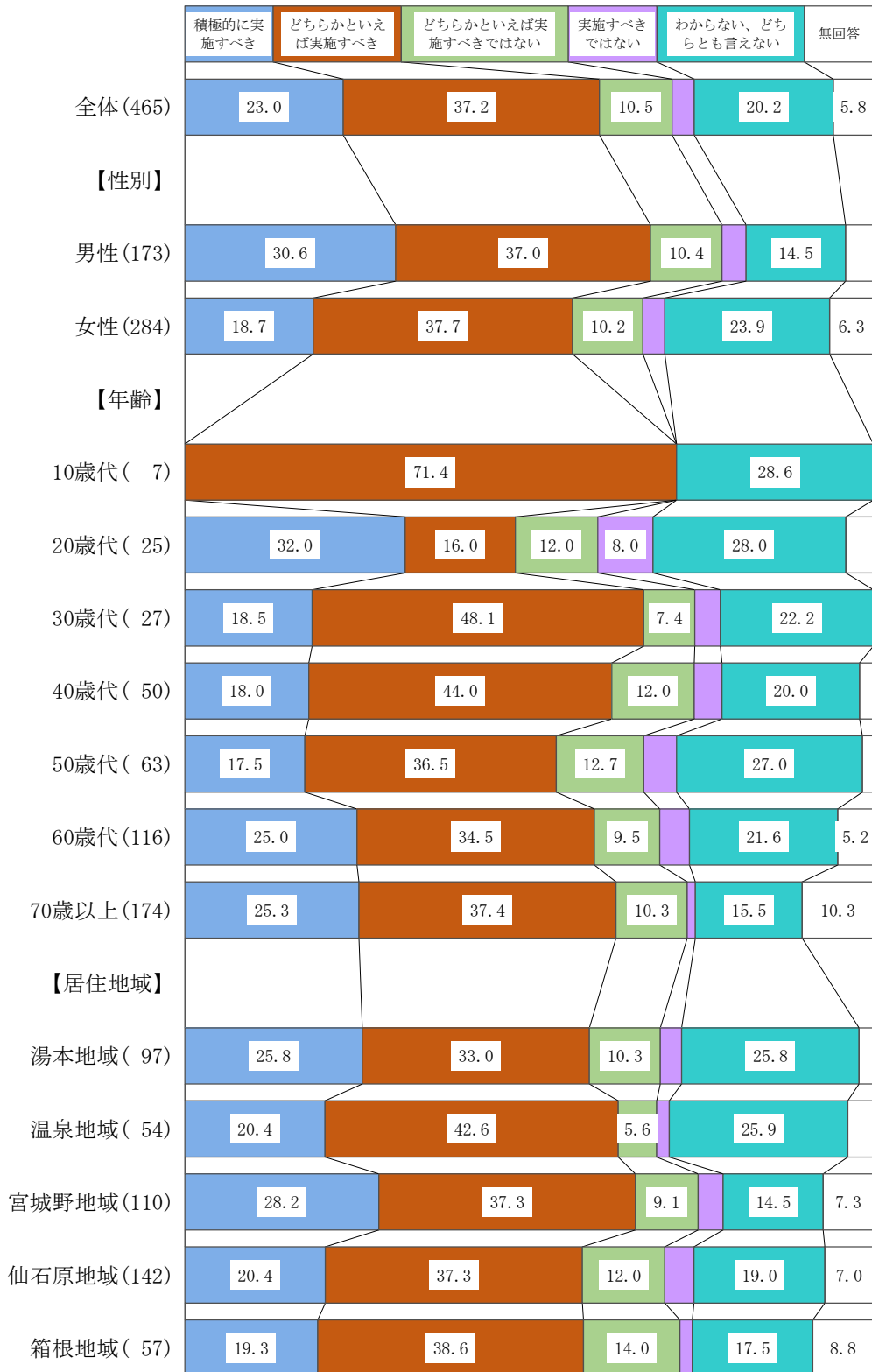
また、年齢別では、「30・50歳代」が共に25%強を占め、居住地域別では、「温泉・宮城野地域」が24%を占めました。どの属性項目でも両回答が30%以下となり、かなり低い割合となりました。

9. 整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う

		全体	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答
全体		465 100.0	107 23.0	173 37.2	49 10.5	15 3.2	94 20.2	27 5.8
性別	男性	173 100.0	53 30.6	64 37.0	18 10.4	6 3.5	25 14.5	7 4.0
	女性	284 100.0	53 18.7	107 37.7	29 10.2	9 3.2	68 23.9	18 6.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	-	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	-	5 71.4	-	-	2 28.6	-
	20歳代	25 100.0	8 32.0	4 16.0	3 12.0	2 8.0	7 28.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	5 18.5	13 48.1	2 7.4	1 3.7	6 22.2	-
	40歳代	50 100.0	9 18.0	22 44.0	6 12.0	2 4.0	10 20.0	1 2.0
	50歳代	63 100.0	11 17.5	23 36.5	8 12.7	3 4.8	17 27.0	1 1.6
	60歳代	116 100.0	29 25.0	40 34.5	11 9.5	5 4.3	25 21.6	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	44 25.3	65 37.4	18 10.3	2 1.1	27 15.5	18 10.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	25 25.8	32 33.0	10 10.3	3 3.1	25 25.8	2 2.1
	温泉地域	54 100.0	11 20.4	23 42.6	3 5.6	1 1.9	14 25.9	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	31 28.2	41 37.3	10 9.1	4 3.6	16 14.5	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	29 20.4	53 37.3	17 12.0	6 4.2	27 19.0	10 7.0
	箱根地域	57 100.0	11 19.3	22 38.6	8 14.0	1 1.8	10 17.5	5 8.8
	無回答	5 100.0	-	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	-

【問18】インフラ施設の今後の方向性／9. 整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う

単位：%（5%未満非表示）



『整備時に高コストであっても、長持ちする材料を使う』について、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」が多かったのは、性別では、「男性」が「女性」を12ポイント上回り、68%を占めました。

また、年齢別では、「10歳代」が71%を占め、居住地域別では、「宮城野地域」が66%を占めました。どの属性項目でも両回答が過半数を超えました。

5. 自由意見集

問 15（前問 14 の方向性以外にあなたがお考えになる取組みについて）及び問 19（箱根町の公共施設等のあり方や今後の方向性について）の自由意見を以下に示します。

なお、ご意見は記入された方の意図がそのまま伝わるよう、可能な限り原文を尊重して掲載しています。ただし、公序良俗に反すると認められる部分や特定個人を誹謗中傷するなどの内容を含んだ部分の掲載は、一部割愛させていただきました。また、明らかな誤字・脱字と思われる字句も修正させていただきました。

問 15 前問 14 の方向性以外にあなたがお考えになる取組みがあればご記入ください。

NO.	ご意見
1	別になし。
2	特になし。
3	町民が利用できる保養施設である弥坂湯、温泉会館は古く老朽化しているので、建て替えかシャワーの増設、お湯が出るようにしてほしい。改めて公共施設一覧を見てみると利用した事ない施設がほとんどで、収益を考えて方向性を決めるべきと思う。スポーツ施設を役場あたりに作ってほしい（トレーニングジム設備）。仙石まではとても行けないので。
4	資料館は維持。統合できる施設はする。
5	利用実態からみて廃止、縮小の方向を検討すべきと思う。
6	高齢であり方向性の問題に取り組む希望はありません。
7	3 番、下水道設備。
8	無し。
9	森のふれあい館なんて建てた時からダメ。職員の良いたまり場。ふざけんな！！◎ 所詮は天下りの集会所、たまり場に過ぎない。
10	民間との共同利用できるものが多くある。
11	旧道の整備、夜間照明（照明が少ないので夜間が危険）の増設。
12	各設問を具体的に町民全員にアンケートを取る必要があると思われる。又、各施設の利用実態の調査を正確に数値を出して削減、統廃合の資料としているのか？

13	①子どもが安心して住める環境にする。②私道が多いので公道にする（無料で登記等を変更する）。③②に関して道が暗いので電灯を増やす。④公務員の高齢者を減らすこと。若者を多くする。
14	特に取り組みたい希望はありません。
15	老後、このまま住むか他へ行くか、一人暮らしになると思いますので、小田原のアパートに引っ越ししなければならないかと思われます。
16	諸施設がものすごく遠い所であって車の運転が無理な人はバスしかありませんが、これがまた高い運賃ですから折角できていて利用できる施設は利用してもらう事が良いのですが、交通手段（そこへ行くまで）を考えなくてはいけないと思います。例えば役所のところにある資料館を友人に見せたくても、連れて行っても近い人は良いけれど元箱根通りの人は難しいでしょう。
17	観光客がもっと気軽にフラッと利用できる施設の多様化（スーパー、コンビニ、昔あったボーリングやゲーム、観光客の購買力、映画館、釣場、バッティング、プール、卓球、カラオケ、若者に箱根限定のプリクラやドッグランのようなペットと一緒に遊べる体を動かせる施設、子連れで楽しめる、着物が着れて写真が撮れるような（コスプレ）、イベント行事（ハロウィン、クリスマス・・・）、ショーを見れる施設）、外国の方が日本の箱根に来て楽しんでもらえるレジャー（川下り、モニュメント）。※ゆるキャラの利用。
18	特にありません。
19	観光施設（関所・湿生花園等）は天下りの温床になり、本来の目的（受益者へのサービス）から逸脱していないかと思う。ですから民間の意識も導入すべきで、民間への委託は最大限、促進すべきと考えます。一方、教育関係においては現状をより向上につなげるため、退職したベテラン教師を再雇用し教育の充実を図り、将来の箱根への投資として是非、実現して頂きます。
20	民間企業の参入による体質の改善と展開。
21	公共建物等を統合すること（一括管理）。
22	民間企業のノウハウを活かし住民、観光客が満足するサービスが必要。行政改革・現状打破に財政の見直し。
23	宮城野保育園が現在、建築中ですが事前に住民への説明会があったのでしょうか。どのような施設で利用者が保育園児だけのように見受けられますが、もっと広範囲に利用できる施設にすることは出来なかったのでしょうか。住民の意見を取り入れてほしかったです。
24	住民にとって必要か、観光客のための施設か、で考えてほしいと思います。住民第一で施設を活用すべき。

25	森のふれあい館の廃止。幼・保・小・中を一校にして質の高い教育をしてもらいたい。
26	1～5は町の直轄でやってほしいと思うが、2については民間の警備会社等と連携するわけにはいかないのか？15の公営住宅、即ち町営住宅だが観光立町としては無くすわけにはいかないと思う。他県から働きに来て、そのまま住みつく人も少なくないと思うので（私もです）残せるものは残して、壊せる所は壊し今後は町が大家になって、地域相場より少し安く入居できるような高品質の住宅を作っても良いのではないかと思う。経営はもちろん民間委託です。作るのもビフォーアフター（テレビ朝日）のようなものを利用するとか・・・。
27	・観光施設の現状維持には海外観光客が驚く展示を行う必要があると考える。・海外と連携を行い、現状維持を図る。
28	方向性の前に町の職員の数減少すべきだと思う。いつ湯本の役場に行っても職員が、勤務時間内にお喋りしている所が目につく！！
29	まず施設周辺住民に迷惑をかけない事。住民税を納めている事に納得できる運営がされている事。
30	諸々の施設に対し、人件費等、維持コストを徹底的に見直し、適正人員の配置、不必要な施設の撤去、民間委託等を行い、その結果を広く住民に公開し議論すべき。また他地域から見て魅力のある町としてアピールし（交通機関が充実している等）人口の維持それには増加？移住促進を図る！！
31	※交通費が高い湯本→小田原、年金は苦しい。※防災充実！！坂が多いため。※ゴミ処理はこれ以上多くしない方が良くと思う。
32	施設の利用状況、利用団体、人数、利用目的等、総合的に分析して、現状でのやり方が正しいのか、他の運営の仕方があるのか、よく考える必要があると思う。
33	箱根町は観光客あつての町、人が集まる環境を作って欲しい。歩いて箱根に来たい、町を歩いて見たい、車で来ない人などに対応できてない。例えば道路に歩道を備えるとか、道の駅で買い物や立ち寄りを楽しむ施設が欲しい。これら実施の運営管理等を民間を巻き込んで実施が必要。
34	庁舎の場所が坂の上であり大変不便。高齢者が利用しにくい状況。役場は現状維持や、駅構内や駅周辺に窓口を作るべき。町の施設で行われる健診や講座をさくら館で行うことが多いが、車のない人にとっては金銭面がかなり負担が多い（小さい子どもをバスで連れて行けないとタクシーになる）。近医で受診する方が良いと思われる。今の施設をどこかに移したりするよりも、箱根町としての取り組みをもっと充実すべき→コンクール、大会。
35	公共施設を38年間で3割削減、では緩すぎる。不便になっても良いので、財政が破綻する前に思い切った統廃合をスピード感をもって進めてもらいたい。

36	町の財政の困難幾たびか見直しております。福祉政策について大変、複雑。町民 30 年になります。幸い私は福祉政策について色々疑問（例）生活保護のことも堅実な考慮が必要であって戴きたい。思慮を深めて政策を国政も地方行政においても！！日本国の先行きが案じられます一言苦言を。
37	住みにくいから人口が減っているのだと思います。仙石～小田原などバス代高すぎ。子どもを持つと生活できない。介護しなくてはならない家族がなかなか施設に入れなく結局、会社を辞めるしかない。
38	民間に委託する物件など協議して、線引きする必要があるのではないかと。※仙石原にガソリンスタンドがないのは不思議。
39	もっともっと民間企業を誘致して老朽化している施設を貸し出して、地域の活性化を図り（テレビ局や星野リゾート等）町自体の国際化を目指して、江戸時代の街道、宿場町のイメージを忘れないようにして、町を作っていくべきかと思います。
40	出張所、消防施設、避難場所、学校、保育園等、単独の施設でなくても良いような気がします。保健施設、福祉施設等は民間のテナントを入れても良いのではないですか。
41	維持、縮小ばかり考えるのではなく、機能させることが重要。サービス（人材の向上）やお金をかけずにより機能や魅力を向上させていき、利用者を増やすことを考えるべき。中身の見直しが必須。
42	・消防の湯本分署については現在地から出動しやすい他の所へ、移転した方が良いと考えます。・物産館については名称に相応しく内容の充実を図るか、または目抜き通りにあるので賃貸で使ってもらう事も、一つの方法ではないかと思います。
43	削減も必要だが、観光立町を目指すなら重点的に関連施設やソフトに力を注ぐべきと思う。
44	建物以前に交通インフラの充実を（別に道路の拡張等の手段ではなく、とぎれとぎれの歩道など行政の感覚が分からない）。観光シーズンの慢性的な渋滞。歩行者用の道路（歩道）の整備。サイクリング愛好者用の通行の確保など温泉、旅館、ホテルなど、いくら充実しても若者向けのアクセス方法に対する無定見、車依存がもたらす環境上の問題に向き合っていない。
45	住みよい町の為には必ずしも施設（建築物）が必要ではないと思います。湯本にいと箱根の施設は行きづらい場所の為、あまり利用しません。普段の生活で思うのは、子どもの遊べる公園、広場がないという事。公園や広場は高齢の人も利用できるの、少しでも多い方が住みやすくなります。
46	ゴミ処理の問題、他の業者も入れ札にして、少しでも安い会社に落札すべきではないでしょうか。何社も入れて競争させるべきです。
47	廃止を前提に検討すべきと思う。

48	その他の施設に関して「箱根のブランド」を壊すようなものでなければ民間企業に使ってもらったり、夏休みのみ等のイベント会場としてレンタルするなど、どうでしょうか？”学校”跡などは需要がありそうです。管理者がいるような公園（じゃぶじゃぶ池など）があっても良いと思います。今宮城野で小さい子どもを育てていますが、小さい子どもを連れて行かないのが、とても残念です。秦野市にある運動公園などが理想的です。
49	都市基盤施設や行政系施設はなくては困るものであり、しっかり維持してほしい。また学校教育系や子育て支援施設の充実も親にとっては切実な問題であり、箱根町の暮らしやすさを左右するものであり、充実こそすれ、これ以上減少させるべきではない。従って今後の方向性については、自ら優先順位のつく問題であり、全ての設問を同列で検討するのは間違っている。
50	「森のふれあい館」は廃止。「さくら館」は当初の目的と違う方向に行っている。
51	町施設の運営に関して、町民の為のみならず観光資源として、一般公開して収入を得る。・地熱発電－火山地帯の資料と共に博物館的に公開。・ゴミ発電、ガス発電－ゴミ処理施設、し尿処理施設を新設する場合に一考を！近隣市町と連携する事も良い方法かもしれません。
52	実際に、それぞれの設備を利用する方にも現状、利用率、維持修繕の必要性やそれにかかる費用を説明した上で、意見を聞くことが必要だと思います。
53	必要性のないものは減らす(利用者の少ないもの)。新しくすれば良いとは限らない。あるものを大切に手を入れ出費を少なくする(人口が減って収入が少なくなる)。施設等へ行く足としてマイクロバスを出して下さればと思います。車を利用して駐車場が少ないと困る。
54	問 14 の各施設は町民にとっては必要最小限度のもので、増やすにしても減少するにしても、残して活用していく類のもので、ただ、その施設までの足(車、バス)は高齢世帯が増えるに従って利用する事が困難になってきます。現在のところでは利用者が各自、使用する施設まで出向く事になります(一部町のバス利用地域はありますが)。利用して下さいと声をかけられても、不便な所(例えばアリーナなど)にあれば足は遠のきます。まず、いかに便利に現地まで移動できるか、その方法(手段)のご一考を。
55	<道路について>・大きくなって来る木の枝の剪定。・信号機のない交差点への設置(国道 138 号と強羅下との交差点)。<箱根やすらぎの森について>折角の施設が利用されていない。宣伝をして入場者を増やす工夫を。「ふれあい館」の入場料が高すぎる。
56	温泉会館などの館長や職員の経費を減らす。
57	回答②で無印にしたものについて、合理化すべき。

58	どの方向性を残すにしても今、現在どうして、このようなアンケートを取るようになるのかを今一度、役所の中で話し合うべきだと思います。どうして不便な場所に施設を建設してしまったのか。「個人の意見」としてはコミュニティバスを走らせて欲しいという事です。町民が使っていけるようにして欲しいです。
59	箱根町に住まいのない方々がたくさん働いていらっしゃる地域です。そういった方々が参加できる場面を作っていって欲しいです。特に若い方のアイデアには光るものがあると思います。曜日、時間、駐車場など考慮が必要です。
60	道路の整備、国道1号線、湯本駅～宮の下の拡大、林道の拡大など町民にとっては渋滞をなくしてほしい。箱根駅伝などでは恥ずかしいと思う。汚い、白線など・・・。
61	冬の雪かき、町内、区にそれぞれで積極的に行うことが必要あり。住んでいる住民が自分たちの周りを道路清掃及び雪かきをできる範囲でやる事。意識改革も必要。
62	利用しやすいようにしてもらいたいが、税が上がれば生活できなくなります。施設が増えたら人件費の問題も出てきます。複合施設や移動バスなどで回り、施設のない場所の補填をしてもらいたい。
63	各々の施設の重要性は、それぞれに存在すると考える。が、町の立場や財政状況、そして町民からの側面だけで検討して、果たして良いものかどうか疑問である。国際観光都市としての観光客、別荘保有者からの側面も十分に考察されるべきである。このアンケートも別荘所有者へ対しても送付されているのでしょうか。
64	高齢者も大切だが若者が住みづらい町といったイメージが大きい。またジオパークなのに森林に詳しいものがおらず倒木等が怖い。
65	無駄遣いをなくして、町民や観光客に使ってもらえるようなまちづくり。旅番組とか、ぶらり旅とかで箱根をPRしてほしい。
66	中学校が統廃合になったように保育園、幼稚園も人数が少ない所はした方が良くと思う。20年も住んでいて、こんなに沢山の施設があるとは思いませんでした。しかも利用させて頂いた施設はわずかで、利用していない施設はどのような所なのか利用方法が分かりません。こんな私がアンケートを書くのは・・・と思いましたが、考えながら記入させて頂きました。問16は分かりません。すみません。
67	老朽化した建物等を統廃合する事は当然であり、その場合、弱者に負担がかからないように知恵を絞り実行すべきである。自然との共生を目指し、若い人達を集め未来に向けた新しいまちづくりをするため、町有施設等を有効利用すべきである。
68	高齢施設等の運営は地域の元気な高齢者に任せる等にはどうか？各庁舎の責任者が毎日、様子の確認をする。町の上役になると仕事をしていないように思われる。
69	宮城野に二つの役場はいらぬ。どちらか一つにして、一つは金にした方が良い。
70	町職員の意識を高め公共施設の運営に携われるよう方向づけてほしい。

71	小中学校の統廃合により使用可能なまま維持（放置）されている校舎もあります。民間企業との連携等により使用する事は出来ないのでしょうか。方法は沢山あると思います。施設の一部を開放して、企業にテナントとして募集をかけるとか、飲食店に参入してもらおうとか・・・（せっかく大金をかけて建設した施設が、ただただ何にも使用されず老朽化していくのを見ているのは辛いです）。
72	・集会所と保養施設（温泉）と一緒に作ったらどうか？（大きくなくても良いので、弥坂湯は古すぎる。もう少しきれいにしてほしい）。・旅館、ホテル等で「日帰り温泉プラン」を作り入湯をすすめているが¥1000～2、3000円になっている。営業として見ればやむを得ないが・・・。・湯の町、箱根として格安に気軽に利用できる施設（温泉に入るだけというシンプルな施設）があれば町民もハイキングの方も楽しみが増すと思える。
73	生活に密着した施設はちゃんとしていて欲しいと思います。
74	人口の減少、高齢化する中で、利用頻度の低い施設は経費削減の為、縮小、廃止も必要かと思われるが地域の特性により、それもできない地域もあるので、民間との連携で存続を図る必要もあるかも。
75	長い間、観光の仕事をして今、終わりを迎え老人がゆっくりと公共の場で、お世話になる場所が欲しいと思っています。出来れば国民年金に少し出すぐらいで終生、お世話になれる所が欲しいとつくづく思っています。
76	町民が使用するものは質素に。不自由も我慢しましょう。観光の目玉になる所は、しっかりと金をかける。
77	私が住んでいる地域でも空き家がたくさん目に入ります。家のまわりの草が屋根にまで達している、又、まわりも草が伸び放題で近隣の家迷惑かけている家、ボロボロになって朽ち果てるのを待っている家主等に、何か町から出来る事等はないでしょうか？観光客も通ります。外国人達もその様子をどのように見ているのでしょうか？何とかしなければならぬと思います。
78	今後は人口減になるので余分な施設は作らない。必要最小限にするのが良い。
79	雇用という点で町民を優遇？優先的にすれば非常時に対応できるのではないかと思います。
80	地区の要請により必要でない箱物の造り過ぎ。元箱根地区の集会所。今度の宮城野の保育園（宮ノ下旧小学校を利用すれば良い）。
81	住民が減少しているのは観光ばかり予算を取って、住みにくい環境にしている。道路は渋滞で、どこにも行けない。外に出ればイノシシやサルが出没。食料を買いに行くのもお店が近くにないので、車を出さなければいけない。どんどん高齢化が進んでいるのに、町は考えているのだろうか。住民が潤っての観光地だと分かって欲しい。

82	一般的に市営、町営の物は共産主義の様な営業についての熱心さに欠け、市役所にしても活力がなく皆様（職員の方々）安定した収入があるので、仕事に危機感がないと思います。積極さに欠け、お客様の対応の仕方が今一つ盛り上がらないように見受けられます。
83	県、町の所有する重要文化財の管理、整備、しっかりやって欲しい（特に石畳）。
84	観光施設はもっと工夫をして、何回も見学してもらえるように努力すべき。お風呂の入浴料が安い。プールの入館料が安い。
85	収入は少ないが、良い施設が残って存続し・・・少しサービスを受けたいですね。良い町が続くことが幸せです。今後もとにかく。私は社教の図書が良い本あり、整理されているし、好きで5年ほど利用してます。心を育ててます。
86	行政の役割を十分、吟味して質の高い小さな行政を目指して下さい。
87	現状維持であれば出費高はやむを得ない。
88	今後の学校の改築等（公共施設を含む）は町人口に見合った規模にしていく必要性を感じた。町消防団の分団の統合。人員に関してはある程度の人数は確保する。
89	・統合できる事は意見をまとめて前に進める。・適切な運営が出来ているか、もう一度見直しをして金額を決定する。
90	収入増が見込めない状態では人件費を減らす（職員）等、大幅に実施すべきだと思います。
91	人口が減少し高齢者多くなり、若い人が働く場所がないため、出て行く人が多くなるため（若い人の減少流れを止める）、この問題を真剣に考えていかなければならない。計画を立てて10年単位で実施する必要があると思う。
92	宮城野温泉会館や強羅やまなみ荘の温泉施設は地域の人が利用するほかに、観光客も多く利用しているにもかかわらず、以前10年以上前から見ると活気がなく、施設も老朽化しネットでは観光客の評判も余り良くないようです。町民のために作られた温泉かもしれませんが、もっと有効に宮城野の活性化のためにリノベーションしてはどうかと思います。
93	公共施設を湯本地区に移転すべきである。
94	町の施設で町民が優先して利用できるのはありがたいが、住民が減って年寄りしか利用する者しかおりません。人を増やせる対策をとるか、町民以外の人達も利用しやすい建物にしていくのが良いのでは。
95	ただでさえ学校などが少なくて交通も悪いので、駅やバス停が増えてほしい。
96	湯本に一つにまとめた方が良いと思います。
97	・民業を圧迫し税金負担の高いものは民営化すべし。・情報公開で一部の既得権者の為のサービスは廃止。

問19 箱根町の公共施設等のあり方や今後の方向性について、ご意見がありましたら自由にご記入をお願いします。

NO.	ご意見
1	さくら館のプールはいらない。
2	私は67歳の男性で前より思っている事は町が苦しい苦しいと言いながら湯河原町、真鶴町より職員の給料、町長の給料が良く、とても今の現状を把握しているとは思えません。議員数、職員数を減らす事です。議員数も半分で良いと思う。職員数も半分、できるだけ民間に委託するべきだと思う。まだまだ町は甘い。危機感がない！！
3	箱根町だけでなく日本全体が人口減少（少子高齢化）に向かっている大変な時代が来た感じが強い。但し国も県も地方自治体も数十年以前より人口推移を予測し、実態のデータからもそれを把握していた筈ではないのか？箱根町は特に”箱物行政”そのものであり現在より今後、益々その維持費捻出に追われる事であろう。人口がピーク時と殆ど同類の職員数を抱え、人件費確保に莫大な予算が使われており、増税や売却しか念頭にないのは情けないの一言である。各諮問委員会もアリバイ作りで終始し、中身のない会ばかりであった事も町行政崩壊の原因であろう。箱根町は本当に素晴らしいエリアであるのに残念の一言である。
4	スポーツ施設等は一部の人達のためだけにある様なもの。従業員と顔見知りになりすぎて、悪いマナーの人達に対して注意しにくい環境にある。民間の施設等と同等料金を徴収し、環境や従業員の教育向上に努めるべき。料金が上がっても、小田原や御殿場に行くよりも便利です。私は今では失望して利用しておりません。
5	問題外ですが、生活保護受給者の方の調査をして下さい。私は会社勤めしています。受給者の方の方が勤め人より良い生活をされている。週三回位、身内から宅配便が来ているし、エアコンは購入しているし、私達はエアコンも買えません。扇風機で暑さをしのいでいます。民生委員の方も調査をして下さい。役場でも調査をして下さい。税金を払っている者が大変な思いをしている現状を知って下さい。病院にもすぐ行く、交通費は出る、そんな事があって良いのでしょうか？厳しく調査して下さい。1～18の調査より保護を受けている方の調査を先ずして下さい（パソコン等もやっているし・・・）。

6	現在、マンションに住んでいます。自治会に入らないと回覧板が回って来ません。マンションではまとめて32件分の自治会費は払っています。個人で入らないと回覧板は回って来ません。管理人～管理人へと回しています。情報が何も分かりません。希望する人にだけ自治会会長に連絡するようにしてほしいです。公共施設は便利な所が良いと思います。車がある人は不便でも施設に行けますが、バス利用の人は大変です。
7	老朽化した出張所などは新しくするか共同するなど、必要があると感じています。大きな箱物などは民間の方が利用率など、効率よく行っていかれると思います。
8	町づくりのために色々な意見、アイデア、耳を傾け住んでよし、見てよし、働いてよし、話し合い町おこし、長いスパンを考えて町づくりをしてほしい。町民も良い町おこしならば協力は惜しまないでしょう。
9	小田原市と合併するなどして人口の減少で負担が大きくなる前に、対策を取るのが良いと思う。
10	インフラ系の料金を上げる前に、上下水道で上水道を利用しない人はいないと思うが、現在でも下水道を利用していない家があります。施設を作った時の早川をきれいにするという話はどうなったのかと思います。箱根町役場でないと出来ない事が多くないですか。特に福祉については出来るのに出張所の能力不足ですか？本町は坂の上であり不便です。町の施設が96もあるとは思ってなかった。周りの市町等とも協力して利用頻度の少ない物は減らしていくべきだと思う。観光案内所等は今はスマホで調べれば必要ないのでは？
11	公共施設の使用料などを増やした方が良いと思います。
12	真鶴町、湯河原町には図書館があります。御殿場市図書館は箱根町民には本の貸し出しをしていません。箱根町内に数多くの美術館を持つことで有名な箱根町なので、文化の中核となる図書館を開館して下さい。建物は現在、使用されていない企業あるいは公共の保養所か寮を使わせてもらうことは無理でしょうか？ゆっくり新聞や雑誌を読める広いラウンジのある図書館も（問14-⑧）の高齢福祉施設の一つとして認めて戴けませんか。
13	箱根町出張場等は立地が良いので空いている場所に、喫茶室等を民間に貸し出して維持できる。森のふれあい館は劇場は不要。規模を縮小して無料にする。飲食できる場所があればもっと入場者が増える。
14	インフラ、公共財については費用対効果の説明責任が求められている。人口の減少化に歯止めはかからない。合併や広域行政を視野に入れる。学校や病院を充実させる。ゴミの分別にエネルギーをかけたくない。下水道より合併浄化槽で十分である。町に人を集めることに定住人口をアップする方策を考える。

15	各施設の削減、計画も当然であるが先行して職員、議会議員等の給料の減額等が必要ではないか？本町と同等条件または他の市町村との比は高すぎると思われる。神奈川県平均値を対象に考える必要、大である。
16	公務員や天下りした人を採用しない事。民間に管理・運営する事。
17	問 18 について町外の査定会社にて査定をしてもらい、1 円たりとも町民の金の無駄をなくす。
18	自然豊かな箱根町ですが、生活面に関してはとても不便な町だと感じます。便利で住みやすい町になってほしいと思います。他の市町村に生活環境（食も学校も）が流れないようにする事で、人口も増え楽しく明るいまちになるのでしょうか。
19	公共施設等のあり方は決められたことを守り、利用します。特に方向性の意見はありません。
20	古く使用少ない施設、町負担多い等廃止、見直しを検討すべきと思います。
21	湖尻近くにある” レークアリーナ” のような大きな施設を国体の時に作ったようですが、余り利用度がないようです。全国に” 箱物” を作り失敗しているケースが多いと思いますが当時、反対意見もあったでしょうに。今、改めて考え直さなくてはと思います。ただ年寄りの施設、集会所、町営住宅、学校、保育園等は必要なものですから、なければ困ります。温泉のあるマンション、家庭（温泉を引いて）等は良いですが、利用していない施設を近所の人利用できる公共浴場にしたらどうでしょうか。今ある施設に行けない人もいますから、せっかくの温泉町で皆、入れないのはつまらないでしょう。
22	・箱根町役場をもっと活かせるように市民、町民が利用できる店などを入れて、活性化に取り組んでもらいたいです。①景色を見ていただく展望台や、②パン屋さん、ケーキ屋さん、③食堂←職員と一般の方も利用できる（レストラン）、④市民が利用できるスペースなど（図書館、ドラックストア）、役場と郵便局の一本化など……。役場の坂道がきついため年配の方は大変だと思うので、道に楽になるためにインフラ整備をしてもらいたいです。役場の建物の外見、周辺イルミネーションなど明るくしたらいいです。活性化をお願いします。
23	・教育施設（小・中学校、保育園、幼稚園、幼児学園）と高齢福祉施設の2つには他の施設よりも優先的にお金を使うべきである。・現地に行き、その地域の特産物を自分の目で見る事ができるというのが、観光に力を入れている限り必要だと思うので、箱根の特産品を全て集めたような産業系施設は無くすべきである。

24	私は接客業をしております。箱根のレストラン等は冬休み、夏休み、お盆でも早く終わってしまい、観光客のお客様は残念がっています。もう少し長い時間、営業することは出来ないのですか。元箱根、箱根町に一軒ずつぐらいにコンビニが欲しいと思う。クリスマスにはイルミネーションとかしたらどうですか！20年以上、箱根で暮らしていますが、楽しいと思ったことはあまりないし、友だちも呼びたくない、今ではつまらない町です。
25	公共施設の建設において地元の企業を優先することは有意な事だと思いますが、瑕疵ある（雨漏りなど）建物などで技術の未熟さが由来するものが推定されます。そのような実態を把握することにより、耐久性を向上させるとともに無駄な（本来必要ない）工事を防ぐことができると思う。議員の方の同族企業の重用などは、それだけで不信感が募ります。一般の町民が納得する透明性がある入札法・決定がされることを望みます。町民も長期、議会も構成員が変化も見られず馴れ合いが予想されます。このアンケートにある項目を圧縮すると同時に、町の中核の粛正が望まれます。
26	公共施設ではございませんが、湯本の1号線横断歩道に押しボタン式の信号機はいかがでしょうか？人の往来のたびに道路の渋滞をまねいておりますので、どうぞよろしく御検討いただきたいです。
27	急速な人口減少に向かっているこれからは、商業町として高齢化、少子化をかかえて変化せざるを得ないと思います。例えば小学校の中に保健高齢福祉施設と一緒にして、子ども老人共に、触れ合えて営んでいければ昔の大きな家族の形に、働いている自営業者の方々も安心して仕事に励む事もでき、独居老人への民生員の方達への負担も減るのでは？と思います。
28	高齢化が進む中、財源確保に支出の見直し（委託業者の選定方法、公務員の給与等含む）も必要と思う。医療機関の充実はもとより、災害時の対応強化を最優先した環境や経済面で、安心できる生活を望んでいます。
29	・集会所と関連建物等と統合すること（管理運営等がやりやすい）。・集会所等は町が全部、建てること。管理は地域住民が行う。※委託料は廃止すること。
30	過去の概念にとらわれず必要・不必要なものを明確にし、住民が何を求めているかを追求する。人口増加、企業誘致による財源増を目的としなければ、町の存続が危ぶまれる。住民に優しい税改革を希望する。または町からの支援金の充実を図る。

31	<p>公共施設の老朽化は実感していますが、縮小、廃止の前に無駄の見直しをして下さい。例えば温泉保育園の様に2名の園児に対する経費など、箱根小のバス利用で宮城野保育園へ通園できないのでしょうか。その他にも各所で無駄を多く見受けま す。災害時の施設に対する不安、夜間の対応はできるのかどうか。職員の地元化を お願いしたいと思います。大雪、台風など天候の変化は地元でなければ感じない事 です。他地区には対応できないと感じます。高齢者は過疎化されていく将来に 不安を感じています。高齢者もさくら館での体力作りに頑張っている者が大勢いま す。</p>
32	<p>子どもの水泳教室があり、さくら館へは行っています。さくら館のプールも閉鎖に なるという噂があったこともありましたが、私自身さくら館へはプールか子どもの 健診ぐらいしか行ったことはありません。使用頻度から考えると、人によって大き な差があると思います。ですが、プールという代替え施設のないものは残して頂き たいと思います。例えば体育館は各学校にあります、レイクアリーナは必要です か？代替え可能です。年に何日、体育館として使われているのか分かりませんが、 なぜあの場所にあれだけの体育館が必要だったのかも疑問です。国体のためだけ ですよね？（さくら館のプールも立派だけど、なぜ公式戦に使えないレーン数なの でしょう？）。</p>
33	<p>新しい施設を建てる時、町民の意見を聞いたり説明会を開いたりしているのです か？子どもが育つ、育てやすい町が、これから先、最も重視すべき事だと思いま す。納めた税がどこに、どのように使われているのか町民のため、町のためになっ ているのか、よく見えません。</p>
34	<p>水道料金が高すぎる。水が美味しい水だったら料金が高くても納得しますが、水が 不味いのに料金が高いのにビックリしました。もう少し安くできないのですか。役 場の人達も良く考えて水道料金を安くして下さい。お願いします。</p>

35	<p>・少子化になるのが分かっているのに、莫大なお金をかけて宮城野保育園を作るのはどうかと思う。今の施設で空いているスペース、箱根の森小学校、さくら館でも十分対応できたと思う。・さくら館1Fで宮城野公民館の役目も果たせると思う。・無駄な年末の道路工事等やめてほしい。・合併して運営できるのなら、そうして欲しい。税金の無駄遣いは困る。・幼保小一貫教育となっているが、保育園は土曜も8:30~16:30まで開いている。箱根町は観光業で共働きも多い。小学校の学童も土曜日やって欲しい。先生の人件費がというなら、一貫教育と一緒に保育園で預かって良いと思う。・少子高齢化、保育園と老人施設との一体化もあって良いと思う。・箱根幼稚園、温泉幼稚園の園児数が少ないのに本当に必要なのか?・一般的な公共施設ばかりに目を向けがちであるが、箱根町の観光、伝統事業のためにもお金を使って欲しい。夏は大文字焼き、子どものお囃子の練習でセブンイレブン横の宮城野集会場のような所を使用しているが、古くゴザも虫もいて全てが汚い。必ず毎年使っている。町のためにやっている人達が使う所も直すよう考えてほしい。・町営住宅にエレベーターは必要なのか?不平等だと思う。・土日も湯本町役場で電気がついている。残業とかなして。・議員の給料も高すぎでないか。見直してほしい。</p>
36	<p>箱根町の特殊性・・・観光地であるという特性は一番大事にしていかなければならない事と思う。外国人観光客の多い場所なのに、最低限の英語標記も少ない。これは公共施設だけではないけれど・・・。また道路の清掃が非常に悪い。道路の清掃、静岡側は大変進んでいる。中心地の箱根町は落ち葉だらけ、草だらけ。国際的観光地ならもう少し整備しても良いと思う。大変、美しい花の多い観光地だということを忘れないでほしい。観光地ゆえに官民一体で救急医療も充実してほしい。私が70才以上になったら東京へ戻る第一の要因が病院です。</p>
37	<p>町職員を減らし人件費を下げ、行政サービスの向上を目指す。</p>
38	<p>このアンケートに関係ない事なんですが、バスのハーフ(500円)は6ヶ月では短いです。1年にして下さい。小田原に行って帰って800円です。半額なので助かりますが、気軽に外出できません。半年では助かるほどの事ではないです。</p>
39	<p>趣味の教室が色々ありますが交通の便が悪く、その度にタクシーです。出来る限り出席したいと思っておりますが、何しろ(89才)。今まで結構、アンケートの通知がありましたが、必ず提出してました。町長さんは目を通していただけるのでしょうか?</p>

40	<p>問 15 とか欄外に書かせていただきました。箱根町は広いので統合するのも大変だと思います。お客様を預かる町として何が必要か？という事を考えていただければ方向は見えてくるのではないのでしょうか？お客様に安心して滞在していただく、そしておもてなしをする住民があまり不便を感じずに、生活できることが一番だと思います。やはり小児科、婦人科をもっと備えた総合病院は必要なのではないのでしょうか？東京から一番近くて便利な避暑であり、且つ国立公園でもあります。県や都、国と相談するわけにはいかないのでしょうか？今回のアンケートとは関係がないのですが、芦ノ湖の西側は東海道つまり江戸時代や、それ以前の名所という感じですが東側、強羅や大涌谷辺は明治維新～第二次大戦後の日本近代史（現代史？）の一側面である様な気がします。教科書に載っていない戦後史であるとともに箱根という町の特徴を表している気がします。当時の建物はみな転用されているようで、特に町の観光施設等はありませんが・・・。</p>
41	<p>民間の文化、スポーツ、その他の施設を町民が有利に利用できるよう連携するなど、観光地のメリットを活かし公共の運営負担を減らす。特産館や資料館等も企業や、歴史ある民間施設等と共営する。町民増はほぼ考えにくいので、観光客へのサービスに絡めた住民サービスを模索することで、公共施設減や維持しやすくする。等々、思いつきです。</p>
42	<p>今後の生活を考えると難しい問題ばかりです。町民としては出来る限り協力したいとは思いますが、経済的負担増は逆に人口減少を招くかもしれないと心配しています。</p>
43	<p>保育園の利用時間をもっと長くしてほしい。土日 18：30 までするなど。箱根町はサービス業が多いと思うのに、土曜日は 16：30 までが多く、日曜日は 1 施設の 16：30。これでは土日は休まなくてはならず、今の社会情勢に合っていない。利用時間が合わない。本当によろしくお願いします。</p>
44	<p>・増税よりも公共施設の見直しが急務である。・高齢者（町外者）の方々が当町に住んでもらえるよう一層の充実性を図ることで” 高齢者タウン” という新しいまちづくりに切り替える。・若者は人口割合から考えても少なく、グローバル化している今日には永住はできない（18 才まではバス等を安くするのが前提である）。以上。</p>
45	<p>これから町の赤字運営の施設の事を真剣に考えていかなければ、町民はさらに減りますよ。子どもが高校に上がると大勢の人が小田原に引っ越していきます。関係ないことまで書きましたが、少しでも町の赤字が減少する事を考えて実行して下さい。</p>
46	<p>建築物ばかりでなく観光地らしく自然を活かした施設を充実させてほしいです（公園、遊歩道など）。住民の健康を維持するためであったり、観光客など共に利用できるものを期待したいです。</p>

47	<p>・地域ゴミ集積所運用は担当自治会員に任されているが分別、時間、当番等で問題がある。上記問題を早急に解決し、生活しやすい環境へ導くため、シルバー人材活用を要望する。・教育、支援施設周辺住民は特に騒音において日々、我慢を強いられている。心ある対策を強く要望する。・今回も過去アンケート同様、実施のみで終わりになるのではと不安がある。全アンケート情報を分析し、箱根町全体の運営にも活用して頂きたい。</p>
48	<p>案：利用頻度の低い施設（例えば町営住宅）など集合し廃止した空き地に。①コミュニティ施設。②老人ホーム（住み込み、独居老人等、食事は使用料 20 万円位）。個人、居住住宅を担保、家賃でもよい。このような施設があると箱根に長く住んだ者にとって嬉しいです。</p>
49	<p>私は環境、子育て等、この箱根町に魅力を感じて他地域から永住目的で移住してまいりました。今後、少子高齢化を向かえ人口の減少は避けられない事と思いますが、様々な面で行政サービスの低下が進めば町からの人口流出は避けられない事となり、より深刻な状況になると予想されます。必要のある施設（庁、出張所等）は残し、ほとんど一部の人のみしか利用していない施設、活用されていない土地などは積極的に民間に売却、又は運営委託すべき。第一、箱根には公共医療機関の一つすらないではありませんか？→必ずしも必要とは思いません。非効率だからです。</p>
50	<p>・人口が減っているので公務員の増員は必要なし。町会議の人を少なくすべきだ。・交通事故の先手管理要す。(通学道、老人の買い物等)。新道が一般化されたので「小田原→茶屋ゴルフ場、小田原→畑宿も降りれるよう」への道を考えたらどうか？旧道の車が減る。観光客が多いので箱根人として話をできるよう（英語）思いやりを、一度だけでなく、また箱根に来たい心で・・・。</p>
51	<p>役場は生まれてから死ぬまでお世話になります。学校は 9 年間お世話になります。ライフラインは全ての人がお世話になります。箱根の立地条件は一本化できません。災害の時の事も考えて。</p>
52	<p>旧箱根小学校ですが校内は全然、使用していないようですが、町民運動会雨天の場合は使用しますので、トイレとか整備して体育館は残して頂きたいと思います。町の出張所も古くなっておりますので、旧小学校をとも考えられます。</p>
53	<p>観光地なのに湯本橋の周り～湯本の花にかけての道路の（1 号線）雑草が目立つ。</p>
54	<p>厳しい財政状況にあるのはよく分かります。公共施設を減らすのも利用に多少の料金がかかるのも、しょうがない事だと思いますが、まず公務員の人数、給与、役場にかかっている費用が適切か、今一度よく考え見て下さい。</p>

55	存在すら知らない公共施設が多々ありました。利用者が少ない又は利用頻度の少ない施設は売却すべきです。将来的に人口減少が著しく見込まれるならば、学校などの教育施設は一層力を入れて維持、改善してほしいです。高校への通学手当も廃止しないでほしいです。そうでないと若い世代（子育て世代）の人口流出は免れないと考えます。
56	一度来たらもう一度行ってみたいような箱根町を考えてほしい。歩きのブームです。何時でも箱根に行けば歩けるとか、小田原駅まで電車であとは徒歩で箱根山一周できる等の長期（2～3泊）徒歩の旅ができる環境を作る。
57	町職員に他市町村人が多いように思われます。箱根町職員が箱根町に対してどの位の思いを持ってられるのか疑問に思います。山を歩いたり自然を知る事、行政以外にも、もう少し愛情をもって接してほしいと思います。大涌谷の事で観光産業以外にも、箱根町を利用する機会を増やす必要がある事を考えられたと思います。小さな子どもが集まらないわけは文化レベルが低いからです。親にとって子どものためになるような文化（施設でなく）や機会があれば人は集まります。施設を利用してコンクール（音楽やスポーツ）をしたり、使われていない施設を合宿等に利用したり、交響楽団の基盤を作ったり（よんだり）できると思います。箱根町にも人材はたくさんおられます。そのことに気付いて、文化レベルをあげていく事、施設の問題ばかりの運営より必要な事はあると思いますが。町をより良くしたい人材の意見に耳を傾けないため、良いアイデアも他に行ってしまう現状です。文化レベルの高い物、人を町は大事にしてほしいと願います。一流のものに触れる機会をつくることではなく、常に一流のものが当たり前にある様な町に、昔の文化人が愛した箱根の一面が復活することを願います。
58	財政悪化は行政の責任だ。人件費の削減はもとより職員は町内在住とし、歳出入を町内で循環してもらいたい。固定資産税の町民負担増は筋違いで、責任を町民に転嫁している。また削減だけでなく収入を増やすことが必要だ。特に観光関連。例えば飲食店や宿泊・観光施設によるゴミ／し尿処理の利用者負担を増やすことはどうか。消防救急にかかる経費は町の規模を越えているように見える。つまり公共サービスを取捨選択し、新財源を確保してもらいたい。英断を希望する。
59	町財政が大変な状況については深く心に。大正生まれの年代の私には十分、理解するところです。福祉行政に対して町民の皆さんが理解を深くし、特に生活保護者の方々にも力を入れ少しのカットでもするとか、老人の私達の頭脳では！こんな意見では如何かと思いますが、経済専門の知識をいただいて思い切ったことをやらなければ、乗り越えられないのでは、心配です。赤字財政を気にしておりましたら項目赤で記しました。
60	自宅で生活が出来なくなってきている高齢者が増えてきている中、なるべく早く安心して生活のできる場所が提供できるようになってほしいです。

61	人口が減って組や自治会の役員がすぐ回ってきてしまいます。PTAの役員を押し付けられて断り切れず会社を休む、日程とか調整が大変です。できれば新興住宅地のマンションとかに住みたいです。近所で人がお亡くなりになったからとは言っても、仕事の工期は延ばしてもらえません。天王祭や健民祭も最も休みづらい日に行かなくてはなりません。長男が中学を出たら、どこかへ引っ越そうかと考えております。
62	公共施設の使用料金の設定を早急に考えたら(一)では余りにも知恵がなさすぎる。
63	もっと箱物(建物)を減らす。
64	1. 長年若い時から少ない給料から老後、安心して暮らせると思い今では生活保護の人の方が裕福(家賃、外食)、国民年金の人はデイサービスに行けず、誰に相談してよいのでしょうか。2. 今年、小さいことです。町民税を支払い自治会ではジャガイモ配っておりました。私達には届きませんでした。町民の人全員に渡してあげてください。3. 敬老会欠席の人、寝たきりの人、病気の人、老人の人、欠席の人には何か考えてあげてください。ボールペン一本、タオル一本でも外の(市町村)はそれぞれ考えて毎年、楽しみにしているようです。箱根町もよろしく。・伺います大手旅館、ホテルは入湯税を取って領収書まで出しています。小旅館、風呂屋はそれはなし、どうなっているのでしょうか。町としては入湯税は大きいと思います。例、箱根湯では一度も領収書を受け取ったことがありません。町としては大きな収入額だと思います。考えてください。・箱根広報、上にして良かったです、6月から。以上。
65	・移動が高額、小田急の経営する箱根登山バスは平日ガラガラ。赤字ではあろうが自宅→町役場往復が1500円。マイナンバーカードを期限付きで取りに来いとのお達し。・町役場の場所はほとんど小田原。町の中央ではない。従って遠い。・カードの配布を役所の出張所ではできない?・バスの小型化。本数を平日に限り減らす等して値下げを指導できないのか?
66	草津町の様に温泉施設を増やして、住民と観光客の接点を増やして地域住民の活性化を促して、箱根町の国際化に対応できる人づくりが大切なことだと思う。
67	老人施設、保育園、小学校、中学校は一つにまとめる。
68	施設の活用実績を作るためだけの一時的な企画への出資はやめるべき。長期的にその施設の必要性と、存在意義を認められるものについて、お金を使い維持する必要がある(公共として)。現時点、活用できていない施設については、意義を精査して原因を追究し不要であれば早急に民間との連携、廃止する等対策をしてほしい。
69	まだ箱根町に移り住んで日が浅いですが元々、住んでいる地元の方々の意見はより尊重して頂きたいと思います。
70	私はお役人の方の対応が問題ありだと思う。

71	なぜ公共施設の延床面積を3割削減するのか。人口減少と老朽化、そしてお金がかかるからと説明されているが、人口が減ってもそこに住む人にとって公共施設は必要な施設だし、老朽化は施設の維持のために手を抜いてきたのではと思うし、そのツケがきたのではないのでしょうか。公共施設の目的は全ての住民の基本的な人権の実現だと思う。このアンケートでは沢山ある施設を優先順位を決めて選ばせ統廃合に誘導している。どの施設も目的を持って作られたのであり、住民にとっては大事な施設です。全国で一斉に公共施設の管理計画を作れと国が号令をかける事も、何か意図的でおかしいと思う。施設の統廃合はこのようなアンケートで決めるのではなく、情報を住民に逐一知らせ何よりも住民参加と住民合意で行うべきではないか。また箱根町に図書館がないのは不満である。
72	消防のあり方について、箱根町は旧五ヶ町村が合併して一つの町になったもので、どうしても5地区というものが残ってしまうため、消防についても本部、分署、分遣所、更に分団等細部詰所を設けている。その詰所にも消防車両を配備(20台)している状況にあるが、その維持費が大変な負担になっている。例えば消防車を更新するにも20台もあれば毎年、購入しなければならない等の問題が生じているので、これらの詰所等を整理統合して、負担減を図ってほしい。
73	削減するにもお金がかかると思うが、基本的には行政が行う施設等はコンパクトな方がよい。
74	どこかの市のように財政破綻にならないように、危機感を持って他人任せにする事なく住民が一体となって計画していく必要があるのでは？公共施設は絶対になくしてはならないものか、利用状況はどうか、効果的な運営がなされているのか、収入はどうか、公平負担、受益者負担、利用者負担などの見地から見直してほしい。何事(特にサービス)もほどほどで良いのでは？施設について現状維持、新設、減らす、なくす統合などの色々な方法がある。いずれにしても知恵を結集してスリムでタイトで実質効果を旨とする計画であってほしいと思います(余計な事すみません)。
75	箱根という山岳地域では公共施設の立地について色々大変ですが、利用者の事を考えて頂き利用者の人数で割り切れるものではありませんので、大変だと思いますが住民のためにより良い町に宜しくお願い致します。何処に住んでも利用したい施設、自然の素晴らしさが少し大変な事も補ってくれます。子どもの時、学校が少し遠かった事が今、足腰が丈夫なので感謝しています。箱根って素晴らしい、住み良い所と皆さんが思える所に、宜しくお願い致します。
76	公園に健康器具を設置して下さい。

77	今回のアンケートでは公共施設の面積3割削減という点からの見直しでしたが人口減少、少子高齢化をどうするかという観点と合わせて考える必要を感じました（町はすでに十分に検討されていると思いますが）。そうしないと早晩、公共施設の見直しなどではすまなくなり、夕張市と同じような状況（破産）とか、町の消滅などという状態とかも考えられます。場所は忘れましたが、子どもの出生率が2を越すような地域の取り組みや、今の夕張市の取り組みなど学べるべきものがあると思います（厳しい財政状況の中、町職員の方々のご努力に感謝いたします）。アンケートの提出、遅くなって申し訳ありません。わざわざ「ご協力への御礼」の葉書をいただき、ありがとうございます。アンケートの記入がお役に立つかどうか分かりませんが、よろしく願います。
78	箱根は独特の地形のため、どの地域に何が欠けても不自由を感じると思う。湯本地区は小田原に行く方が便利なため、今までも箱根の施設を利用する事もなく小田原に行ってしまう。今回のアンケートは内容の選択がとても難しい……。問16、1、2、3と何を優先的に残すか……。特に難しい、選べない。
79	町内の国道、県道沿いの歩道（サイクリング可能の方向で）の整備、設置。
80	厳しい財政状況下ご苦労の事と存じます。さて今回のアンケートについて私事を申し述べます。行政系施設については出来る限り現状維持で行い、公営住宅の縮小や廃止を行い、民間の空家対策等を考慮しつつ、売却や極力不良資産の有効利用等を考えたいものです。また教育施設、文化施設等は他の自治体との協力を求め、一部の意見だけに限らず皆の意見を聞く事を求めます。以上。
81	箱根町はありがたい事に多数の観光客が来て参ります。私達はその観光客に精一杯のおもてなしのサービスをして、答えてゆく事です。箱根町の繁栄はお客様の満足度と町民の努力であると思います。
82	森のふれあいは利用者が少ないので、民間に移譲するか廃止すべきだ。
83	箱根金山には保養所他新しい建物等が閉めてあるもの数多くあります。町が安く買い取り、新しい建物を作らなくても、何か町の施設として利用できるようになるのでは。若い人が少なく、その建物の分（新規）の負担金として負わせるのは可哀想だと思います。
84	公共施設と直接つながるかどうかわかりませんが、若い働く世代の人達に町に住んでもらえるような町にしたい場合、まず住む場所を作る必要はあると思います。現在は逆に出て行く人の多い町であるように感じるので、古く不要な施設があるなら住宅にするのも一つの方法ではないでしょうか。ボロボロの住宅や周辺に公園のない、車と道路だけの場所に若い人でなくても入ってこないでしょう。また高齢者も増えるので、認知症や予備軍のための教室やプログラム（音楽にのって運動をするのが良いと聞きます）を行きやすい場所で積極的に行うのは是非、やってほしいです。将来の医療費の削減にもなり、明るい町になると思います。

85	町は色々な所に無駄が多い。※町会議員の数、町の職員の数、使えないのは切り捨てる。本来、町長たる者は町在住の人が良いと思う。皆の意見です。町長様、大変ご苦労様です（町民のため）ありがとうございます。言いたいこと言ってすみません。主婦 5～6 人でまとめた。追伸：先日ロープウェイに乗り大涌谷周辺の交通渋滞、もし火事が起きたら緊急車両はとでも通れません。午前 10 時過ぎでした。せっかく取り戻せた観光客も、あんな状態では二度と箱根には来たくないでしょう。シャトルバスを出しては？渋滞も避けられるのでは？大涌谷の噴火に伴いシェルターはできていますか？所々に（大島（伊豆））の三原山のシェルターは簡単だけど、遊歩道に何箇所かありました。参考にしてみてもは？ありがとうございました。
86	国道 1 号線、山崎出口の合流の優先を逆にしてもらわないと渋滞の原因になっている。
87	廃止すべきものは廃止して、やりたい事は後回しにする。
88	近隣の市町村も人口減少、少子高齢化であれば共同で施設を建設、運営するのは実施すべきである。
89	地域が孤立している所なので、減らすという事は難しい面もあり、建物の数を少なくするには 1 ヶ所に集めるしかない（地域ごとに）。何年かは高齢者が多い中で不便を感じることもなるでしょうが、先の事を考えると、このまま人口減になり過疎地域が増える。若者が住めるまちづくりを考え、観光客をいかにして呼べるか活気ある町になってほしいです。
90	全般に感じる事ですが、おそらく利用すれば便利なのだろうが、特定の人ばかりの利用が目立っている気がします。”減らす”事も一理ありますが、既存の施設をより多くの方に使ってもらう事も重要なのではないのでしょうか？全ての人が車を所有している訳でもなく、そういう方こそ”身近に”施設がないと箱根で暮らす事は不便だと思います。身体の不自由なものを介護してきましたが、箱根はまだ福祉の施設整備が不十分です。そういう施設（デイやショートステイ特にこれから！）を増やし、就労する人材を町より募集すれば良いのかとも思います。外の県や市より集め住宅を用意するのも良いのではないのでしょうか。住宅付き、職ありを希望する方は多いと思います。子育て世代の方など特に良さそうです。・宮城野の出張所は”さくら館”にまとめれば良いのになといつも感じています。・保育園、幼稚園にも送迎バスが欲しいです（余り関係なく申し訳ありません）。・公園が暗く汚い感じがします。テーブルに燃やした跡？のようなものがあり恐ろしいです。砂場も汚いです。・ポケモンGOの利用者が大変多いです。これを活かすチャンスだと思います。シェアポケモンの権利を買う等、ポケストップ・ジムをたくさん作る。
91	色んな事以前に役場で働く人数が多すぎなのでは？！その様に感じさせる理由として、用事があって行っても、誰かが担当するだろうと考えているのか、すぐさま立って来てくれない。また聞いた事に対し明確、簡潔な返答が来ず誰に？！何処に聞けばいいの？！が多すぎます！！

92	<p>全ての検討基盤を人口減少を基に行っているが歯止め策や人口も増加のために、どのような施策を行っているか町民から全く見えない。また既に箱根町に居住しているのに、住民票を移していない多数の住民への対策はどうなっているのか不明。ネガティブなデータだけを住民に提示して、さあ困った公共施設を減らさざるを得ません、又、増税せざるを得ませんとの言い訳は理解しかねます。箱根町なら住みたい、箱根町だから起業しようと思うような施策を知恵を絞って出して下さい。いくらでもありますよ。期待しています。</p>
93	<p>箱根町の人口減少等により、現状維持が非常に困難な時代になってきています。大涌谷の火山活動により、観光業は大打撃を受け、生活に不安を抱く町民が沢山いる事と思います。町の観光業の活性化をし、町民が生き生き生活できるよう、メディアパフォーマンスやビックアイデアで町を盛り上げてほしいと思います。</p>
94	<p>現在、使われなくなった施設、利用している人数が少ないものなどは民間との連携を図り、土地などを貸付し収入を得ることだと思う。</p>
95	<p>公共施設以外であるが、各地区の生活を支える商店（鮮魚、肉、八百屋）の支援。 ※新聞によると檜原村に村営スーパーが開店。</p>
96	<p>公共施設のあり方の前に、箱根町の問題である人口を増やす住み良いまちづくりについて方向を定め、その一つとして公共施設のあり方を見直すべきだ。財政再建についても同様だ。町職員の多くが町外から通勤している。町出身者の多くの方が、小田原市に転出している。これは住みよい町でなく働く場所の町となっている。この事から解決しないといけない。</p>
97	<p>直近の諸問題の解決に大変な御苦労があると思いますが、より大きな時間的視野（将来を見据え）、地理的視野（西さがみ共和国・・・）、人的視野（町民以外・・・）をもって対処して頂けたらと思います。問 15 の続きになりますが、既存の広いスペースがある建物を利用して、大きな”木の博物館”を創る（有料）。寄木細工、木象嵌、小田原漆器、その他の木工作家の作品を展示する。時には素晴らしいコレクションをお持ちの金子皓彦氏、本間氏のような方の展覧会を行う（本人が希望されるなら常設でもよし）。全て民間に委託して運営した方が良いかもしれない。公共施設と言えども上手く運営にして、富を生み町民に還元できれば、それはそれで評価される事だと考えています。</p>
98	<p>災害時に本部や避難所になる施設は住民と観光客を勘案して維持すべきである。利用率の低い施設は民間を活用して維持費を抑えるか、それでも厳しいようであれば、利用者の意見を十分に聞いて、利用料の値上げや統廃合をしても良いと思います。それでもまかないきれないと思いますので、まずはもう一度、支出を見直して頂き、必要なら増税もやむなしと思います。勿論、今でも取り組んで頂いていると思いますが、若者が仕事をして子育てするのに好まれる環境作りと、観光客を増加させる取り組みを、まだ収入がある間に投資して将来、税収が減らないように取り組みをお願いします。</p>

99	<p>大平台問題点（イ）役員の選出、理由—古い役員の意見が通る。村八分的考え方が多い。結構、目に付くため改善が必要。役員選出方法、例えば 20 代～30 代～60 年代別に割り当て人員構成方法をとる。集合後、役員だけの酒席はやめなければならない！！考え方の内容が古すぎる。（ロ）空家が多い。庭の草が家の高さより高く伸び、動物の出入りが多く 4 年間不在の為、ガス・電気・漏電の可能性あり、撤去してほしい。（ハ）民生委員のマンネリ化。（ニ）公共料金の支払い取扱場所、月一回でも良いので納入日、月別、週別の月、日を決めてほしい。設置場所を作って欲しい。※はこね広報、月一回のお知らせ便りは大変ですが、続けてほしい。楽しみにしています！※仙石原の大学生音楽会も継続を望む。若者の魅力的まちづくり。</p>
100	<p>社協センターの図書館を冬場はクローズする。その他の季節は土日のみ開館し、返却ポストを駅に設置する。又は年間、閉館し「きつつき号」のみ稼働させる。（ポストを駅に）。</p>

101	<p>昨今、箱根町が財政困窮を理由に公共施設の運営を民間委託する事例が、常套手段のごとく行われて来ている。例えば旧仙石原中学校、レイクアリーナ箱根、芦の湯フラワーセンターなどである。この中で成功例と言えるのは、旧仙石原中学校を星槎大学箱根キャンパスとして活用している例である。地元住民としては、事業者選定において中学校の跡地は娯楽施設や観光施設などではなく、教育機関に運営してもらい文教地区として残し、青少年の学びの場として活用して欲しいという強い希望があった。結果的に事業委託先に選定された国際学園の運営計画と地元住民の要望がマッチし、少なからず教育機関として運営委託できたことは民間委託の成功だったと私は評価している。しかしながら、私が失敗例として挙げなければならないケースも存在する。それは箱根湿生花園のことである。まず、委託業者の公募が広く周知されておらず、募集期間も短く、その選定方法も不透明で町民から批判されても仕方ない点があったと私も思っている。なおかつ、一番の失敗点とは施設の運営にある。つまり仙石原湿原の自然を大切にし、その地に建てられた箱根湿生花園は、単なる観光施設ではなく学術的要素や教育的な価値も無視できない文化施設と言えるのである。また町民の多くは箱根の「顔」とも言える文化施設の一つであると考えている。民間委託の目指す所は、官では発想のできないアイデアの起用や、民間資金投入による施設の充実などにより、今まで以上の来場者を集客する所にある。なおかつ同時に箱根湿生花園の文化的価値に磨きをかける事にあるのである。そこには文化面と経営面の両立という大変、難しい課題を背負った特別な現実がある。ところが、である。前途の不可解な選出方法で任された委託事業者の箱根湿生花園の運営を今まで注視してきたが、より活性化した運営の意気込みがまるで見えない。特に目新しい企画もなく、宣伝方法や露出度も以前より消極的に感じられる。そして肝心の文化施設を箱根の町民から委託されているという責任感が感じられない。この点が一番の問題点なのである。この事業者は湿生花園の経営に採算性がないと判断したら5年後、いや、もっと早期に運営から手を引くかもしれないと予想する。あるいは、それ以前に政治的圧力で賃料の減額を町に要求してくる事もあり得るかもしれない。以上の例で私が最も言いたい事は、文化的要素の強い箱根湿生花園のような公共施設を、その運営経験もない民間事業者に丸投げするような運営委託を箱根町はするべきでないという結論である。本来ならば事業者公募の告知期間も相当の時間を設け、意欲のある事業者を広く募り、町民の意思も反映できる公正なるプロポーザル方式を用いて委託事業者を決定するべきであった。この事業者選定において政治的圧力などあった筈はないのだが、今の町民の多くはそうは思っていない。以上の考えを今後の箱根町の公共施設の運営や方向性の在り方に反映していただくと同時に、本アンケートが「住民意見を収集した」と言う単なる実績作りに終わらせないようお願いする。</p>
102	<p>余りに質問範囲が広くて高齢者には理解できない部分がありました。</p>

103	<p>・住民の少ない地域には学校など人が集まる施設がどんどん減っていく。住民の多い地域には施設が増えていき、更に住みやすい場所になっていく。仕方のない事だと思うが、車が運転できなかつたら交通の便が悪かったり、公共交通の利用料がかかったり、不便を感じるし地域の不平等を感じる。・施設を利用した時には使用料を払う、受益者負担の考え方で良いと思う。</p>
104	<p>公共施設等、利用したいと思うが、そもそも場所がどこにあるのかが分かりません。そして、どんな催し物を行っているのかも分かりません。広報はこねを読む機会が少ないので、一軒に一冊は必ず欲しいです。問に関して全く違う回答ですみません・・・。</p>
105	<p>宮城野児童公園について、過日、宮城野児童公園内のトイレの件についてお話しできる場がありましたので、希望として意見を話しましたが、やはり消えてしまいました。町も財政的な事もあるので、町に負担をかけないで、希望を叶える道をと考えております。</p>
106	<p>このアンケートは毎年行われている様ですが、これがどの様に集計され改善に反映されているのですか。町民に伝わっているのですか、疑問です。</p>
107	<p>集計データのある物は参考に強く計画して下さい。</p>
108	<p>無駄を省いて現実的に物事を進めて欲しいと思います。天下の箱根に来て下さる方に気持ち良く帰って頂くためにも、自然を優先して華美ではなく品のある町であって欲しいと思います。他から帰った時、箱根の良さが分かります。ホッとします。そういう町であって欲しいと思います。何をやるにもお金ですが、あるものを大事にして下さい。乱筆、乱文にて申し訳ありませんでした。</p>
109	<p>公共施設は地域住民がいつでも歩いて行かれる程度に近いところであって欲しいですが、諸々の事情でやや不便でも活用できる土地が広い所に建っているようです。若い世代の人達に居着いてもらうためには是非、若い世帯向けの町営住宅を増やして下さい。町営住宅の入居者が多い所（高齢者が）では、その隣か同じ建物の中に小さくても良いので、集会所やスポーツ施設などを併用することで、健康面でプラスになるのではないのでしょうか。それが広い意味で医療費負担を下げることになれば良いなと思っています。活用することが少なく、維持管理にお金がかかっている施設はいりません。あってもないのと同じでは。</p>
110	<p>私は箱根町に居を移してから間もありませんので状況、運営等については十分に内容を把握しておりませんが、アンケート用紙を読ませて頂き、現状を認識できました。①若い人の力を得るために子育て、働きやすさの面で先ず、交通費を安くする事。高すぎます。②次に観光は大切な財源ですから立派な施設をよりよく知って頂くための、お金をかけない宣伝。③高齢者の健康、安全に配慮した、より安価で充実したサービス（認知症予防、転倒防止への体操教室、ヨガ、ピラティス等の開設等）。④通信設備（w i f i、光通信）の充実。私の所ではできないのです。これはN T Tに掛け合ってください。</p>

111	町議会の人数が多すぎます（町の人口に対して）。一人当たりの経費がいくらかかるのか？市町村合併も必要です。
112	公共施設のあり方について、住民の声を本当に取り入れてくれようという気持ちがあるのか？疑問です。
113	公共施設の合理化も大切だが、人件費をもっと考えるべき。町職員を町内から採用しても、町外に引っ越すなどした職員の住居手当、通勤手当の減額など実施し、内側から税収を上げるべきだと思います。
114	箱根町に住む＝「不便」。施設があるのに行けない＝「場所が不便な所にある」。私は「コミュニティバス」を提案します。箱根の森小学校だけでなく全体で使用できるようなバスをお願いしたいです。バス会社と話し合いをお願いします。病院→スーパー→学校→各施設。使用したくても行けない方は沢山います。町民が利用できる施設、観光客の方も利用できる『バス』をお願いします。
115	住民となり4年と少しの者です。先日、所用で初めてさくら館に行きました。大きくてびっくり、利用者の少なさにびっくりでした。半分の規模で別の所にもあったらなと思いました。さらに（大変申し上げにくいところですが）職員の方の対応に、とても冷たさを感じました。正直言って大きな行政区のところにある施設の方と比べて、上から目線というか、これでは使いたくないと思い、すぐに主人と帰って来てしまいました。
116	町民の意見をよく聞き、少しでも良い施設は残し、相応しくないものは直ちに廃止などすべき。現代にあった建物にする。ポイ捨てなどは罰金。山を汚すなどはしない。汚さない山などにしていく。その他、色々あると思います。
117	近隣地域の住民と話し合って維持管理を行うことが必要。大涌谷も落ち着いたので箱根も元通りになります。3年くらい様子を見て前に進んだ方が良いでしょう。
118	箱根は山の中なので居住地が点々としています。それで公共施設が少なくなったら、他の地に移住する可能性はあると思います。公共施設を減らした分、そこに何らかの手段で、無料で行き来できるバスを定期的か住民の申し出のあった時に、出来るようにすれば公共施設が減っても、今の生活が今より充実できれば問題はないと思います。バスが近い所は無料のバスカードとか、考えたら良いと思います（鎌倉は年齢であるそうです）。

119	小田原市が東口駐車場に市民交流センターを併設、御殿場市が市民交流センターに介護福祉センターを併設、集会場所としても活用・軽食カフェも障害者団体に運営委託等々、活発に活用されている。箱根町の場合、元箱根集会所の建て替えの時も診療所、出張所の併設もなされておりません。全ての施設を複合施設に推進し、それぞれの利用を活発に利用し合うことで、それらの建物の価値が高まると思いますが。また箱根町の立場、町民の立場からだけでなく、観光客の立場や高額な固定資産税を払わされている別荘所有者の立場からも、十分に考察されなければならない。観光客や別荘所有者に対し、土日祭日にも開設した出張所すらないのが実情。思いやりを持った行政がなされていません。
120	公立総合病院の設立を希望しています（大涌谷地域）。
121	先日、各地域の住民を交えてのシンポジウムに何回か参加させて頂きましたが、湯本にある旧さがみ信用金庫の建物は売却したと聞きましたが？如何？また以前、友人が勤めていたレイクアリーナについて”箱根町は金があるんだな？こんなに金のかかる施設を良く持っているな”と話をしていたが不便な上、冬は暖房費に金がかかるのではないかと思います。こういう所は売却するなりした方が良いのでは？以上。
122	大変な回答でした。でも町がこのようなアンケートを住民に出すことは一人一人の意見を聞いて下さるのかと、少しは町に対して希望が持てます。
123	自分の故郷と思い家を建てたが、もともと住んでいる方が偉いらしく住みづらい町。小田原等にマンションでも買えば良かった。
124	お金を払いに行ったら役場で、たらい回しにされた。まあ怒ってないけど、もし高齢者だったら、どうなっていたの？
125	固定資産税を上げる際に町の観光施設の赤字施設の廃止等を行うべきだと思います。箱根ジオミュージアム、森のふれあい館等の赤字施設を運営している資金は町民の税金です。赤字の施設に我々は協力させられているんですか？収益の上がないものに（職員、バイト）賃金を払い、プラプラ遊ばせて良いのでしょうか？赤字施設を運営するために税金は使わないで下さい！固定資産税を上げておきながら、無駄遣いはやめて下さい！
126	これからの箱根町人口は減り続ける事は間違いないと思いますが、そのための町民の負担はやむを得ないと考えます。町民減少が続く原因は何か、しっかりと考え直して行く事も大切ではないでしょうか？公共施設も時代と共に利用の仕方を変えて行くべきだと思います。新しい考えに大いに期待します。「問16」ですが”施設分類”とはよく分かりませんでした。できれば、もっと詳しく書いてあれば良いと思います。

127	民間との連携を進め出張所などは週に二回程度で曜日を決めて、移動図書館のように車で各地域を移動するなどして、出来るだけ公共施設を保有しない方向にする事が望ましいと思います。若者を確保するために移住しやすい環境も積極的に進めるべきだと思います。中途半端な施設がいくつもあるより、複合的な充実した誰もが利用したいと思える施設が一つあれば十分だと思います。そこに行くまでのバス料金の助成などがあると良いと思います。
128	・先ずどの事業がどのくらいの黒字、赤字か分からないのに減らす、増やすと聞かれても分からない。数字を明確に載せアンケート調査を行った方が良い(公共事業の今後の方向性)。 ・民間に委託できるものはする。 ・箱根町の主な公共施設のその他にある現在、使用されていない施設を上手く活用していく。活用方法がないなら速やかに売却する。
129	NHKの連続テレビ小説の言葉を借りるなら、箱根の住民の暮らしが良いものになるよう願います。
130	一番大事なことは人口の減少を食い止めるための施策をするべきである。人が住まなければ町は存在しない。若い世帯を増やすための施策をするべきである。その為にも箱根での自然環境の良さを前面に打ち出し、子育てに最適な環境、生活の利便性を訴えるためにも町有財産を積極的に利用すべきである。
131	乙女観光案内所は閉鎖しなくても良いのではないのでしょうか。宮城野保育園も子どもの数が少ないのに新しく建て替えるのはいかがなものか。箱根全体で利用されていない施設は、閉めていく方向で良いのではないのでしょうか。一施設の利用度数を上げるようにする。また住民で管理や清掃が出来る所はやった方が良いでしょう。
132	箱根町の土地建物やきれいな水源地は、外国籍の方が取得することは容易なのではないでしょうか？
133	公営住宅等、老朽化している住宅、利用者が少ない住宅等をまとめ、取り壊した敷地を売却する。職員の各施設での人数の見直し、(各庁舎等)仕事をしていない職員、無駄話をしているのが目立つ。業者に各施設の清掃を全部やらせるのではなく職員も少しは清掃する等、昔の体質を改善し、職員が節約する気持ちを持ってほしい。
134	町民もみんなやっとなら生活しているのだから、役場できりつめる所はきりつめ、くだらない所で金を使わないで下さい。◎個人的な事ですが、私は足が悪く杖をつき、妻の手を借りてやっと歩いています。同じ足の手術をして2年前までの人は走る事もできるのに、障害者になって色々な免除をもらっています。もっと良く調べて下さい。生活保護も誰にも出さないで、働ける人は少しでも働いてもらって、もっと厳しくした方が良いでしょう。
135	民間のノウハウを活用し、町職員も緊張感を持って公共施設の運営にあたって頂ければ、町全体が活気付くのではないのでしょうか。

136	・町民を第一に考え、より便利に使えるように考えてほしい。・ 税収を施設等の利用者を増やすことで、どのようにしたら良いか（アイデア）を考えてほしい。
137	仙石原が過疎化しています。どうかして下さい。例) fast food store。
138	町民として何年も前から感じていた事ですが、町の公共施設は無駄に広いという所です。せっかく立派な施設を建てても空きスペースが多く（特にさくら館）年に数回、検診で使う程度。「空いたスペースに耳鼻科や眼科の医療機関を入れてほしい」という話を聞いた事もあります。レイクアリーナも同様（アリーナには立派なジムがあるのに利用者はほとんどないのでは？）、町民の為の施設も利用なしでは無意味です。町民の利用がないのなら、思い切って視点を町外に向けるのも”あり”なのでは？これからは民間企業との連携や近隣市町村との共同運営も必要になってくると思います。
139	（A）住民数の減少、人口構成の変化に伴い設備、インフラ整備も変化をせざるを得ないと思います。（B）施設の廃止、統合は①設置した当時の根拠・理由、②地域の状況を分析をした上で必要・不必要が結論できると思います。経費ばかりでなく、必要性が薄くなった設備もあるのではないのでしょうか。（C）学校の有している敷地は大事にして下さい。箱根で平らな大規模な土地は入手困難でしょう。再度、地盤等調査した上で防災設備として、住民が万一の場合、避難できる施設の建設を希望します。ここは地域の集会所（現在のものは古くて汚れが目立つ）またスポーツの合宿所として季節利用（有料）も可能ではないのでしょうか？（D）人口を増やす、住民を増やすプランを考えるべきだと思います。
140	高齢化が進む中、民間の資金をあてにする前に若年層を高めてから施設等の改善をすべきだと思う。
141	国としても大切な観光地をなるべく今の状態を保ちつつ保存、維持する事はとても大変な事だと思います。住民一人一人が例えば町のゴミを一つ拾うぐらいの積極的な志を持ち、いつまでも誇りの持てる箱根であれば嬉しいですね。困難な事も多いと思いますが、明るい未来と希望を持てる、そんな箱根であってほしいです。
142	このアンケートは施設についてでしたけど、業務内容（町役場内での人件費の使い方など）も削減できる事があるのではないかと思います。
143	道路の維持管理、特に除雪については住民の安全、生活する上で必要な道路が（1号線など主要道路以外）後回しにされ個人では手に負えず毎回、困っています。業者の方も、とても住民の立場に立って除雪しているとは思えない適当なやり方で、もっと困っている人に寄り添えるプロの仕事をして欲しい。除雪車を増やす事から町で是非、ご検討願います。
144	これからの箱根町は人口が減少していくので、公共施設は広げたり増やしたりしない方が良いと思います。

145	箱根地区の住民として、町の施設の利用が出来る場所が少し遠いという事が残念です。
146	1. 利用頻度の低い公共施設は廃止すべき。2. 学校教育、子育て支援施設、高齢者施設は集約化、複合化し、それぞれの特質を活かし向上性を図る。3. 公共施設等において、維持費がかかりすぎる施設は廃止する。
147	観光施設等は民間企業との連携を積極的に行い、利便性の拡大を図ってもらいたい。一方、財政に合った公共施設の運営を行わないと、財政破綻の懸念が出てしまうのではないかと。矛盾しているが自分の気持ちでは、人口減少の拍車がかからないよう地域別の事情を勘案して縮小、廃止を進めてもらいたい。
148	現代、女も男も出来るだけ働いている為、利用したくてもなかなか日が合わないと思います。
149	温泉施設の管理人さんが多すぎる。受付で眠っている方もいれば、ベラベラ話をし有難うございます、一言もない。私達はお金を支払って温泉利用しております。有難うぐらい言ってほしい。それに、いる人数が多すぎる。もっと減らしたらどうですか。他の意見と違いますが、お願い致します。
150	各施設それぞれ条件が違いますので、大きいくくりでは回答が難しかったです。町民が少なくなるというのは事実ですから、各施設ごとに思い切った見直しが必要。難しい将来、素人判断ではなく責任のある専門家に、しっかりとシミュレーションをたてて頂き、それをたたき台にして研究、正しく舵を切って下さい。
151	箱根に数十年、住んでおりますが若者が学校を卒業後、また就職後、結婚後、箱根を出て行く人が増えているのを目の当たりにしています。職場に限られる、総合病院がない、交通運賃が高い等々！！観光に力を入れるのは理解できますが、もっと若者が働ける場所を増やす事が出来れば望ましい。町有施設を民間や指定管理等の導入を増やすのが宜しいのでは！！もしくは町と民間企業がタイアップして、生産性のある産業も視野に入れ、法人税等税収を上げるか？自然公園法の枠があって困難だとは思いますが・・・。
152	①公営住宅に居住している方の見直しと、見回りを必要と感じています。(イ) 1 家族で何人かが働いて収入を得て規定以上の収入があり各自、車を所有している方が住んでいる。低収入の方が住めるのではないかと考えていますが。(ロ) 外部から見える部屋のベランダにゴミ屋敷のように何が入っているか分かりませんが、袋がたくさん置いてあり公営の建物の意識がないのではと思います。②統廃合になった学校、他施設の有効利用を。昨今の風潮で地方では学校をリフォームして安価に宿泊施設や、老人施設に使用している事をテレビ等で見ました。こうした事で利益を得て町の活性化につながるのではないのでしょうか。町の財政の厳しい事は重々、承知していますが長い間、空けておく事はないのではと思っています。
153	さくら館は宮城野支所も館内におきプールは廃止し、1 フロアーは民間に貸す等するのはどうでしょうか。

154	美しい箱根を住民が守る意識を高めて、多少の負担増があっても自分たちの手で守りたいと思います。若い人の力も必要なので小中学校の教育も含めて、一人一人が取り組むという認識を持たないと、人任せになりそうで心配です。よろしくお願い致します。将来に向けての計画に感謝しております。
155	今回記入させて頂くことにより改めて、難しさを認識しました。植物が好きな私は何度もフラワーセンターに参りましたが、閉館が発表される間近な頃、全く管理の行き届かない又、購入しようとしても職員の方が全く気付かず、荒れ果てた様子に町民として哀しさを覚えました。観光無くして成り立たない町ですので、継続困難であれば速やかに閉じ、最後までその施設を大切にしたいと思いました。
156	箱根町は他の市町村と違い、平坦な場所に各地区があるわけではないので正直、難しい問題だと思います。しかし、この財政状態では出来るだけ今あるものを利用し、活用法を考えていった方が良いと思います。お金のかからないサービス（笑顔とか…）、人数を減らしても増やしても利用者が快く利用できる事が一番だと思う。人件費がかかっても笑顔で接してくれれば嫌な気分にならないので・・・。
157	いこいの家の温泉 50 円から 100 円になりましたが、安い事は誠に良いと思いますが、なんでも高い現代 100 円では安すぎます。300 円位にしても良いと思う。安いから当たり前の様な顔をして、座ってテレビを見ている働いている人達を見ると、入れてもらっているという感じがします。料金を上げて、きちんと働いてもらいたい。
158	・設問の方法があまり良くない。・町は県と折衝して国道、県道の狭い所を改良して大型バスの通行を楽にする。・箱根町内の国道、県道の雑木、雑草を刈り取り道幅を広くきれいにする。・地区の議員の要望でもよく調べて簡単に物を造っては駄目。・町道をもう少し整備せよ。世界の箱根らしくない。
159	高齢化社会の中で老人が安心して、終末を迎えられる社会が絶対、必要だと思います。今あるホーム少々の額では入所できません。自分の年金（国民年金）程度でも入所できるようになりましたら、どんなに安心な事でしょう。町直営のホーム是非、お願いいたします。
160	・人数を見直した方が良いと感じられる所があります。・町営住宅をワンルームでお年寄り、独身者の様な一人暮らしを住ませる所を作る。・温泉幼稚園？は園児が2~3人しかいないのに、一人に対して経費がいくらかかっているのか見直しが必要ではないですか？
161	やはり現時点での町民の利用者数の少ない施設の、運営維持管理費が非常に多い気がします。対応策は具体的には出ませんが、複合化は良い案だと思います。
162	町民がどんな人でも気軽に利用できる施設が欲しいです。民間と同じく、年中無休利用できる施設。役場も同じです。年中無休が良いと思います。

163	観光で生きる町として町一丸での景観行政を考えないと駄目。旅情を掻き立てるまちづくり。色彩の統一化等、原色のセブンイレブン等を放置していたら駄目。江戸時代の街道、宿場町をモチーフにした統一感のある塗装、まちなみを早く整備しないと、他競合地区に負ける。
-----	--

参考. 問 14 のクロス集計結果一覧表

参考として、問 14（公共施設の方向性）の性別・年齢別・居住地域別のクロス集計結果一覧表を以下に示します。

問 14 今後は公共施設を取り巻く環境を踏まえて、施設の特徴に応じた公共施設の方向性を検討していく必要があります。町が採用すべきであるとあなたが考える方向性に最も近いものにあてはまる番号に、以下の施設類型ごとに○をつけてください。（回答欄①で1つ、回答欄②で1つ）

① 総量や配置の適正化／1. 庁舎等

		全体	現状維持	移設とまとめる、他の施設	減らす（廃止） 小、廃止 （規模の縮	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	305 65.6	81 17.4	39 8.4	12 2.6	28 6.0
性別	男性	173 100.0	110 63.6	32 18.5	17 9.8	5 2.9	9 5.2
	女性	284 100.0	192 67.6	46 16.2	22 7.7	7 2.5	17 6.0
	無回答	8 100.0	3 37.5	3 37.5	- -	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	- -	1 14.3	- -	- -
	20歳代	25 100.0	20 80.0	3 12.0	- -	- -	2 8.0
	30歳代	27 100.0	19 70.4	3 11.1	3 11.1	1 3.7	1 3.7
	40歳代	50 100.0	29 58.0	11 22.0	7 14.0	1 2.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	48 76.2	6 9.5	6 9.5	1 1.6	2 3.2
	60歳代	116 100.0	71 61.2	28 24.1	8 6.9	5 4.3	4 3.4
	70歳以上	174 100.0	112 64.4	28 16.1	14 8.0	4 2.3	16 9.2
	無回答	3 100.0	- -	2 66.7	- -	- -	1 33.3
居住地域	湯本地区	97 100.0	72 74.2	10 10.3	7 7.2	3 3.1	5 5.2
	温泉地域	54 100.0	32 59.3	11 20.4	6 11.1	2 3.7	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	66 60.0	26 23.6	6 5.5	4 3.6	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	97 68.3	24 16.9	12 8.5	1 0.7	8 5.6
	箱根地域	57 100.0	38 66.7	7 12.3	6 10.5	2 3.5	4 7.0
	無回答	5 100.0	- -	3 60.0	2 40.0	- -	- -

① 総量や配置の適正化／2. 消防施設

		全体	現状維持	移設とまとめる 他の施	減らす (規模の縮 小、廃止)	増やす (規模の拡 大、新設)	無回答
全体		465 100.0	337 72.5	47 10.1	29 6.2	16 3.4	36 7.7
性別	男性	173 100.0	129 74.6	19 11.0	16 9.2	3 1.7	6 3.5
	女性	284 100.0	203 71.5	27 9.5	13 4.6	13 4.6	28 9.9
	無回答	8 100.0	5 62.5	1 12.5	- -	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	7 100.0	- -	- -	- -	- -
	20歳代	25 100.0	18 72.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	22 81.5	1 3.7	2 7.4	1 3.7	1 3.7
	40歳代	50 100.0	34 68.0	5 10.0	8 16.0	- -	3 6.0
	50歳代	63 100.0	52 82.5	4 6.3	4 6.3	3 4.8	- -
	60歳代	116 100.0	81 69.8	18 15.5	8 6.9	4 3.4	5 4.3
	70歳以上	174 100.0	120 69.0	17 9.8	5 2.9	7 4.0	25 14.4
	無回答	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	72 74.2	8 8.2	8 8.2	4 4.1	5 5.2
	温泉地域	54 100.0	44 81.5	5 9.3	2 3.7	1 1.9	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	73 66.4	14 12.7	8 7.3	5 4.5	10 9.1
	仙石原地域	142 100.0	100 70.4	13 9.2	9 6.3	4 2.8	16 11.3
	箱根地域	57 100.0	43 75.4	7 12.3	2 3.5	2 3.5	3 5.3
	無回答	5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -	- -

① 総量や配置の適正化／3. その他行政系施設

		全体	現状維持	移設とまとめる 他の施	減らす (規模の縮 小、廃止)	増やす (規模の拡 大、新設)	無回答
全体		465 100.0	339 72.9	41 8.8	16 3.4	34 7.3	35 7.5
性別	男性	173 100.0	132 76.3	14 8.1	6 3.5	14 8.1	7 4.0
	女性	284 100.0	203 71.5	25 8.8	10 3.5	20 7.0	26 9.2
	無回答	8 100.0	4 50.0	2 25.0	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	7 100.0	-	-	-	-
	20歳代	25 100.0	21 84.0	1 4.0	-	1 4.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	19 70.4	3 11.1	2 7.4	2 7.4	1 3.7
	40歳代	50 100.0	31 62.0	8 16.0	5 10.0	3 6.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	52 82.5	5 7.9	1 1.6	5 7.9	-
	60歳代	116 100.0	87 75.0	10 8.6	5 4.3	8 6.9	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	121 69.5	13 7.5	3 1.7	15 8.6	22 12.6
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	72 74.2	9 9.3	3 3.1	6 6.2	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	37 68.5	5 9.3	2 3.7	7 13.0	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	82 74.5	9 8.2	3 2.7	6 5.5	10 9.1
	仙石原地域	142 100.0	100 70.4	13 9.2	6 4.2	12 8.5	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	46 80.7	3 5.3	2 3.5	3 5.3	3 5.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	-	1 20.0

① 総量や配置の適正化／4. 学校

		全体	現状維持	移設とまとめる、他の施	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	305 65.6	85 18.3	26 5.6	12 2.6	37 8.0
性別	男性	173 100.0	111 64.2	36 20.8	11 6.4	7 4.0	8 4.6
	女性	284 100.0	189 66.5	49 17.3	14 4.9	5 1.8	27 9.5
	無回答	8 100.0	5 62.5	- -	1 12.5	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	1 14.3	- -	- -	- -
	20歳代	25 100.0	17 68.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	21 77.8	2 7.4	1 3.7	2 7.4	1 3.7
	40歳代	50 100.0	32 64.0	11 22.0	3 6.0	2 4.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	43 68.3	11 17.5	8 12.7	1 1.6	- -
	60歳代	116 100.0	73 62.9	27 23.3	5 4.3	1 0.9	10 8.6
	70歳以上	174 100.0	111 63.8	29 16.7	8 4.6	4 2.3	22 12.6
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	66 68.0	16 16.5	4 4.1	5 5.2	6 6.2
	温泉地域	54 100.0	34 63.0	15 27.8	2 3.7	- -	3 5.6
	宮城野地域	110 100.0	72 65.5	20 18.2	7 6.4	2 1.8	9 8.2
	仙石原地域	142 100.0	91 64.1	23 16.2	9 6.3	5 3.5	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	39 68.4	10 17.5	4 7.0	- -	4 7.0
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0

① 総量や配置の適正化／5. 幼稚園・保育園・こども園

		全体	現状維持	移設とまとめる、他の施	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	243 52.3	119 25.6	29 6.2	38 8.2	36 7.7
性別	男性	173 100.0	91 52.6	48 27.7	9 5.2	19 11.0	6 3.5
	女性	284 100.0	149 52.5	69 24.3	20 7.0	19 6.7	27 9.5
	無回答	8 100.0	3 37.5	2 25.0	- -	- -	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	- -	- -	2 28.6	1 14.3
	20歳代	25 100.0	13 52.0	3 12.0	1 4.0	6 24.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	17 63.0	6 22.2	2 7.4	2 7.4	- -
	40歳代	50 100.0	20 40.0	19 38.0	6 12.0	3 6.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	40 63.5	12 19.0	6 9.5	4 6.3	1 1.6
	60歳代	116 100.0	55 47.4	38 32.8	6 5.2	7 6.0	10 8.6
	70歳以上	174 100.0	92 52.9	40 23.0	8 4.6	14 8.0	20 11.5
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	55 56.7	19 19.6	2 2.1	15 15.5	6 6.2
	温泉地域	54 100.0	26 48.1	21 38.9	4 7.4	2 3.7	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	49 44.5	35 31.8	8 7.3	8 7.3	10 9.1
	仙石原地域	142 100.0	78 54.9	30 21.1	12 8.5	9 6.3	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	32 56.1	13 22.8	3 5.3	4 7.0	5 8.8
	無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0

① 総量や配置の適正化／6. 公園

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	194 41.7	75 16.1	100 21.5	61 13.1	35 7.5
性別	男性	173 100.0	71 41.0	29 16.8	46 26.6	18 10.4	9 5.2
	女性	284 100.0	121 42.6	45 15.8	53 18.7	42 14.8	23 8.1
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	-	1 14.3	1 14.3	-
	20歳代	25 100.0	8 32.0	5 20.0	3 12.0	8 32.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	9 33.3	2 7.4	9 33.3	1 3.7
	40歳代	50 100.0	19 38.0	7 14.0	13 26.0	8 16.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	29 46.0	11 17.5	16 25.4	7 11.1	-
	60歳代	116 100.0	39 33.6	23 19.8	34 29.3	11 9.5	9 7.8
	70歳以上	174 100.0	87 50.0	19 10.9	31 17.8	16 9.2	21 12.1
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	36 37.1	14 14.4	21 21.6	20 20.6	6 6.2
	温泉地域	54 100.0	20 37.0	15 27.8	11 20.4	7 13.0	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	43 39.1	22 20.0	20 18.2	15 13.6	10 9.1
	仙石原地域	142 100.0	67 47.2	17 12.0	34 23.9	11 7.7	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	27 47.4	5 8.8	13 22.8	7 12.3	5 8.8
	無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-

① 総量や配置の適正化／7. 保健施設

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	259 55.7	93 20.0	35 7.5	36 7.7	42 9.0
性別	男性	173 100.0	94 54.3	44 25.4	15 8.7	12 6.9	8 4.6
	女性	284 100.0	163 57.4	46 16.2	20 7.0	23 8.1	32 11.3
	無回答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	- -	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	7 100.0	- -	- -	- -	- -
	20歳代	25 100.0	15 60.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	16 59.3	6 22.2	- -	3 11.1	2 7.4
	40歳代	50 100.0	25 50.0	13 26.0	8 16.0	1 2.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	40 63.5	12 19.0	7 11.1	4 6.3	- -
	60歳代	116 100.0	65 56.0	23 19.8	8 6.9	10 8.6	10 8.6
	70歳以上	174 100.0	90 51.7	36 20.7	10 5.7	13 7.5	25 14.4
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	50 51.5	20 20.6	6 6.2	14 14.4	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	31 57.4	14 25.9	3 5.6	4 7.4	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	57 51.8	25 22.7	10 9.1	7 6.4	11 10.0
	仙石原地域	142 100.0	86 60.6	19 13.4	14 9.9	8 5.6	15 10.6
	箱根地域	57 100.0	34 59.6	13 22.8	2 3.5	2 3.5	6 10.5
	無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0

① 総量や配置の適正化／8. 高齢福祉施設

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	223 48.0	103 22.2	39 8.4	70 15.1	30 6.5
性別	男性	173 100.0	76 43.9	44 25.4	21 12.1	25 14.5	7 4.0
	女性	284 100.0	145 51.1	55 19.4	18 6.3	45 15.8	21 7.4
	無回答	8 100.0	2 25.0	4 50.0	- -	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	1 14.3	- -	1 14.3	- -
	20歳代	25 100.0	12 48.0	2 8.0	2 8.0	8 32.0	1 4.0
	30歳代	27 100.0	18 66.7	6 22.2	- -	2 7.4	1 3.7
	40歳代	50 100.0	26 52.0	7 14.0	10 20.0	4 8.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	33 52.4	13 20.6	6 9.5	11 17.5	- -
	60歳代	116 100.0	47 40.5	33 28.4	12 10.3	16 13.8	8 6.9
	70歳以上	174 100.0	82 47.1	39 22.4	8 4.6	28 16.1	17 9.8
	無回答	3 100.0	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	37 38.1	22 22.7	11 11.3	22 22.7	5 5.2
	温泉地域	54 100.0	28 51.9	12 22.2	3 5.6	10 18.5	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	52 47.3	26 23.6	8 7.3	14 12.7	10 9.1
	仙石原地域	142 100.0	72 50.7	29 20.4	14 9.9	17 12.0	10 7.0
	箱根地域	57 100.0	33 57.9	11 19.3	3 5.3	7 12.3	3 5.3
	無回答	5 100.0	1 20.0	3 60.0	- -	- -	1 20.0

① 総量や配置の適正化／9. 集会施設

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	275 59.1	83 17.8	64 13.8	9 1.9	34 7.3
性別	男性	173 100.0	93 53.8	38 22.0	32 18.5	5 2.9	5 2.9
	女性	284 100.0	177 62.3	44 15.5	32 11.3	4 1.4	27 9.5
	無回答	8 100.0	5 62.5	1 12.5	-	-	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-	-	-
	20歳代	25 100.0	19 76.0	2 8.0	2 8.0	-	2 8.0
	30歳代	27 100.0	15 55.6	4 14.8	5 18.5	2 7.4	1 3.7
	40歳代	50 100.0	24 48.0	9 18.0	14 28.0	-	3 6.0
	50歳代	63 100.0	40 63.5	11 17.5	10 15.9	2 3.2	-
	60歳代	116 100.0	62 53.4	25 21.6	20 17.2	1 0.9	8 6.9
	70歳以上	174 100.0	107 61.5	30 17.2	13 7.5	4 2.3	20 11.5
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	58 59.8	12 12.4	16 16.5	4 4.1	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	39 72.2	8 14.8	5 9.3	1 1.9	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	58 52.7	28 25.5	15 13.6	1 0.9	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	77 54.2	27 19.0	21 14.8	3 2.1	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	41 71.9	7 12.3	6 10.5	-	3 5.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0

① 総量や配置の適正化／10. レクリエーション施設・観光施設

		全体	現状維持	施設とまとめる 移転する、他の	減らす （規模の 縮小、廃止）	増やす （規模の 拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	195 41.9	96 20.6	106 22.8	33 7.1	35 7.5
性別	男性	173 100.0	62 35.8	40 23.1	47 27.2	15 8.7	9 5.2
	女性	284 100.0	129 45.4	54 19.0	59 20.8	18 6.3	24 8.5
	無回答	8 100.0	4 50.0	2 25.0	- -	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	- -	1 14.3	1 14.3	- -
	20歳代	25 100.0	9 36.0	7 28.0	3 12.0	4 16.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	14 51.9	5 18.5	4 14.8	3 11.1	1 3.7
	40歳代	50 100.0	17 34.0	7 14.0	21 42.0	3 6.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	30 47.6	12 19.0	17 27.0	4 6.3	- -
	60歳代	116 100.0	43 37.1	30 25.9	29 25.0	8 6.9	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	76 43.7	33 19.0	31 17.8	10 5.7	24 13.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	42 43.3	21 21.6	14 14.4	14 14.4	6 6.2
	温泉地域	54 100.0	22 40.7	18 33.3	12 22.2	- -	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	44 40.0	25 22.7	26 23.6	6 5.5	9 8.2
	仙石原地域	142 100.0	58 40.8	25 17.6	38 26.8	8 5.6	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	28 49.1	6 10.5	15 26.3	4 7.0	4 7.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

① 総量や配置の適正化／11. スポーツ施設

		全体	現状維持	施設とまとめる 移転する、他の	縮小、廃止 減らす（規模の	増やす（規模の 拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	205 44.1	94 20.2	102 21.9	24 5.2	40 8.6
性別	男性	173 100.0	71 41.0	41 23.7	46 26.6	6 3.5	9 5.2
	女性	284 100.0	129 45.4	53 18.7	56 19.7	18 6.3	28 9.9
	無回答	8 100.0	5 62.5	- -	- -	- -	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	- -	- -
	20歳代	25 100.0	12 48.0	5 20.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	15 55.6	3 11.1	3 11.1	5 18.5	1 3.7
	40歳代	50 100.0	25 50.0	7 14.0	15 30.0	- -	3 6.0
	50歳代	63 100.0	26 41.3	15 23.8	17 27.0	4 6.3	1 1.6
	60歳代	116 100.0	47 40.5	28 24.1	28 24.1	4 3.4	9 7.8
	70歳以上	174 100.0	73 42.0	35 20.1	35 20.1	8 4.6	23 13.2
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	34 35.1	25 25.8	23 23.7	8 8.2	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	27 50.0	14 25.9	9 16.7	2 3.7	2 3.7
	宮城野地域	110 100.0	50 45.5	22 20.0	23 20.9	3 2.7	12 10.9
	仙石原地域	142 100.0	60 42.3	26 18.3	35 24.6	8 5.6	13 9.2
	箱根地域	57 100.0	32 56.1	6 10.5	11 19.3	3 5.3	5 8.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0

① 総量や配置の適正化／12. 保養施設

		全体	現状維持	施設とまとめる 移転する、他の	減らす (規模の 縮小、廃止)	増やす (規模の 拡大、新設)	無回答
全体		465 100.0	248 53.3	52 11.2	101 21.7	32 6.9	32 6.9
性別	男性	173 100.0	85 49.1	21 12.1	44 25.4	14 8.1	9 5.2
	女性	284 100.0	160 56.3	30 10.6	56 19.7	17 6.0	21 7.4
	無回答	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-	-
	20歳代	25 100.0	14 56.0	3 12.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	14 51.9	6 22.2	4 14.8	2 7.4	1 3.7
	40歳代	50 100.0	26 52.0	6 12.0	13 26.0	3 6.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	37 58.7	5 7.9	16 25.4	5 7.9	-
	60歳代	116 100.0	58 50.0	16 13.8	30 25.9	4 3.4	8 6.9
	70歳以上	174 100.0	93 53.4	14 8.0	33 19.0	15 8.6	19 10.9
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	53 54.6	11 11.3	17 17.5	9 9.3	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	24 44.4	6 11.1	19 35.2	4 7.4	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	67 60.9	14 12.7	14 12.7	7 6.4	8 7.3
	仙石原地域	142 100.0	73 51.4	12 8.5	37 26.1	9 6.3	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	28 49.1	9 15.8	14 24.6	2 3.5	4 7.0
	無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	1 20.0	1 20.0

① 総量や配置の適正化／13. 産業系施設

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	188 40.4	94 20.2	116 24.9	22 4.7	45 9.7
性別	男性	173 100.0	67 38.7	39 22.5	49 28.3	8 4.6	10 5.8
	女性	284 100.0	120 42.3	52 18.3	66 23.2	14 4.9	32 11.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	-	1 14.3	1 14.3	-
	20歳代	25 100.0	14 56.0	4 16.0	4 16.0	-	3 12.0
	30歳代	27 100.0	11 40.7	6 22.2	5 18.5	3 11.1	2 7.4
	40歳代	50 100.0	17 34.0	6 12.0	23 46.0	2 4.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	20 31.7	14 22.2	21 33.3	6 9.5	2 3.2
	60歳代	116 100.0	43 37.1	28 24.1	31 26.7	4 3.4	10 8.6
	70歳以上	174 100.0	76 43.7	35 20.1	31 17.8	6 3.4	26 14.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	39 40.2	24 24.7	21 21.6	5 5.2	8 8.2
	温泉地域	54 100.0	21 38.9	11 20.4	16 29.6	2 3.7	4 7.4
	宮城野地域	110 100.0	38 34.5	26 23.6	28 25.5	5 4.5	13 11.8
	仙石原地域	142 100.0	63 44.4	23 16.2	37 26.1	5 3.5	14 9.9
	箱根地域	57 100.0	25 43.9	9 15.8	13 22.8	5 8.8	5 8.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0

① 総量や配置の適正化／14. 博物館等

		全体	現状維持	施設とまとめる	移転する、他の	縮小、廃止 減らす（規模の	増やす（規模の 拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	243 52.3	93 20.0	84 18.1	11 2.4	34 7.3	
性別	男性	173 100.0	81 46.8	37 21.4	39 22.5	7 4.0	9 5.2	
	女性	284 100.0	160 56.3	55 19.4	44 15.5	3 1.1	22 7.7	
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	- -	1 14.3	- -	- -	
	20歳代	25 100.0	15 60.0	5 20.0	3 12.0	- -	2 8.0	
	30歳代	27 100.0	13 48.1	6 22.2	4 14.8	3 11.1	1 3.7	
	40歳代	50 100.0	23 46.0	12 24.0	11 22.0	2 4.0	2 4.0	
	50歳代	63 100.0	36 57.1	10 15.9	15 23.8	1 1.6	1 1.6	
	60歳代	116 100.0	59 50.9	29 25.0	22 19.0	- -	6 5.2	
	70歳以上	174 100.0	89 51.1	31 17.8	28 16.1	4 2.3	22 12.6	
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -	
居住地域	湯本地域	97 100.0	48 49.5	14 14.4	23 23.7	5 5.2	7 7.2	
	温泉地域	54 100.0	27 50.0	15 27.8	9 16.7	- -	3 5.6	
	宮城野地域	110 100.0	61 55.5	22 20.0	17 15.5	2 1.8	8 7.3	
	仙石原地域	142 100.0	71 50.0	30 21.1	26 18.3	3 2.1	12 8.5	
	箱根地域	57 100.0	35 61.4	11 19.3	8 14.0	- -	3 5.3	
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	

① 総量や配置の適正化／15. 公営住宅

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	194 41.7	49 10.5	116 24.9	76 16.3	30 6.5
性別	男性	173 100.0	73 42.2	16 9.2	44 25.4	32 18.5	8 4.6
	女性	284 100.0	121 42.6	31 10.9	71 25.0	42 14.8	19 6.7
	無回答	8 100.0	- -	2 25.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	- -	- -	1 14.3	- -
	20歳代	25 100.0	11 44.0	2 8.0	5 20.0	5 20.0	2 8.0
	30歳代	27 100.0	12 44.4	1 3.7	6 22.2	5 18.5	3 11.1
	40歳代	50 100.0	20 40.0	7 14.0	13 26.0	8 16.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	30 47.6	6 9.5	18 28.6	8 12.7	1 1.6
	60歳代	116 100.0	40 34.5	19 16.4	31 26.7	20 17.2	6 5.2
	70歳以上	174 100.0	74 42.5	13 7.5	43 24.7	28 16.1	16 9.2
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	37 38.1	7 7.2	24 24.7	22 22.7	7 7.2
	温泉地域	54 100.0	23 42.6	8 14.8	15 27.8	7 13.0	1 1.9
	宮城野地域	110 100.0	44 40.0	14 12.7	31 28.2	14 12.7	7 6.4
	仙石原地域	142 100.0	68 47.9	14 9.9	31 21.8	18 12.7	11 7.7
	箱根地域	57 100.0	22 38.6	3 5.3	15 26.3	14 24.6	3 5.3
	無回答	5 100.0	- -	3 60.0	- -	1 20.0	1 20.0

① 総量や配置の適正化／16. その他

		全体	現状維持	移転する、他の施設とまとめる	減らす（規模の縮小、廃止）	増やす（規模の拡大、新設）	無回答
全体		465 100.0	180 38.7	75 16.1	129 27.7	7 1.5	74 15.9
性別	男性	173 100.0	71 41.0	27 15.6	53 30.6	5 2.9	17 9.8
	女性	284 100.0	104 36.6	48 16.9	75 26.4	2 0.7	55 19.4
	無回答	8 100.0	5 62.5	- -	1 12.5	- -	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	6 85.7	- -	1 14.3	- -	- -
	20歳代	25 100.0	13 52.0	4 16.0	6 24.0	- -	2 8.0
	30歳代	27 100.0	11 40.7	5 18.5	9 33.3	- -	2 7.4
	40歳代	50 100.0	13 26.0	6 12.0	26 52.0	- -	5 10.0
	50歳代	63 100.0	30 47.6	9 14.3	18 28.6	2 3.2	4 6.3
	60歳代	116 100.0	39 33.6	23 19.8	33 28.4	2 1.7	19 16.4
	70歳以上	174 100.0	65 37.4	28 16.1	36 20.7	3 1.7	42 24.1
	無回答	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	36 37.1	17 17.5	30 30.9	2 2.1	12 12.4
	温泉地域	54 100.0	15 27.8	10 18.5	20 37.0	1 1.9	8 14.8
	宮城野地域	110 100.0	45 40.9	17 15.5	27 24.5	2 1.8	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	53 37.3	22 15.5	37 26.1	2 1.4	28 19.7
	箱根地域	57 100.0	29 50.9	8 14.0	14 24.6	- -	6 10.5
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／1. 庁舎等

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	118 25.4	94 20.2	61 13.1	123 26.5	69 14.8
性別	男性	173 100.0	39 22.5	39 22.5	27 15.6	44 25.4	24 13.9
	女性	284 100.0	76 26.8	55 19.4	33 11.6	78 27.5	42 14.8
	無回答	8 100.0	3 37.5	- -	1 12.5	1 12.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	11 44.0	4 16.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	8 29.6	6 22.2	5 18.5	2 7.4
	40歳代	50 100.0	13 26.0	12 24.0	6 12.0	14 28.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	20 31.7	14 22.2	9 14.3	18 28.6	2 3.2
	60歳代	116 100.0	21 18.1	26 22.4	14 12.1	39 33.6	16 13.8
	70歳以上	174 100.0	43 24.7	29 16.7	24 13.8	38 21.8	40 23.0
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	27 27.8	23 23.7	12 12.4	21 21.6	14 14.4
	温泉地域	54 100.0	15 27.8	13 24.1	7 13.0	15 27.8	4 7.4
	宮城野地域	110 100.0	25 22.7	18 16.4	16 14.5	37 33.6	14 12.7
	仙石原地域	142 100.0	29 20.4	31 21.8	17 12.0	39 27.5	26 18.3
	箱根地域	57 100.0	18 31.6	9 15.8	9 15.8	11 19.3	10 17.5
	無回答	5 100.0	4 80.0	- -	- -	- -	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／2. 消防施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	166 35.7	69 14.8	72 15.5	83 17.8	75 16.1
性別	男性	173 100.0	65 37.6	35 20.2	27 15.6	22 12.7	24 13.9
	女性	284 100.0	97 34.2	34 12.0	45 15.8	61 21.5	47 16.5
	無回答	8 100.0	4 50.0	- -	- -	- -	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	- -	- -	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	11 44.0	4 16.0	2 8.0	4 16.0	4 16.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	7 25.9	7 25.9	5 18.5	1 3.7
	40歳代	50 100.0	15 30.0	15 30.0	6 12.0	8 16.0	6 12.0
	50歳代	63 100.0	28 44.4	6 9.5	9 14.3	15 23.8	5 7.9
	60歳代	116 100.0	35 30.2	22 19.0	25 21.6	20 17.2	14 12.1
	70歳以上	174 100.0	64 36.8	15 8.6	23 13.2	28 16.1	44 25.3
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	36 37.1	12 12.4	13 13.4	20 20.6	16 16.5
	温泉地域	54 100.0	27 50.0	7 13.0	7 13.0	8 14.8	5 9.3
	宮城野地域	110 100.0	34 30.9	17 15.5	22 20.0	22 20.0	15 13.6
	仙石原地域	142 100.0	44 31.0	27 19.0	19 13.4	23 16.2	29 20.4
	箱根地域	57 100.0	21 36.8	6 10.5	10 17.5	10 17.5	10 17.5
	無回答	5 100.0	4 80.0	- -	1 20.0	- -	- -

② 維持・管理や運営のあり方／3. その他行政系施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	124 26.7	60 12.9	70 15.1	139 29.9	72 15.5
性別	男性	173 100.0	46 26.6	25 14.5	25 14.5	53 30.6	24 13.9
	女性	284 100.0	77 27.1	34 12.0	45 15.8	83 29.2	45 15.8
	無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	3 37.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	-	4 57.1	-
	20歳代	25 100.0	10 40.0	6 24.0	2 8.0	3 12.0	4 16.0
	30歳代	27 100.0	6 22.2	7 25.9	6 22.2	7 25.9	1 3.7
	40歳代	50 100.0	12 24.0	9 18.0	9 18.0	16 32.0	4 8.0
	50歳代	63 100.0	23 36.5	7 11.1	8 12.7	23 36.5	2 3.2
	60歳代	116 100.0	28 24.1	12 10.3	19 16.4	40 34.5	17 14.7
	70歳以上	174 100.0	42 24.1	17 9.8	25 14.4	46 26.4	44 25.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-
居住地域	湯本地域	97 100.0	31 32.0	13 13.4	14 14.4	25 25.8	14 14.4
	温泉地域	54 100.0	18 33.3	7 13.0	12 22.2	12 22.2	5 9.3
	宮城野地域	110 100.0	28 25.5	12 10.9	14 12.7	38 34.5	18 16.4
	仙石原地域	142 100.0	33 23.2	19 13.4	21 14.8	43 30.3	26 18.3
	箱根地域	57 100.0	13 22.8	8 14.0	9 15.8	19 33.3	8 14.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／4. 学校

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスを行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	230 49.5	37 8.0	53 11.4	66 14.2	79 17.0
性別	男性	173 100.0	83 48.0	15 8.7	26 15.0	25 14.5	24 13.9
	女性	284 100.0	143 50.4	22 7.7	27 9.5	41 14.4	51 18.0
	無回答	8 100.0	4 50.0	- -	- -	- -	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	- -	- -	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	18 72.0	- -	1 4.0	3 12.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	17 63.0	2 7.4	3 11.1	4 14.8	1 3.7
	40歳代	50 100.0	26 52.0	6 12.0	5 10.0	8 16.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	35 55.6	5 7.9	10 15.9	9 14.3	4 6.3
	60歳代	116 100.0	63 54.3	8 6.9	11 9.5	16 13.8	18 15.5
	70歳以上	174 100.0	65 37.4	16 9.2	22 12.6	23 13.2	48 27.6
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	52 53.6	3 3.1	11 11.3	14 14.4	17 17.5
	温泉地域	54 100.0	26 48.1	5 9.3	8 14.8	8 14.8	7 13.0
	宮城野地域	110 100.0	54 49.1	9 8.2	13 11.8	15 13.6	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	64 45.1	15 10.6	15 10.6	22 15.5	26 18.3
	箱根地域	57 100.0	30 52.6	5 8.8	6 10.5	7 12.3	9 15.8
	無回答	5 100.0	4 80.0	- -	- -	- -	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／5. 幼稚園・保育園・こども園

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	197 42.4	35 7.5	74 15.9	83 17.8	76 16.3
性別	男性	173 100.0	72 41.6	14 8.1	33 19.1	31 17.9	23 13.3
	女性	284 100.0	122 43.0	21 7.4	40 14.1	52 18.3	49 17.3
	無回答	8 100.0	3 37.5	- -	1 12.5	- -	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	- -	- -	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	19 76.0	- -	2 8.0	1 4.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	13 48.1	3 11.1	4 14.8	5 18.5	2 7.4
	40歳代	50 100.0	20 40.0	7 14.0	10 20.0	10 20.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	33 52.4	5 7.9	10 15.9	12 19.0	3 4.8
	60歳代	116 100.0	52 44.8	6 5.2	16 13.8	26 22.4	16 13.8
	70歳以上	174 100.0	54 31.0	14 8.0	31 17.8	26 14.9	49 28.2
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	40 41.2	5 5.2	17 17.5	20 20.6	15 15.5
	温泉地域	54 100.0	26 48.1	2 3.7	9 16.7	11 20.4	6 11.1
	宮城野地域	110 100.0	45 40.9	10 9.1	18 16.4	18 16.4	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	57 40.1	13 9.2	21 14.8	24 16.9	27 19.0
	箱根地域	57 100.0	25 43.9	5 8.8	9 15.8	10 17.5	8 14.0
	無回答	5 100.0	4 80.0	- -	- -	- -	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／6. 公園

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスを行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	66 14.2	100 21.5	206 44.3	93 20.0
性別	男性	173 100.0	21 12.1	45 26.0	75 43.4	32 18.5
	女性	284 100.0	43 15.1	54 19.0	128 45.1	59 20.8
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	- -	6 85.7	- -
	20歳代	25 100.0	5 20.0	8 32.0	9 36.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	4 14.8	12 44.4	4 14.8
	40歳代	50 100.0	7 14.0	14 28.0	21 42.0	8 16.0
	50歳代	63 100.0	9 14.3	20 31.7	33 52.4	1 1.6
	60歳代	116 100.0	12 10.3	25 21.6	57 49.1	22 19.0
	70歳以上	174 100.0	23 13.2	29 16.7	67 38.5	55 31.6
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地区域	97 100.0	16 16.5	21 21.6	43 44.3	17 17.5
	温泉地域	54 100.0	5 9.3	11 20.4	29 53.7	9 16.7
	宮城野地域	110 100.0	17 15.5	21 19.1	46 41.8	26 23.6
	仙石原地域	142 100.0	17 12.0	31 21.8	60 42.3	34 23.9
	箱根地域	57 100.0	9 15.8	16 28.1	25 43.9	7 12.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	3 60.0	- -

② 維持・管理や運営のあり方／7. 保健施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現 状 サ ー ビ ス を 落 と し て お 金 を 節 約	現 状 規 模 の 維 持 の た め 、 利 用 者 負 担 を 増 や す	民 間 と の 連 携 を 行 う	無 回 答
全体		465 100.0	108 23.2	71 15.3	70 15.1	132 28.4	84 18.1
性別	男性	173 100.0	41 23.7	26 15.0	31 17.9	53 30.6	22 12.7
	女性	284 100.0	65 22.9	44 15.5	38 13.4	77 27.1	60 21.1
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	3 42.9	- -	1 14.3	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	10 40.0	4 16.0	3 12.0	5 20.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	8 29.6	4 14.8	4 14.8	9 33.3	2 7.4
	40歳代	50 100.0	10 20.0	7 14.0	9 18.0	18 36.0	6 12.0
	50歳代	63 100.0	16 25.4	10 15.9	8 12.7	25 39.7	4 6.3
	60歳代	116 100.0	27 23.3	24 20.7	20 17.2	28 24.1	17 14.7
	70歳以上	174 100.0	33 19.0	21 12.1	25 14.4	43 24.7	52 29.9
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	26 26.8	10 10.3	13 13.4	31 32.0	17 17.5
	温泉地域	54 100.0	12 22.2	9 16.7	11 20.4	15 27.8	7 13.0
	宮城野地域	110 100.0	24 21.8	16 14.5	17 15.5	33 30.0	20 18.2
	仙石原地域	142 100.0	28 19.7	23 16.2	21 14.8	41 28.9	29 20.4
	箱根地域	57 100.0	16 28.1	12 21.1	8 14.0	11 19.3	10 17.5
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／8. 高齢福祉施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	116 24.9	64 13.8	82 17.6	135 29.0	68 14.6
性別	男性	173 100.0	49 28.3	23 13.3	34 19.7	48 27.7	19 11.0
	女性	284 100.0	65 22.9	41 14.4	46 16.2	85 29.9	47 16.5
	無回答	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	2 25.0	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	5 71.4	- -	- -	2 28.6	- -
	20歳代	25 100.0	9 36.0	5 20.0	3 12.0	5 20.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	8 29.6	2 7.4	8 29.6	8 29.6	1 3.7
	40歳代	50 100.0	14 28.0	12 24.0	7 14.0	14 28.0	3 6.0
	50歳代	63 100.0	19 30.2	8 12.7	7 11.1	27 42.9	2 3.2
	60歳代	116 100.0	24 20.7	20 17.2	19 16.4	38 32.8	15 12.9
	70歳以上	174 100.0	35 20.1	17 9.8	38 21.8	40 23.0	44 25.3
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	31 32.0	14 14.4	11 11.3	25 25.8	16 16.5
	温泉地域	54 100.0	14 25.9	11 20.4	10 18.5	15 27.8	4 7.4
	宮城野地域	110 100.0	22 20.0	14 12.7	22 20.0	34 30.9	18 16.4
	仙石原地域	142 100.0	27 19.0	19 13.4	30 21.1	44 31.0	22 15.5
	箱根地域	57 100.0	19 33.3	6 10.5	9 15.8	16 28.1	7 12.3
	無回答	5 100.0	3 60.0	- -	- -	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／9. 集会施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	58 12.5	108 23.2	98 21.1	119 25.6	82 17.6
性別	男性	173 100.0	26 15.0	47 27.2	43 24.9	38 22.0	19 11.0
	女性	284 100.0	29 10.2	61 21.5	54 19.0	80 28.2	60 21.1
	無回答	8 100.0	3 37.5	- -	1 12.5	1 12.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	- -	4 57.1	- -
	20歳代	25 100.0	2 8.0	9 36.0	2 8.0	9 36.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	5 18.5	8 29.6	5 18.5	8 29.6	1 3.7
	40歳代	50 100.0	4 8.0	16 32.0	13 26.0	11 22.0	6 12.0
	50歳代	63 100.0	10 15.9	21 33.3	10 15.9	20 31.7	2 3.2
	60歳代	116 100.0	13 11.2	28 24.1	29 25.0	27 23.3	19 16.4
	70歳以上	174 100.0	20 11.5	25 14.4	39 22.4	39 22.4	51 29.3
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	15 15.5	19 19.6	25 25.8	21 21.6	17 17.5
	温泉地域	54 100.0	4 7.4	17 31.5	15 27.8	13 24.1	5 9.3
	宮城野地域	110 100.0	9 8.2	29 26.4	18 16.4	32 29.1	22 20.0
	仙石原地域	142 100.0	19 13.4	26 18.3	27 19.0	41 28.9	29 20.4
	箱根地域	57 100.0	9 15.8	17 29.8	12 21.1	11 19.3	8 14.0
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／10. レクリエーション施設・観光施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスを行う	現状規模の維持のため、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	67 14.4	72 15.5	79 17.0	181 38.9	66 14.2
性別	男性	173 100.0	22 12.7	31 17.9	30 17.3	71 41.0	19 11.0
	女性	284 100.0	43 15.1	41 14.4	47 16.5	109 38.4	44 15.5
	無回答	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	1 12.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -
	20歳代	25 100.0	8 32.0	4 16.0	2 8.0	8 32.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	7 25.9	6 22.2	6 22.2	1 3.7
	40歳代	50 100.0	3 6.0	12 24.0	13 26.0	20 40.0	2 4.0
	50歳代	63 100.0	8 12.7	14 22.2	8 12.7	32 50.8	1 1.6
	60歳代	116 100.0	7 6.0	18 15.5	20 17.2	55 47.4	16 13.8
	70歳以上	174 100.0	28 16.1	16 9.2	29 16.7	58 33.3	43 24.7
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	14 14.4	13 13.4	22 22.7	36 37.1	12 12.4
	温泉地域	54 100.0	6 11.1	11 20.4	9 16.7	23 42.6	5 9.3
	宮城野地域	110 100.0	20 18.2	16 14.5	14 12.7	43 39.1	17 15.5
	仙石原地域	142 100.0	14 9.9	21 14.8	23 16.2	60 42.3	24 16.9
	箱根地域	57 100.0	11 19.3	11 19.3	10 17.5	18 31.6	7 12.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／11. スポーツ施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスをを行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	61 13.1	71 15.3	93 20.0	171 36.8	69 14.8
性別	男性	173 100.0	23 13.3	30 17.3	33 19.1	66 38.2	21 12.1
	女性	284 100.0	36 12.7	41 14.4	58 20.4	104 36.6	45 15.8
	無回答	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	1 12.5	3 37.5
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	8 32.0	4 16.0	2 8.0	8 32.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	6 22.2	6 22.2	7 25.9	1 3.7
	40歳代	50 100.0	3 6.0	10 20.0	16 32.0	17 34.0	4 8.0
	50歳代	63 100.0	9 14.3	16 25.4	6 9.5	29 46.0	3 4.8
	60歳代	116 100.0	12 10.3	13 11.2	21 18.1	55 47.4	15 12.9
	70歳以上	174 100.0	18 10.3	21 12.1	41 23.6	51 29.3	43 24.7
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	13 13.4	13 13.4	21 21.6	37 38.1	13 13.4
	温泉地域	54 100.0	4 7.4	9 16.7	11 20.4	24 44.4	6 11.1
	宮城野地域	110 100.0	13 11.8	15 13.6	24 21.8	39 35.5	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	19 13.4	24 16.9	24 16.9	51 35.9	24 16.9
	箱根地域	57 100.0	10 17.5	10 17.5	12 21.1	19 33.3	6 10.5
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／12. 保養施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	71 15.3	68 14.6	106 22.8	139 29.9	81 17.4
性別	男性	173 100.0	27 15.6	28 16.2	34 19.7	59 34.1	25 14.5
	女性	284 100.0	43 15.1	39 13.7	69 24.3	79 27.8	54 19.0
	無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	- -	4 57.1	- -
	20歳代	25 100.0	5 20.0	4 16.0	4 16.0	8 32.0	4 16.0
	30歳代	27 100.0	4 14.8	4 14.8	10 37.0	8 29.6	1 3.7
	40歳代	50 100.0	5 10.0	9 18.0	13 26.0	18 36.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	13 20.6	18 28.6	11 17.5	20 31.7	1 1.6
	60歳代	116 100.0	16 13.8	14 12.1	33 28.4	36 31.0	17 14.7
	70歳以上	174 100.0	25 14.4	17 9.8	35 20.1	44 25.3	53 30.5
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	22 22.7	10 10.3	20 20.6	27 27.8	18 18.6
	温泉地域	54 100.0	6 11.1	9 16.7	11 20.4	20 37.0	8 14.8
	宮城野地域	110 100.0	16 14.5	16 14.5	33 30.0	27 24.5	18 16.4
	仙石原地域	142 100.0	16 11.3	19 13.4	29 20.4	49 34.5	29 20.4
	箱根地域	57 100.0	10 17.5	13 22.8	12 21.1	15 26.3	7 12.3
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／13. 産業系施設

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	54 11.6	78 16.8	74 15.9	173 37.2	86 18.5
性別	男性	173 100.0	20 11.6	33 19.1	29 16.8	68 39.3	23 13.3
	女性	284 100.0	32 11.3	44 15.5	45 15.8	104 36.6	59 20.8
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	- -
	20歳代	25 100.0	6 24.0	4 16.0	4 16.0	8 32.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	4 14.8	7 25.9	6 22.2	8 29.6	2 7.4
	40歳代	50 100.0	2 4.0	8 16.0	12 24.0	23 46.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	7 11.1	17 27.0	7 11.1	28 44.4	4 6.3
	60歳代	116 100.0	12 10.3	16 13.8	18 15.5	51 44.0	19 16.4
	70歳以上	174 100.0	18 10.3	25 14.4	26 14.9	52 29.9	53 30.5
	無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	12 12.4	12 12.4	20 20.6	35 36.1	18 18.6
	温泉地域	54 100.0	5 9.3	14 25.9	8 14.8	20 37.0	7 13.0
	宮城野地域	110 100.0	15 13.6	15 13.6	17 15.5	41 37.3	22 20.0
	仙石原地域	142 100.0	12 8.5	23 16.2	21 14.8	57 40.1	29 20.4
	箱根地域	57 100.0	8 14.0	14 24.6	7 12.3	19 33.3	9 15.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／14. 博物館等

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	67 14.4	89 19.1	93 20.0	142 30.5	74 15.9
性別	男性	173 100.0	25 14.5	36 20.8	32 18.5	57 32.9	23 13.3
	女性	284 100.0	41 14.4	51 18.0	60 21.1	83 29.2	49 17.3
	無回答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0
年齢	10歳代	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9	- -
	20歳代	25 100.0	7 28.0	7 28.0	1 4.0	7 28.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	3 11.1	11 40.7	4 14.8	8 29.6	1 3.7
	40歳代	50 100.0	4 8.0	8 16.0	15 30.0	18 36.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	15 23.8	12 19.0	9 14.3	26 41.3	1 1.6
	60歳代	116 100.0	14 12.1	24 20.7	27 23.3	34 29.3	17 14.7
	70歳以上	174 100.0	22 12.6	25 14.4	35 20.1	46 26.4	46 26.4
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3
居住地域	湯本地域	97 100.0	19 19.6	13 13.4	21 21.6	27 27.8	17 17.5
	温泉地域	54 100.0	5 9.3	12 22.2	11 20.4	21 38.9	5 9.3
	宮城野地域	110 100.0	16 14.5	22 20.0	18 16.4	35 31.8	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	18 12.7	29 20.4	24 16.9	45 31.7	26 18.3
	箱根地域	57 100.0	8 14.0	12 21.1	18 31.6	13 22.8	6 10.5
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／15. 公営住宅

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスの行う	現状規模の維持のため、 サービスを落とすとして、 お金を節約	現状規模の維持のため、 利用者負担を増やす	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	79 17.0	57 12.3	148 31.8	106 22.8	75 16.1
性別	男性	173 100.0	33 19.1	27 15.6	54 31.2	36 20.8	23 13.3
	女性	284 100.0	42 14.8	30 10.6	94 33.1	70 24.6	48 16.9
	無回答	8 100.0	4 50.0	- -	- -	- -	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	- -	- -	5 71.4	- -
	20歳代	25 100.0	6 24.0	4 16.0	7 28.0	5 20.0	3 12.0
	30歳代	27 100.0	7 25.9	4 14.8	7 25.9	8 29.6	1 3.7
	40歳代	50 100.0	11 22.0	8 16.0	20 40.0	6 12.0	5 10.0
	50歳代	63 100.0	14 22.2	7 11.1	21 33.3	19 30.2	2 3.2
	60歳代	116 100.0	14 12.1	16 13.8	41 35.3	29 25.0	16 13.8
	70歳以上	174 100.0	23 13.2	17 9.8	52 29.9	34 19.5	48 27.6
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	18 18.6	10 10.3	33 34.0	22 22.7	14 14.4
	温泉地域	54 100.0	7 13.0	5 9.3	24 44.4	12 22.2	6 11.1
	宮城野地域	110 100.0	18 16.4	14 12.7	35 31.8	24 21.8	19 17.3
	仙石原地域	142 100.0	25 17.6	19 13.4	41 28.9	31 21.8	26 18.3
	箱根地域	57 100.0	9 15.8	9 15.8	14 24.6	16 28.1	9 15.8
	無回答	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	1 20.0	1 20.0

② 維持・管理や運営のあり方／16. その他

		全体	お金をかけても、 質の高い管理・ サービスを行う	現 状 規 模 の 維 持 の た め、 サ ー ビ ス を 落 と し て お 金 を 節 約	現 状 規 模 の 維 持 の た め、 現 利 用 者 負 担 を 増 や す	民間との連携を行う	無回答
全体		465 100.0	51 11.0	90 19.4	58 12.5	152 32.7	114 24.5
性別	男性	173 100.0	19 11.0	43 24.9	20 11.6	60 34.7	31 17.9
	女性	284 100.0	30 10.6	46 16.2	38 13.4	91 32.0	79 27.8
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5	4 50.0
年齢	10歳代	7 100.0	2 28.6	- -	- -	5 71.4	- -
	20歳代	25 100.0	5 20.0	4 16.0	3 12.0	9 36.0	4 16.0
	30歳代	27 100.0	2 7.4	8 29.6	5 18.5	10 37.0	2 7.4
	40歳代	50 100.0	2 4.0	13 26.0	8 16.0	18 36.0	9 18.0
	50歳代	63 100.0	11 17.5	13 20.6	8 12.7	26 41.3	5 7.9
	60歳代	116 100.0	7 6.0	22 19.0	18 15.5	38 32.8	31 26.7
	70歳以上	174 100.0	21 12.1	28 16.1	16 9.2	46 26.4	63 36.2
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -
居住地域	湯本地域	97 100.0	7 7.2	18 18.6	16 16.5	35 36.1	21 21.6
	温泉地域	54 100.0	4 7.4	9 16.7	11 20.4	17 31.5	13 24.1
	宮城野地域	110 100.0	17 15.5	22 20.0	6 5.5	36 32.7	29 26.4
	仙石原地域	142 100.0	16 11.3	20 14.1	16 11.3	50 35.2	40 28.2
	箱根地域	57 100.0	6 10.5	20 35.1	7 12.3	14 24.6	10 17.5
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	- -	1 20.0